

第一学年

国 語

科目 : 国 語

学年 : 1 年

履修 : 共 通

単位数 : 4

週当り時数 :

学習目標

6年間の礎を築く1年とする。主体的に学習に取り組む態度を身につけ、継続的な家庭学習を定着させる。主として教科書教材を用いて、基礎的な読解力と場面に応じた表現力、常用漢字と現代語文法の知識を身に着けることを目標とする。

使用教材	国語1 (光村図書) ・漢字ボックス (浜島書店) ・よくわかる国語の学習1 (明治図書) 中学国文法 (秀学社) ・新国語の便覧 (正進社) ・中学書写 (教育出版) 読書ノート
------	--

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 詩「朝のリレー」 「野原はうたう」 物語「シンシュン」 説明文「ダイコンは大きな根？」 「ちょっと立ち止まって」 文法 言葉の単位	詩……詩の表現技法を理解し、それぞれの詩の世界観を読み、味わう。 物語……登場人物の行動・心情表現や情景描写から登場人物の心情の変化を読み取る。 説明文…文章の構成に注目し、形式段落・意味段落ごとのつながりを読み取る。 文法……言葉の単位を理解し、単位ごとに言葉を区切る。文節の働き、連文節の働きを理解し、見分ける。
	5 中間調査までの時数 28	
	6 詩「詩の世界」 物語「大人になれなかった弟たちに…」 文法 文節の働き	
	7 1学期の時数 56 読書活動「読書を楽しむ」	
二 学 期	9 記録文「比喻で広がる言葉の世界」 説明文「『不便』の価値を見つめ直す」 物語「星の花が降るころに」 文法 文節の働き	説明文…意見と事実を正確に読み分ける。 物語……時代背景・社会背景を踏まえて、登場人物の心情を読み取る。 古文……古文の仮名遣い・語句の違いを理解する。古文の文体を読み味わい、物語の背景を理解した上で、内容の読解をする。 ノフィクション…理由と目的を整理しながら内容を正確に読み取る。 文法……品詞の名称を覚え、単語の働きを理解し、見分ける。 言語……楷書と行書の基本を理解し、毛筆で書き分け、書初め課題に取り組む。
	10 中間調査までの時数 32	
	11 古文「いろは歌」 「月に思う」 「竹取物語—蓬莱の玉の枝—」 ノフィクション「考える人になろう」 文法 単語の働き	
	12 2学期の時数 60 書写 書初め	
三 学 期	1 漢文「今に生きる言葉」 随筆二編 物語「少年の日の思い出」 文法 単語の働き	漢文……漢文訓読の基本を理解し、書き下し文にする。故事成語について知る。 随筆……筆者の思いを読み取った上で、題材についての考えを深める。 詩……詩に描かれている情景を読み取り、内容を味わう。 物語……表現上の特徴をとらえながら、場面の展開に沿って、登場人物の心情の変化を読み解く。
	2 3学期の時数 40	
	3 詩「さくらの はなびら」	文法……名詞の種類を理解し、見分ける。

講 習	定期調査平均点の7割程度に満たない場合は指名制補習の対象となり得る。 夏期講習・冬期講習「基礎編」「発展編」開講予定
評価方法	各観点ごとに年間5回のテスト及び平常点 (毎回の授業の宿題、ノート・課題プリントなどの提出物) から総合的に評価する。

社 会

科目 : 地理的分野

学年 : 1 年

履修 : 共 通

単位数 : 2
週当り時数 :

学習目標

(1) 日本や世界の諸地域の地域的特色を広い視野に立って考察し、基礎的知識を身につけるとともに、地理的事象に対する関心を高める。(2) 調べ学習を通じて、様々な資料を活用して地理的事象を考察し、公正に判断するとともに適切に表現できる能力や態度を養う。

使用教材	東京書籍『中学社会地理的分野』 帝国書院『中学校社会科地図』 東京法令出版『グラフィックワイド地理世界・日本』
------	---

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 ①寒冷な地域に住む人々の暮らし ②温暖な地域に住む人々の暮らし	地球儀や地図の特徴をとらえ、それらの見方や利用の仕方を学ぶ。緯度・経度や世界地図について理解を深め、各地域の位置の確認の仕方を学ぶ。 その上で、さまざまな気候風土の中で人々がどのような生活をしているか、その特徴について把握する。また、それぞれの地域における宗教が人々の暮らしに与える影響について調べる。
	5 中間調査までの時数 14	
	6 ③乾燥した地域に住む人々の暮らし ④高地に住む人々の暮らし	
	7 1学期の時数 28	
	7	
二 学 期	9 世界の気候と人々の暮らし ①熱帯 ②乾燥帯 ③温帯 ④冷帯	世界各国の調査を通して地域的な特色を捉え、グラフや図表のかき方、課題設定・研究・発表の方法を学ぶ。また、気候のデータをもとに、各気候区の自然や産業などの特徴を調べる。 世界各国の調査を通して地域的な特色を捉え、グラフや図表のかき方、課題設定・研究・発表の方法を学ぶ。
	10 中間調査までの時数 16	
	11 世界の気候と人々の暮らし ⑤寒帯 ⑥高山気候 世界の各州の様子（地誌）を学ぶ。 ①アジア ②ヨーロッパ	
	12 2学期の時数 30	
	12	
三 学 期	1 世界の各州の様子（地誌）を学ぶ。 ③アフリカ ④北アメリカ ⑤南アメリカ ⑥オセアニア	世界各国の調査を通して地域的な特色を捉え、グラフや図表のかき方、課題設定・研究・発表の方法を学ぶ。
	2	
	3 3学期の時数 20	

講 習	各定期テストの平均点の半分に達しない場合は、放課後補習の対象とする。
評価方法	考査の点数を評価の柱とするが、宿題などの提出物、普段の授業の状況を踏まえた平常点も考慮に入れ総合的に評価する。

社 会

科目 : 歴史的分野

学年 : 1 年

履修 : 共 通

単位数 : 2
週当り時数 :

学習目標

(1) 我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に各時代の特色を踏まえ理解させそれを通して自文化と異文化に対する理解と尊重の姿勢を育てる。
(2) 歴史的事象や文化遺産に対する関心を高め、身近な地域の歴史や文化財について、調べ学習やまとめ学習を通して資料活用力や表現力そして自ら学ぶ態度を育てる。

使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 『中学歴史 日本と世界』 (山川出版社) ・資料集 『よみとき総合歴史』 (浜島書店) ・プリント 随時配布
------	---

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 第1章 歴史との対話 第2章 古代までの日本 1 節 世界の諸文明 1 人類の誕生と進化 2 古代文明の始まり 3 地中海文明の始まり 4 中国文明と東アジア 5 宗教のおこり	世界の諸地域の古代文明や宗教のおこり、日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和朝廷による統一と東アジアとの関わりなどを通して、世界の各地で文明が築かれ東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されたことを理解する。 ・日本には、いつごろから人が住んでいたのか？ ・古い文明で考えられたもので現在も使われているものは？ ・稲作が始まると社会はどのように変化したか？ ・日本にはどのように、一つの中心ができあがったのか？ ・日本は中国や朝鮮とどのように関わっていたのか？ ・大和朝廷と古墳はどのような関係にあるのか？ ・聖徳太子がしたことを理解しよう。 ・世界三大宗教を知る。
	5 中間考査までの時数 14	
	6 2 節 日本文化のあけぼの 1 氷河時代の終わり縄文文化の誕生 2 稲作の広まりと弥生文化 3 古墳とヤマト政権 3 節 律令国家の形成 1 聖徳太子の政治改革と飛鳥の文化	
	7 1 学期の時数 28 2 律令国家への道	
二 学 期	9 3 律令国家の仕組みと人々の暮らし 4 平城京と天平文化 4 節 貴族政治と国風文化 1 平安京と弘仁・貞観文化 2 撰閣政治と地方社会 3 東アジアと国風文化	律令国家の確立に至るまでの過程や撰閣政治などを通して、大陸の文物や制度を取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後天皇や貴族の政治が展開したことを理解する。 ・大化の改新がめざした国づくりは？ ・古代の仏教文化の特徴を知る。 ・律令制度を理解する。 ・仏教と国家の関係を知る。 ・なぜ平安京に遷都したのか？そこでの貴族政治を知る。 ・国風文化とは何か？ 鎌倉幕府の成立と発展の過程を通して武家社会の特徴を知り、社会の変化や時代の流れを理解する。 ・どのようにして武士は生まれてきたのか？ ・鎌倉幕府の成立過程を知る。
	10 中間考査までの時数 16	
	11 第3章 中世の日本 1 節 中世社会の成立 1 荘園の成立と武士の登場 2 院政と武士の成長 3 鎌倉幕府の成立と執権政治 4 武士の日常・民衆の生活 5 鎌倉時代の文化	
	12 2 節 武家社会の成長 1 モンゴルの襲来と鎌倉幕府への失望	
三 学 期	1 2 南北朝の動乱と室町幕府の成立 3 東アジアと日本の国際関係 4 産業・流通の発達と都市・農村の変化 5 応仁の乱と戦国大名	・武家文化を知る。 ・鎌倉幕府の衰退の原因を知る。 南北朝の争乱と室町幕府の成立や、東アジアの国際関係、応仁の乱後の社会的変動などを通して武家政治の変化を知り、東アジア世界との関わりがみられたことを理解する。 ・南北朝の動乱はなぜ起きたのか？ ・室町幕府の支配体制を理解する。 ・戦国大名の統治方法を知る。
	2 3 学期の時数 20	
	3 6 室町時代の文化	

講 習	・夏休みに希望者対象で歴史への興味関心を高める講座を実施
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・観点「知識・技能」「思考・判断・表現」は考査の成績を基本とする。 ・観点「主体的に学習に取り組む態度」は、授業中の取り組みや提出物などで評価する。

数 学

科目 : 数 学

学年 : 1 年

履修 : 共 通

単位数 : 4
週当たり時数

学習目標

数学における基礎的な概念や用語、原理・原則について理解し、計算法則とともに数学的な表現や処理の仕方を習得する。また、身近な問題に数学的な見方や考え方のよさを応用することを学び、数学の面白さ・楽しさを味わう。

使用教材	体系数学 1 代数編、体系問題集数学 1 代数編（数研出版） 体系数学 1 幾何編、体系問題集数学 1 幾何編（数研出版）
------	--

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 <代数> ・正の数、負の数 <幾何> ・平面図形	<代数> ・負の数の意味、四則演算のきまりを理解し、これらの計算ができるようにする。 <幾何> ・平面図形に関する基礎的な知識・技能を習得する。
	5 中間調査までの時数 28	
	6 <代数> ・正の数、負の数 ・文字と式 <幾何> ・平面図形	<代数> ・文字式の意味や計算のきまりを理解し、その計算ができるようにする。 <幾何> ・平面図形に関する基礎的な知識・技能を習得する。
	7 1 学期の時数 56 <代数> ・1次方程式	<代数> ・等式の性質を理解し、その性質を利用して一元一次方程式を解けるようにする。また、様々な問題を学ぶ。
二 学 期	9 ・1次方程式 <幾何> ・空間図形	・一元一次方程式を用いた様々な応用例を文章題で学ぶ。 <幾何> ・空間図形に関する基礎的な知識・技能を習得する。
	10 中間調査までの時数 32	
	11 <代数> ・1次方程式 ・連立方程式 <幾何> ・図形と合同	・一元一次方程式を用いた様々な応用例を文章題で学ぶ。 ・連立方程式の解法について学び、それを利用して文章題が解けるようにする。 ・連立方程式を様々な具体例に応用することを学ぶ。 <幾何> ・平行線の同位角、錯角について理解する。 ・三角形の合同条件を理解し、証明の基本を学ぶ。 ・資料を整理し、その傾向を読み取る能力を培う。
	12 2 学期の時数 60 <代数> ・不等式	<代数> ・不等式の性質について学び、数直線を用いた解の表し方を理解して解くことができるようにする。
三 学 期	1 ・不等式 ・1次関数 <幾何> ・三角形と四角形	・不等式を用いて様々な問題を解けるようにする。 <幾何> ・二等辺三角形の性質について理解する。 ・直角三角形の合同条件を理解し、それを用いて、証明を行う。 ・三角形の辺と角の大小関係について理解する。
	2 3 学期の時数 40	<代数> 関数の定義を学び、比例・反比例を理解する。
	3 <代数> ・1次関数	

講 習	定期調査前、長期休業中に実施する。
評価方法	年間 5 回のテスト及び平常点（毎回の授業の宿題、ノート・課題プリントなどの提出物）から総合的に評価する。

理 科

科目 : 物理化学

学年 : 1 年

履修 : 共 通

単位数 : 2
週当り時数 :

学習目標

自然に対する関心を高め、事物・現象についての理解を深める。観察、実験など自然科学における基礎的な力と、分析的に考えるための基礎的な力を養う。

使用教材	新しい科学1 (東京書籍), 最新理科便覧 (浜島書店) マイシート理科1年 (創育), よくわかる理科の学習①学習ノート付 (明治図書) キホンの夏 (夏の補充セミナー) 理科1年 (新学社)
------	---

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 [单元2] 身のまわりの物質 ① いろいろな物質とその性質 まで	[单元2] 身のまわりの物質 (化学分野) ① いろいろな物質とその性質 1 物質を物質で区別する 2 金属と非金属 3 金属を区別する 4 白い粉末を区別する ② 気体の性質 1 気体を区別する ③ 水溶液の性質 1 物質が水にとけるとは 2 水に溶けている物質を取り出す
	5 中間検査までの時数 14	
	6 ② 気体の性質 から ③ 水溶液の性質 まで	
	7 1 学期の時数 28	
二 学 期	9 ④ 物質の姿と状態変化 から [单元3] 身の回りの現象 ① 光の世界 3 光が透明な物体を通るときの 進み方 まで	④ 物質の姿と状態変化 1 物質の状態変化 2 状態変化するときの体積と質量 3 状態変化するときの温度 [单元3] 身の回りの現象 (物理分野) ① 光の世界 1 ものの見え方 2 反射した光の進み方 3 光が透明な物体を通るときの進み方 4 レンズのはたらき 5 プリズムによる白色光の分光 ② 音の世界 1 音の伝わり方 2 音の大小と高低
	10 中間検査までの時数 16	
	11 ① 光の世界 4 レンズの性質 から ② 音の世界 まで	
	12 2 学期の時数 30	
三 学 期	1 ③ いろいろな力の世界 まで	③ いろいろな力の世界 1 日常生活のなかの力 2 力の表し方 3 2力のつり合い
	2	
	3 3 学期の時数 20	

講 習	・長期休業中の補習 (指名制)
評価方法	定期検査・課題・小テスト、提出物、実験プリントを総合的に評価する。 【知識・技能】定期試験・小テスト・ワークシート 【思考・判断・表現】定期試験・実験プリント・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】提出物・実験レポート・行動観察・小テスト

理 科

科目 : 生物地学

学年 : 1 年

履修 : 共 通

単位数 : 2
週当り時数 :

学習目標

自然に対する関心を高め、事物・現象についての理解を深める。観察、実験など自然科学における基礎的な力と、分析的に考えるための基礎的な力を養う。

使用教材	新しい科学1 (東京書籍) 最新理科便覧 (浜島書店) 系統的に学ぶ中学地学 (文理) マイシート理科1年 (創育) よくわかる理科の学習①学習ノート付 (明治図書) キホンの夏 (夏の補充セミナー) 理科1年 (新学社)
------	---

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 身近な生物を観察しよう 第1章 花のつくりとはたらき から 2 裸子植物と被子植物 まで	身近な生物を観察しよう ・身近に見られる植物 ・身近に見られる動物 ・ルーペの使い方 ・双眼実体顕微鏡の使い方 ・顕微鏡の使い方 ・スケッチのしかた
	5 中間調査までの時数 14 第2章 葉・茎・根のつくりとはたらき から	【单元1】 植物の世界 第1章 花のつくりとはたらき 1 花のつくりとはたらき 2 裸子植物と被子植物
	6 1 葉のつくり 2 葉と光合成 まで	第2章 葉・茎・根のつくりとはたらき 1 葉のつくり 2 葉と光合成
	7 1学期の時数 28	
二 学 期	9 第2章 葉・茎・根のつくりとはたらき から 3 植物と呼吸 第3章 植物の分類 2 種子をつくらない植物 まで	第2章 葉・茎・根のつくりとはたらき 3 植物と呼吸 4 植物と水 第3章 植物の分類 1 種子植物の分類 2 種子をつくらない植物
	10 中間調査までの時数 16 第1章 火をふく大地 から	【单元4】 大地の変化 第1章 火をふく大地 1 火山の姿
	11 4 火山活動による災害 まで	2 火山が生み出す物 3 火山活動と岩石 4 火山活動による災害
	12 2学期の時数 30	第2章 動き続ける大地 1 地震のゆれの伝わり方
三 学 期	1 第2章 動き続ける大地 から 1 地震のゆれの伝わり方	第2章 動き続ける大地 2 地震が起こるしくみ 3 地震と災害
	2 第3章 地層から読みとる大地の変化 6 地層がかかわる災害 まで	第3章 地層から読みとる大地の変化 1 地層のでき方 2 堆積岩 3 地層や化石からわかること 4 大地の変動
	3 3学期の時数 20	5 身近な大地の歴史を調べる 6 地層がかかわる災害

講 習	
評価方法	定期考査・課題・小テスト、提出物、実験プリントを総合的に評価する。 【知識・技能】定期試験・小テスト・ワークシート 【思考・判断・表現】定期試験・実験プリント・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】提出物・実験レポート・行動観察・小テスト

音 楽

科目 : 音 楽
 学年 : 1 年
 履修 : 共 通
 単位数 : 1. 3
 週当たり時数 :

学習目標

- (1) 音楽活動を体験することを通して、音楽への興味・関心を高め、生活を明るく豊かなものにする。
 (2) 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身につける。
 (3) 多様な音楽のよさや美しさを味わい、幅広く主体的に鑑賞する能力を身につける。

使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学の音楽1 教育芸術社 ・ 中学の器楽 教育芸術社 ・ New Chorus Friends 教育芸術社 ・ 教師作成による資料
------	--

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等	
一 学 期	4	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歌唱 校歌 We'll Find The Way アニー・ローリー など ○ 鑑賞 ヴィヴァルディ「春」 ○ 読譜 線と間 ト音記号 ヘ音記号 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 頭声発声を中心とした自然な発声により、旋律の美しさを感じながら歌う。 ○ リトルネッロ形式やソネット、弦楽器、バロック時代について理解する。 ○ ト音記号、ヘ音記号の意味について理解する。 ○ 「浜辺の歌」を中心に学習し、歌詞や言葉の意味が楽曲にどのように関わっていくのかを理解する。 ○ 日本の風習や生活から生まれた音楽や芸能について理解し、音楽が人々の生活の中から生まれ歌い継がれていくことを理解する。 ○ 大譜表の意味について理解する。 ○ ミュージカルの発祥とその仕組みを理解する。
	5	中間審査までの時数 9	
	6	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歌唱 浜辺の歌 朝の風に ○ 実技試験 歌唱 ○ 鑑賞 日本の民謡と芸能 ○ 読譜 大譜表 変化記号 	
	7	1 学期の時数 18 <ul style="list-style-type: none"> ○ ミュージカル鑑賞 「サウンド オブ ミュージック」 	
二 学 期	9	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歌唱 あかとんぼ ○ 器楽 アルトリコーダー作品 教科書の小品 ○ 鑑賞 魔王 ○ 読譜 変化記号 	<ul style="list-style-type: none"> ○ コール&レスポンスを使用しながらC~Gの五つの音をを中心に学習をする。 ○ 登場人物の心理や背景によって歌がどのように変化しているかを学習する。 ○ #、b、♯の意味を理解し、変化した音をピアノの鍵盤上で理解する。 ○ 学習した五つの音を生かし、曲想記号を理解しながら演奏する。 ○ 日本の民謡の歌い方、特徴を理解しながら歌う。 ○ 「六段の調べ」では、箏の歴史的背景や楽器の仕組みを理解しながら鑑賞する。「アジアの諸民族の音楽」では、声や楽器の音色の特徴に注意しながら鑑賞する。 ○ 小節や小節にかかる線の意味を理解する。 ○ 課題曲・自由曲のパート練習によって、自分のパートを正しい音程で歌う。
	10	中間審査までの時数 10	
	11	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歌唱 ソーラン節・日本の民謡和楽器 ○ 器楽 アルトリコーダー ○ 実技試験 アルトリコーダー ○ 鑑賞 六段の調べ アジアの諸民族の音楽 ○ 読譜 小節 調号 	
	12	2 学期の時数 20 <ul style="list-style-type: none"> ○ 歌唱 合唱祭課題曲・自由曲 パート練習 	
三 学 期	1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鑑賞 「越天楽」 ○ 歌唱 合唱祭課題曲・自由曲 合唱練習 ○ 実技試験 歌唱 ○ 臨時記号 音符・休符の名称 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本の伝統音楽について考察し、雅楽の種類や楽器などについて学ぶ。 ○ 課題曲・自由曲を発声法や曲想記号を理解し、他のパートとの関わりを意識しながら歌う。 ○ 臨時記号と調号の違いを理解し、変化した音をピアノの鍵盤上で理解する。 ○ 音楽が映画作品にどのように関わっているのかを意識しながら鑑賞する。
	2		
	3	3 学期の時数 13 <ul style="list-style-type: none"> ○ 音楽映画鑑賞 	

講 習	時間を設けての講習は行わないが、各学期、学年末において、評定1が見込まれる生徒について、課題を提供する。
-----	--

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業の平常点と実技試験と定期試験を1:1:1の割合で評価する。評価は1学期からの累計で行う。「学びに向かう人間性等」は授業や定期考査、実技等に粘り強く取り組みを行おうとしていることと見られる場面で評価し、実技テスト、配付プリントの内容、提出状況などによって行う。「思考力・判断力・表現力等」は主に「表現」や「鑑賞」における表現しようとしていること、工夫していること、感受している内容などを総合的に判断する。「知識・理解」は主に授業のワークシート、実技技能の技術的なことに関すること、および読譜スキル、定期試験の鑑賞分野で評価する。
------	---

美術

科目 : 美術
 学年 : 1 年
 履修 : 共通
 単位数 : 1.3
 週当り時数 :

学習目標

- (1) 楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培う。また、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を育てる。
 (2) 対象を深く観察する力、感性や想像力を高め、豊かに発想し構想する能力や基礎的技能を身に付け、多様な表現方法や造形要素に関心を持ち、創意工夫し美しく表現する能力を育てる。
 (3) 自然や美術作品などについて基礎的理解や見方を広げ、よさや美しさなどを感じ取る鑑賞の能力を育てる。

使用教材	美術1 開隆堂 美術資料 秀学社
------	---------------------

月	学習単元	学習事項等
一学期	4 ◎ 鉛筆による基礎デッサン (絵画鑑賞) ・ 鉛筆の使い方 ・ 明暗で調子を表現する ・ ハッチングの練習 ・ 目、鼻、口の細密描写	① 絵画表現の基礎となるデッサンを通して観察力・描写力を高める。 ② 鉛筆の使い方・素描について理解する。見慣れたものの色や形のおもしろさや特徴があることに興味を持ち、意識して見ようとする。 ③ マンガやイラストで終わる事なく、デッサンの領域まで高めていけるようにする。 ④ モチーフの質感や立体感を考えて、色々な工夫を画面上でできるようにする。 ⑤ 人体のパーツをしっかりと観察し、陰影や細部の形を正しく捉え、細密描写に結びつける事ができる。
	5 中間調査までの時数 9	
	6 ◎ 友人のデッサン (絵画・鑑賞) ・ 人物クロッキー	
	7 1学期の時数 18	
二学期	9 ◎ 友人を描く (絵画・鑑賞) 水彩	① デッサンで掴んだ見え方を、素材に生かし、工夫をして表現する。 ② 完成後の合評会において、描かれた人物の魅力や特徴を鑑賞しあう。 ① 美術作品に関心を持ち、その美しさを発見し、感じたこと・調べたことを表現する。 ① 素材や表現方法に興味を持ち、意欲的に製作を進める。 ② 色々な物から、イメージを膨らませることができる。
	10 中間調査までの時数 10	
	11 ◎ 美術館へ行こう (鑑賞) ・ 鑑賞レポート	
	12 ◎ 石彫「蔵書印の持ち手を彫る」 (彫刻・鑑賞) 2学期の時数 20	
三学期	1 ・ 立体図と平面図 ・ 立体のデザインをする ・ あら彫り ・ 細部の彫り	③ イメージどおりに彫ることができる。 ④ 資料や参考作品を鑑賞することで、彫刻の特徴を理解し、表現の美しさを主体的に感じ取る。
	2	
	3 3学期の時数 13 ・ 磨き	

講習	
評価方法	テスト、美術館レポート、作品、授業の様子、プリント等 実技作品評価は、学期ごとの定期調査での絵画表現 (30%) と、授業での課題作品 (70%) とする。 観点別の割合は、技能 (30%)、表現 (40%)、主体的に学習に取り組む態度 (30%) とする。

保健体育

科目 : 保健体育
 学年 : 1 年
 履修 : 共 通
 単位数 : 3
 週当り時数 :

学習目標

○各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
 ○運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
 ○生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

使用教材	ステップアップ中学体育 (大修館書店) 新版 中学校保健体育 (大日本図書)
------	---

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 集団行動 体づくり運動 陸上競技 ・ハードル走 陸上競技 ・短距離走・リレー	【集団行動】 ・姿勢、方向変換、集合、整頓、列の増減、開列、行進、礼・安全な行動様式 【体づくり運動】 ・体ほぐしの運動、 【陸上競技：ハードル走】 ・ハードリング、インターバル、アプローチ、ディップ、フィニッシュ ・計測 (スターター・ストップウォッチの使い方・記録) 【陸上競技：短距離走・リレー】 ・クラウチングスタート、スタートダッシュ、加速走、ピッチ、ストライド、 コーナーリング、ジョギング、腕振り、もも上げ、中間疾走、フィニッシュ ・バトンパス、利得距離、 ・計測 (スターター・ストップウォッチの使い方・記録) 【保健】 ・心身の発達と心の健康 (体の発達・発達、呼吸器官・循環器官の発達・発達、 生命を生み出す体への成熟、思春期の心の変化への対応、考える心・感動する心の発達) 【体育理論】 ・運動やスポーツの必要性和楽しさ 【水泳】 ・準備運動、安全確認 (決まりやマナー)、健康観察、人員点呼 (パディ)、 水慣れ、立ち方、浮き方、けのび、ストリームライン、ボディポジション、
	5 中間調査までの時数 21	
	6 体づくり運動 水泳 保健 体育理論	【保健】 ・心身の発達と心の健康 (体の発達・発達、呼吸器官・循環器官の発達・発達、 生命を生み出す体への成熟、思春期の心の変化への対応、考える心・感動する心の発達) 【体育理論】 ・運動やスポーツの必要性和楽しさ 【水泳】 ・準備運動、安全確認 (決まりやマナー)、健康観察、人員点呼 (パディ)、 水慣れ、立ち方、浮き方、けのび、ストリームライン、ボディポジション、
	7 1 学期の時数 42	
	7 水泳	【水泳】 ・準備運動、安全確認 (決まりやマナー)、健康観察、人員点呼 (パディ)、 水慣れ、立ち方、浮き方、けのび、ストリームライン、ボディポジション、
二 学 期	9 水泳 器械運動 ・マット運動 球技「ネット型」 ・バドミントン	・クロール (自由形) ・平泳ぎ、キック (壁・ボード・面かぶり・バタ足 ・カエル足・フィン)、呼吸、ストローク、グライド、キャッチ、プル、 フィニッシュ、リカバリー、コンビネーション、ローリング、ハイエル ポー、ウィップキック、スタート (水中)、タッチ 【器械運動：マット運動】 ・準備・片付け、柔軟運動、安全確認、 ・回転系 (接点技) 前転 (開脚・倒立・とび・伸膝) 後転 (開脚・伸膝)、 ・ (ほん転技) はね起き (首・頭)、倒立回転 (側方倒立回転・ロングタート) 倒立回転とび (倒立ブリッジ・前方倒立回転・前方倒立回転とび) ・巧技系 (平均立ち) 片足平均立ち、V字バランス、Y字バランス、 倒立 (壁のぼり・首・三点・頭・壁・補助)、ジャンプ、ひねり (1/2、1/4) ・技の組み合わせ 【球技：バドミントン】 ・準備・片付け、用具慣れ (ラケット・シャトル) ・スイング (回内・回外) ・振り方 (フォア・バック・イースタン・リストスタンド・サムアップ) ・ストローク (オーバーヘッド・サイドアーム・アンダーハンド) ・シャトルの持ち方 (フォアハンドグリップ・バックハンドグリップ) ・サービス (ロングハイ・ショート・フォアハンド・バックハンド) ・フライト (クリアー・ロブ・ドロップ・スマッシュ・ドライブ・ヘアピン) ・ラリー (ペア・2 ON 2 ・ 3 ON 3 ・ ゲーム) ・DF (ホームポジション・フットワーク・トップアンドバック) 【球技：ハンドボール】 ・準備・片付け、補強運動、安全確認、ボール操作：キャッチボール、パス ・シュート・フェイント・カットイン・リスタート・ゴールキープ ・ボールを持たないOF:ランパス・速攻ノーマークを作る・2人の間を攻める ・ボールを持たないDF:位置・マーク・ピストンDF・ブロック・ゾーンDF 【保健】 ・人とのかわわりと自分らしさ、欲求への対処、ストレスへの対処、 心と体のかかわり 【体育理論】 ・運動やスポーツの多様な関わり方
	10 中間調査までの時数 24	
	11 球技「ゴール型」 ・ハンドボール 保健 体育理論	【球技：ハンドボール】 ・準備・片付け、補強運動、安全確認、ボール操作：キャッチボール、パス ・シュート・フェイント・カットイン・リスタート・ゴールキープ ・ボールを持たないOF:ランパス・速攻ノーマークを作る・2人の間を攻める ・ボールを持たないDF:位置・マーク・ピストンDF・ブロック・ゾーンDF 【保健】 ・人とのかわわりと自分らしさ、欲求への対処、ストレスへの対処、 心と体のかかわり 【体育理論】 ・運動やスポーツの多様な関わり方
	12 2 学期の時数 45	
	12 陸上競技 ・長距離走	【陸上競技：長距離走】 ・準備・片付け、ウォーミングアップ、安全確認、心拍数測定、 スタンディングスタート、フォーム、足の運び、姿勢、ピッチ・ストライ ド、ペース、呼吸法、 【球技：バスケットボール】 ・ボール操作 (トリプルスレット・ビポット・シュート・パス・ドリブル ・フェイク・キープ・OFリバウンド・速攻) ・ボールを持たないDF (位置・マーク・スクリーンアウト・リバウンド ・マンツーマン) ・ボールを持たないOF (ゴール方向へのカット・サポート・スペースづくり ・リバウンドシュート) 【保健】 ・健康の成り立ち、食生活と健康、運動と健康、休養・睡眠と健康 【体育理論】 ・運動やスポーツの多様な楽しみ方 【体づくり運動】 ・体力を高める運動 体のかさを高めるための運動・巧みな動きを高めるための運動 力強い動きを高めるための運動・動きを持続する能力を高めるための運動
三 学 期	1 球技「ゴール型」 ・バスケットボール 保健 体育理論	【陸上競技：長距離走】 ・準備・片付け、ウォーミングアップ、安全確認、心拍数測定、 スタンディングスタート、フォーム、足の運び、姿勢、ピッチ・ストライ ド、ペース、呼吸法、 【球技：バスケットボール】 ・ボール操作 (トリプルスレット・ビポット・シュート・パス・ドリブル ・フェイク・キープ・OFリバウンド・速攻) ・ボールを持たないDF (位置・マーク・スクリーンアウト・リバウンド ・マンツーマン) ・ボールを持たないOF (ゴール方向へのカット・サポート・スペースづくり ・リバウンドシュート) 【保健】 ・健康の成り立ち、食生活と健康、運動と健康、休養・睡眠と健康 【体育理論】 ・運動やスポーツの多様な楽しみ方 【体づくり運動】 ・体力を高める運動 体のかさを高めるための運動・巧みな動きを高めるための運動 力強い動きを高めるための運動・動きを持続する能力を高めるための運動
	2 3 学期の時数 30	
	3 体づくり運動	【体づくり運動】 ・体力を高める運動 体のかさを高めるための運動・巧みな動きを高めるための運動 力強い動きを高めるための運動・動きを持続する能力を高めるための運動

講 習	水泳と持久走の補習
評価方法	運動や健康・安全についての学びに向かう力、人間性等【授業に取り組む姿勢、授業中の言動観察、学習カードの記入内容など】 運動や健康・安全についての知識及び技能【定期考査、学習カード・レポート・ノートの記入内容、スキルテスト、技能の記録など】 運動や健康・安全についての思考力、判断力、表現力等【定期考査、学習カード・レポート・ノートの記入内容、授業中の言動観察など】

技術・家庭

科目 : 技術
 学年 : 1 年
 履修 : 共通
 単位数 : 1
 週当り時数 :

学習目標

- ① 木材の性質や特徴を製品の用途を通して理解していく。
- ② 製作を通して必要な作業計画を立て、安全に注意して正確な加工をして完成させることができる。
- ③ 作品製作を通して、工具の使い方と加工法の関係を理解する。
- ④ 製作学習で、生徒が主体的に取り組む姿勢を身につける。
- ⑤ 生物の育成を通して、育成に必要な知識及び技能を習得させる。

使用教材	新しい技術・家庭（技術分野）（東京書籍）
------	----------------------

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 1 編 材料と加工の技術 1 章 材料と加工の技術の原理・法則と仕組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身の回りの材料と加工の技術 ・ 木材, 金属, プラスチックの特性 ・ 材料に適した加工方法 ・ 丈夫な製品を作るために ・ 材料と加工の技術の工夫の読み取り
	5 ①身の回りの材料と加工の技術 ②木材, 金属, プラスチックの特性 中間審査までの時数 7	
	6 ③材料に適した加工方法 ④丈夫な製品を作るために	
	7 1 学期の時数 14 ⑤材料と加工の技術の工夫を読み取ろう	
二 学 期	9 2 章 材料と加工の技術による問題解決 ①問題を発見し, 課題を設定しよう ②製作品を構想し, 設計しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・ 問題の発見, 課題の設定 ・ 製作品の構想, 設計 ・ 製図 ・ 製作の計画 ・ 作業手順を考えた製作 ・ 問題解決の評価, 改善・修正 ・ 材料と加工の技術の最適化 ・ これからの材料と加工の技術
	10 中間審査までの時数 8 ③製作の計画を立てよう ④作業手順を考えて製作しよう	
	11	
	12 2 学期の時数 15 3 章「社会の発展と材料と加工の技術」	
三 学 期	1 2 編「生物育成の技術」 1 章「生物育成の技術の原理・法則と仕組み」 2 章「生物育成の技術による問題解決」	<ul style="list-style-type: none"> ・ (スプラウト, ベビーリーフ) の育成を通して, 育成に必要な知識を学ぶ。
	2	
	3 3 学期の時数 10	

講 習	
評価方法	授業への姿勢、取り組み、テスト(定期審査など)、作品・課題の提出

技術・家庭

科目 : 家庭
 学年 : 1年
 履修 : 共通
 単位数 : 1
 週当り時数 :

学習目標

・家庭の基本的な機能について理解し、これからの生活を展望して、課題をもって家庭生活をよりよくしていこうとする能力を育てる。
 ・食生活に関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的知識と技術を習得する。

使用教材	・新しい技術・家庭(家庭分野) 開隆堂 ・各実習教材
------	-------------------------------

月	学習単元	学習事項等
一学期	4 わたしたちの成長と家族・地域 ・ガイダンス 家庭と家族関係 ・家庭や家族の機能や地域とのかかわり 食生活と自立 ・中学生の食生活と栄養	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の学習を振り返り、中学校三年間の見通しを持って学習する。 ・自分の成長と家族や家庭生活とのかかわりについて考える。 ・家庭と地域の人々とのかかわりについて考え中学生として実践できることを考える。 ・自分の食生活を点検し、課題を見つけ、健康により食習慣について理解する。 ・栄養素の種類と働きについて理解する。 ・中学生に必要な栄養の特徴について理解する。 (出前授業・時期は変更する場合もある) ・6つの食品群や食品群別摂取量のめやすについて理解する。 ・食品の栄養的特質や中学生の一日に必要な種類と概量について関心を持ち、食品成分表を活用して調べたり計算する。 ・日本型食生活について理解し、生活に活かそうとする姿勢を養う。 ・中学生の一日分の献立について課題を見つけ、必要な栄養を満たすために料理の組み合わせについて工夫し、考える。 ・夏期休業中に、「三食分の献立作成と調理実習」の課題に取り組む。
	5 中間検査までの時数 7 ・栄養素の種類と働きを知る	
	6	
	7 1学期の時数 14 ・日常食の調理と地域の食文化 ・日常食の献立と食品の選択	
二学期	9 ・日常食の献立と食品の選択	<ul style="list-style-type: none"> ・食品の品質を見分け、用途に応じて選択できるようになる。 ・生鮮食品や加工食品の表示の意味と良否の見分け方について理解する。 ・用途に応じた食品の選択について、収集・整理した情報を工夫して考える。 ・日常食の調理に関心を持ち、調理技術を習得する。 ・食品の調理上の性質を理解する。 ・調理の目的や食材に合った基本的な調理操作を習得する。 ・食品や調理用具の安全と衛生に留意した取り扱い方について理解する。
	10 中間検査までの時数 8 ・日常食の調理と食文化	
	11	
	12 2学期の時数 15	
三学期	1 ・日常食の調理と食文化	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統的な食文化について関心を持ち、理解する。 ・地域の食文化を生かした日常食等の調理を通して、調理技術の習得と地域の食文化に関心を持つ。 ・食生活を取り巻く問題について関心を持ちこれからの食生活を展望し、よりよくしていこうとする意識を高める。
	2	
	3 3学期の時数 10 ・よりよい食生活をめざして	

講習	
評価方法	評価方法・定期検査、授業観察、提出期日、課題、実技、提出物(ノート・ワークシート・宿題等)を総合的に評価

英 語

科目 : 英 語
 学年 : 1 年
 履修 : 共 通
 単位数 : 5
 週当たり時数 :

学習目標

- (1) 音と文字の関係を学び単語から発音へと結びつけることができる。
- (2) 「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」をバランスよく学び、コミュニケーションの基礎を築く。
- (3) 中学校課程における基本的な文法について理解し運用できる。
- (4) 目標習得語彙数1,000語
- (5) 検定目標[英検4級以上]

使用教材	<p>【共通】①NEW HORIZON 1、2 (東京書籍) ②エイゴラボ1年、2年 (正進社) ③ENGLISH SEARCH I (教育開発出版)</p> <p>【標準】①Active Phonics (松香フォニックス研究所) ②Let's Enjoy "BINGO"1 (浜島書店) ③Uncover1 (Cambridge University Press)</p> <p>【発展】①TED TALKS 21ST CENTURY READING Level1 (CENGAGE Learning) ②Writing from Within Second Edition 2 (Cambridge University Press) ③マーフィーのケンブリッジ英文法初級編 (Cambridge University Press)</p>
-------------	---

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4	<p>【共通】 NEW HORIZON1 (Unit 0, 1, 2)</p> <p>【標準】 Active Phonics 1~3, Uncover 1 unit 1~2 ※「エイゴラボ」「ENGLISH SEARCH I」は授業の進度に合わせて進める。</p> <p>【発展】 上記に加え、TED TALKS Unit 1~2、Writing from Within 2 unit 1</p>
	5	<p>中間調査までの時数 35</p>
	6	<p>【共通】 NEW HORIZON1 (Unit 3, 4)</p> <p>【標準】 Active phonics 4~5, Uncover unit 3~4 ※「エイゴラボ」「ENGLISH SEARCH I」は教科書の進度に合わせて進める。</p> <p>【発展】 上記に加え、TED TALKS Unit 3~4、Writing from Within 2 unit 2</p>
	7	<p>1学期の時数 70</p> <p>【共通】 1学期のまとめ、洋書多読</p>
二 学 期	9	<p>【共通】 NEW HORIZON1 (Unit 5, 6)</p> <p>【標準】 Active phonics 6~7, Uncover 1 unit 5~6 ※「エイゴラボ」「ENGLISH SEARCH I」は教科書の進度に合わせて進める。</p> <p>【発展】 上記に加え、TED TALKS Unit 5~6、Writing from Within 2 unit 3</p>
	10	<p>中間調査までの時数 40</p>
	11	<p>【共通】 NEW HORIZON1 (Unit 7, 8, 9)</p> <p>【標準】 Active phonics 8~9, Uncover 1 unit 7~8 ※「エイゴラボ」「ENGLISH SEARCH I」は教科書の進度に合わせて進める。</p> <p>【発展】 上記に加え、TED TALKS Unit 7~8、Writing from Within 2 unit 4</p>
	12	<p>2学期の時数 75</p> <p>【共通】 2学期のまとめ</p>
三 学 期	1	<p>【共通】 NEW HORIZON 2 (Unit 0, 1, 2)</p> <p>【標準】 Uncover 1 unit 9~10 ※「エイゴラボ」「ENGLISH SEARCH I」は教科書の進度に合わせて進める。</p> <p>【発展】 上記に加え、TED TALKS Unit 9~10、Writing from Within 2 unit 5 6</p>
	2	<p>【共通】 NEW HORIZON 2 (Unit 0, 1, 2)</p> <p>【標準】 Uncover 1 unit 9~10 ※「エイゴラボ」「ENGLISH SEARCH I」は教科書の進度に合わせて進める。</p> <p>【発展】 上記に加え、TED TALKS Unit 9~10、Writing from Within 2 unit 5 6</p>
	3	<p>3学期の時数 50</p> <p>【共通】 1年間のまとめ、洋書多読</p>

講 習	<p>(1) 放課後指名制補習 ※定期考査の得点、授業・課題への取組状況等から総合的に判断し、補習対象者を決定する。</p> <p>(2) 長期休業中の講習 (指名制、希望制)</p>
評価方法	<p>(1) 観点1 「知識・技能」 (定期考査、単語テスト、単元テスト)</p> <p>(2) 観点2 「思考・判断・表現」 (定期考査、英作文・インタビューテスト・スピーチなどの発表)</p> <p>(3) 観点3 「主体的に学習に取り組む態度」 (授業態度・課題・発表への取組状況、提出物等)</p>

第二学年

国 語

科目 : 国 語
 学年 : 2 年
 履修 : 共 通
 単位数 : 4
 週当り時数 :

学習目標

1 学年で学んだ学習の基礎を定着させ、社会生活にかかわることなどの広い視点で学習に取り組む。「話す・聞く」「書く」では、目的や場面、立場の違いに応じて表現し、受け取ること。「読むこと」では文章の構成や表現の仕方について、本文に根拠を求めて細かく読むこと。「言語事項」では常用漢字の定着と現代語文法の基礎を理解することを、それぞれの目標とする。

使用教材	国語 2 (光村図書)・漢字ボックス (浜島書店)・よくわかる国語の学習 2 (明治図書) 中学国文法 (秀学社)・新国語の便覧 (正進社)・新編新しい書写一・二・三(東京書籍)
------	--

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 詩「見えないだけ」 小説「アイズプラネット」 古文「枕草子」 説明文「生物が記録する科学」 説明文「五十の塔はなぜ倒れないか」 話・聞「説明の仕方を工夫する」 文法 用言の活用①「動詞」	詩……詩の構成や表現から、詩の内容を読み取る。 小説……複数の登場人物の描写から、それぞれの心情や行動を読み取る。 古文……作者のものの見方や考え方に触れた上で、自分の考えをもつ。 説明文…文章の構成や展開を整理しながら、要点を捉える。 話・聞…調べたことを聞き手の印象に残るような説明の仕方を工夫する。 書く……「伝わる」表現を意識して書く。 言語……類義語・対義語・多義語の違いを理解し、適切な使い分けをする。 文法……用言の種類を理解し、見分ける。
	5 中間考査までの時数 28	
	6 話・聞「魅力的な提案をしよう」 情報「メディアと上手に付き合うために」 短歌「新しい短歌のために」 「短歌十二首」 随筆「言葉の力」 文法 用言の活用②「形容詞・形容動詞」	
	7 1 学期の時数 56 言葉「言葉を比べよう」 言語「類義語・対義語・多義語」 物語「世界で一番の贈り物」 読書活動「二年一組のお薦め三十五冊」	
二 学 期	9 小説「盆土産」 随筆「字のない葉書」 言語「敬語」 論説「モアイは語る」 文法「連体詞・副詞」	小説……作品の時代背景を踏まえたうえで、人物の描写を読み取る。 随筆……作中の表現から筆者や他の人物の思いを読み取る。 言語……「敬語」の種類と正しい使い分けを理解する。 論説……要点を整理しながら、筆者の考えを読み取る。 古文……軍記物語の調子を味わいながら、語句や仮名遣いに注意し、内容を理解する。 漢詩……漢詩の種類や構成の基本を理解し、描かれた世界観を読み味わう。 話・聞…相手の伝えていることの要点を正確に聞き取ったうえで、話し合いを展開する。 書く……立場と根拠を明確にして意見文を書く。 書写……楷書と行書の基本を理解し、毛筆で書き分け、書初め課題に取り組む。 文法……「連体詞・副詞」の種類を理解し、見分ける。
	10 中間考査までの時数 32	
	11 古文「平家物語」「仁和寺にある法師」 漢詩「漢詩の風景」 評論「君は最後の晩餐を知っているか」 話・聞「話し合って考えを広げよう」 書く「立場と根拠を明確にして意見を書こう」	
	12 2 学期の時数 60 詩「落葉松」 書写 書初め	
三 学 期	1 小説「走れメロス」 書く「表現の仕方を工夫して書こう」 論説「科学はあなたの中にある」 2 学年の文法復習	小説……物語全体を通して、登場人物の心情の変化を読み取り、物語の内容を読み解く。 論説……要点を正確に捉えて整理し、筆者の考えを読む。 話・聞…互いの書いた物語作品について発表し合う。 書く……表現したいものが効果的に伝わるよう視点を定め、表現を工夫して物語を書く。 文法……2 学年で学習した文法の復習。
	2 3 学期の時数 40	
	3 詩「鍵」 発展教材	

講 習	定期考査平均点の 7 割程度に満たない場合は指名制補習の対象となり得る。 夏期講習・冬期講習「基礎編」「発展編」開講予定
評価方法	各観点ごとに年間 5 回のテスト及び平常点 (毎回の授業の宿題、ノート・課題プリントなどの提出物) から総合的に評価する。

社 会

科目 : 地理的分野

学年 : 2 年

履修 : 共 通

単位数 : 2
週当り時数 :

学習目標

(1) 日本や世界の概要とその地域的特色を広い視野に立って考察し、基礎的知識を身につけるとともに、地理的事象に関する関心を高める。
(2) 日本の地域的特色を広い視野に立って考察し、基礎的知識を身につけるとともに地理的事象に関する関心を高める。
(3) 地域研究、課題追究学習などの学習を通じて、資料を活用し、表現する能力の基礎を養い、自ら主体的に学習に取り組む態度を育てる。

使用教材	東京書籍『新編新しい社会 地理』 東京法令出版『中学 白地図 日本』	帝国書院『中学校社会科地図』
------	---------------------------------------	----------------

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 第2編 日本のさまざまな地域 第1章 日本の姿	1. 日本の位置を調べよう 2. 日本と世界の時差をとらえよう 3. 日本の領域の特色を見てみよう 4. いろいろな見方で都道府県を探ろう 5. 日本をいくつかの地域に分けよう 6. 世界から見た日本の自然環境 7. 世界から見た日本の人口 8. 世界から見た日本の資源・エネルギーと産業 9. 世界と日本の結びつき
	5 中間検査までの時数 14	
	6 第2章 世界から見た日本の姿	
	7 1学期の時数 28	
	7	
二 学 期	9 第3章 日本の諸地域	10. 九州地方 11. 中国四国地方 12. 近畿地方 13. 中部地方 ※各地方の地域性や歴史背景などをふまえながら、「生活の舞台」・「人々の営み」「産業」を中心に学習する。
	10 中間検査までの時数 16	
	11 第3章 日本の諸地域	
	12 2学期の時数 30	
	12	
三 学 期	1 第3章 日本の諸地域 第4章 身近な地域の調査	14. 関東地方 15. 東北地方 16. 北海道地方 ※各地方の地域性や歴史背景などをふまえながら、「生活の舞台」・「人々の営み」「産業」を中心に学習する。
	2 3学期の時数 20	
	3	

講 習	成績不振者や提出物に問題のあった生徒を対象に補講や課題を出す。
評価方法	授業中に実施するテスト点数を評価の柱とするが、宿題などの提出物、普段の授業の状況を踏まえた平常点も考慮に入れ総合的に評価する。

社 会

科目 : 歴史的分野

学年 : 2 年

履修 : 共 通

単位数 : 2
週当り時数 :

学習目標

- (1) 日本と世界の歴史的事象を様々な資料を活用し、原因・背景・因果関係・影響などを多角的・多面的に考察し公正に判断する能力や態度を育てる。
 (2) 課題解決学習を通して、歴史的思考力を身に付けさせると共に探究心を育てる。
 (3) 基礎的知識の系統的な定着を図る。

使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 『中学歴史 日本と世界』 (山川出版社) ・資料集 『よみとき総合歴史』 (浜島書店) ・プリント 随時配布
------	---

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	第4章 近世の日本 第1節 一体化に向かう世界 第2節 近世社会の成立	戦国の動乱、ヨーロッパ人来航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業と対外関係、武将や豪商の生活文化の展開などを通して、近世社会の基礎がつけられたことを理解する。 ・日本にやって来たヨーロッパ人は何を伝えたか？ ・信長と秀吉の政策を整理しよう。 ・戦国大名の文化を知る。
	中間検査までの時数 12	江戸幕府の成立と大名統制、鎖国政策、身分制度の確立及び農村の様子、鎖国下の対外関係を通して、江戸幕府の政治の特色を考え幕府と藩による支配が確立したことを理解する。 ・大名をおさえるために、幕府はどのような方策を用いたであろう？ ・幕府が鎖国にふみきった理由は何だろう？ ・なぜ、士農工商という身分がつけられたのか？支配の仕方をまとめよう。 ・江戸幕府の発展と庶民の生活を知る。
	第3節 幕藩体制の成立 第4節 幕藩体制の展開	
	1学期の時数 26 第4節 幕藩体制の展開	
二 学 期	第5節 幕藩体制の動揺	社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを通して幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解する。 ・各政治や改革の比較と評価を考えよう。 ・化政文化と元禄文化を比較しよう。 欧米諸国における市民革命や産業革命、アジア諸国の動きなどを通して、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解する。 ・市民革命の意義を知り、産業革命の影響を考える。 ・植民地とは何か？
	中間検査までの時数 14	
	第5章 近代の日本と国際関係 第1節 欧米諸国の近代化と日本への接近	
	2学期の時数 26 第1節 欧米諸国の近代化と日本への接近	
三 学 期	第2節 開国と幕末の動乱 第3節 立憲国家への道	開国とその影響、富国強兵・殖産興業策、文明開化を通して、新政府による改革の特色を考える。明治維新によって近代国家の基礎が整えられて人々の生活が大きく変化したことを理解する。 ・開国の影響を考える。 ・江戸幕府が滅亡する経過を学ぶ。 ・江戸時代と比べて変わった点をあげてみよう。 ・国民は政府にどのような不満を持ち始めたか？ ・我が国の産業革命、国民生活の変化を理解する。
	3学期の時数 18 第3節 立憲国家への道	
	第3節 立憲国家への道	

講 習	・夏休みに希望者対象で歴史への興味関心を高める講座を実施
評価方法	・観点「知識・技能」「思考・判断・表現」は考査の成績を基本とする。 ・観点「主体的に学習に取り組む態度」は、授業中の取り組みや提出物などで評価する。

理 科

科目 : 物理化学

学年 : 2 年

履修 : 共 通

単位数 : 2

週当り時数

学習目標

自然の事物・現象に進んでかかわり、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力の基礎と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。

使用教材	新しい科学2（東京書籍），最新理科便覧（浜島書店），系統的に学ぶ中学化学（文理），マイシート理科2年（創育），よくわかる理科の学習②学習ノート付（明治図書），キホンの夏（夏の補充セミナー）理科2年（新学社）
------	---

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 <物質のなりたち，物質どうしの化学変化> ・化学変化（熱分解，電気分解） ・原子と分子 ・元素記号，化学式	・炭酸水素ナトリウムの熱分解等の実験を通して，実験器具の使い方，実験の方法等を学ぶとともに，化学変化，特に分解反応について理解する。 ・物質が目に見えないほど小さい粒子（原子，分子）からできているという考え方から，化学変化を理解する。 ・化学式から，化学反応式の作り方を学ぶ。 ・鉄と硫黄の反応等の実験から，化合，酸化の変化を原子レベルで理解する。 ・燃焼と還元を，酸素のやりとりから原子レベルで理解する。 ・発熱反応，吸熱反応の実験から，化学反応と熱の出入りを理解する。 ・実験を通して，質量保存の法則を理解する。 ・銅の酸化実験を通して，化学変化における物質の質量の関係を理解する。
	5 中間調査までの時数 14	
	6 ・単体，化合物 ・化学反応式	
	7 1学期の時数 28	
二 学 期	9 <酸素がかかわる変化，化学変化と物質の質量> ・化合 ・酸化と酸化物 ・燃焼と還元 ・発熱反応と吸熱反応 ・質量保存の法則	・鉄と硫黄の反応等の実験から，化合，酸化の変化を原子レベルで理解する。 ・燃焼と還元を，酸素のやりとりから原子レベルで理解する。 ・発熱反応，吸熱反応の実験から，化学反応と熱の出入りを理解する。 ・実験を通して，質量保存の法則を理解する。 ・銅の酸化実験を通して，化学変化における物質の質量の関係を理解する。 ・異なる物質同士をこすり合わせると静電気が起こり，帯電した物体間では空間を隔てて力が働くことを理解する。 ・回路をつくり，電流，電圧，抵抗についての規則性を理解する。 ・電流によって，熱や光などが取り出せ，電力によってその量に違いがあることを理解する。
	10 中間調査までの時数 16	
	11 <電気の世界> ・静電気と電流 ・電流の性質	
	12 2学期の時数 30	
三 学 期	1 ・電流と磁界	・磁界を磁力線で表すことを理解する。 ・コイルや磁石を動かすことにより電流が得られることを理解し，直流と交流の違いを理解する。
	2	
	3 3学期の時数 20	

講 習	夏期講習
-----	------

評価方法	【知識・技能】 ・定期テスト ・実験レポート ・提出物 【思考・判断・表現】 ・定期テスト ・実験レポート ・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 ・定期テスト ・実験レポート ・提出物 ・行動観察
------	--

理 科

科目 : 生物地学

学年 : 2 年

履修 : 共 通

単位数 : 2
週当り時数 :

学習目標

自然の事物・現象に進んでかかわり、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力の基礎と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。

使用教材	新しい科学2（東京書籍） 最新理科便覧（浜島書店） 系統的に学ぶ中学地学（文理） マイシート理科2年（創育） よくわかる理科の学習②学習ノート付（明治図書） キホンの夏（夏の補充セミナー）理科2年（新学社）
------	---

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 【単元2】 動物の生活と生物の変遷 第1章 生物と細胞	【単元2】 動物の生活と生物の変遷 第1章 生物と細胞 1 細胞のつくり 2 単細胞生物と多細胞生物 第2章 動物のからだのつくりとはたらき 1 消化と吸収 2 呼吸のはたらき 3 血液のはたらき 4 排出のしくみ
	5 中間調査までの時数 14	
	6 第2章 動物のからだのつくりとはたらき	
	7 1学期の時数 28	
二 学 期	9 第2章 動物のからだのつくりとはたらき	第2章 動物のからだのつくりとはたらき 5 刺激と反応 6 神経のはたらき 7 骨と筋肉のはたらき 第3章 生物の変遷と進化 1 セキツイ動物の出現と進化 2 さまざまな進化の証拠
	10 中間調査までの時数 16	
	11 第3章 生物の変遷と進化 【単元3】 天気とその変化 第1章 気象観測と雲のでき方	【単元3】 天気とその変化 第1章 気象観測と雲のでき方 1 気象の観測 2 水蒸気の変化 3 雲のでき方
	12 2学期の時数 30	
三 学 期	1 第1章 気象観測と雲のでき方 第2章 前線とそのまわりの天気の変化 第3章 大気の動きと日本の天気	第1章 気象観測と雲のでき方 4 水の循環 5 気圧と風 第2章 前線とそのまわりの天気の変化 1 気団と前線 2 前線の通過と天気の変化 第3章 大気の動きと日本の天気 1 日本の天気の特徴 2 大気の動き 3 天気の変化を予想しよう 4 気象災害への備え
	2	
	3 3学期の時数 20	

講 習	
評価方法	定期調査・課題・小テスト、提出物、実験プリントを総合的に評価する。 【知識・技能】定期試験・小テスト・ワークシート 【思考・判断・表現】定期試験・実験プリント・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】提出物・実験レポート・行動観察・小テスト

音楽

科目 : 音楽

学年 : 2年

履修 : 共通

単位数 : 1

週当り時数

学習目標

- (1) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を高め、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を身につける。
- (2) 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫して表現する能力を身につける。
- (3) 多様な音楽に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する能力を高める。

使用教材	中学の音楽2・3上 教育芸術社 中学の器楽 教育出版社 New Chorus Friends 教育芸術社 教師作成による資料
------	---

月	学習単元	学習事項等
一学期	4 ○歌唱 夢の世界を 夏思い出 など ○鑑賞 「運命」 ○読譜 音符/休符の名称と長さ・ ハタの連結	○歌詞の内容や風景をイメージしながら、曲想豊かに表現する。歌詞の4番を作成し自身で歌う。 ○ソナタ形式について理解を深めるとともに、古典派の時代背景や音楽の特徴を理解する。 ○音符の名称や長さについて理解するとともに、ハタのある音符の連結について考察する。 ○1オクターブ半程度の音域のアルトリコーダー作品を演奏する。 ○幅広い音域と簡単な変化記号を取り入れた作品を演奏する。全曲を歌えるようにし、曲の全体像をイメージしながら演奏する。 ○「小フーガ」では、フーガの構成やパイプオルガンのしくみ、バロック時代について理解しながら鑑賞する。
	5 中間考査までの時数 7	
	6 ○器楽 アルトリコーダー 教科書の小品 ○鑑賞「小フーガ」 ○実技試験 歌唱	
	7 1学期の時数 14	
二学期	9 ○鑑賞 世界の諸民族の音楽 ○歌唱 「サンタルチア」 ○読譜 音名 ○実技試験	○世界の弦楽器の音色の特徴に注意しながら、世界各国の生活・風習・文化と関連づけて鑑賞する。時間的余裕があれば、世界の民族音楽の歌唱に取り組む。 ○カンツォーネに親しみ、外国語の歌に挑戦する。 ○ドイツ・英米・日本・イタリア音名について理解し、音楽のどのような場面でこれらの音名が使い分けられるのかを理解する。 ○楽曲の全体像を把握しながら、自分のパートの音程を正しく理解し歌えるようにする。 ○「勸進帳」では、長唄のしくみや使用される楽器、歌舞伎について理解しながら、江戸時代の風習・文化に関連づけて鑑賞する。
	10 中間考査までの時数 8	
	11 ○歌唱 合唱祭課題曲 パート練習練習 ○鑑賞 「勸進帳」	
	12 2学期の時数 15	
三学期	1 ○歌唱 合唱祭課題曲・自由曲 合唱練習 ○鑑賞 「アイダ」 ○実技試験	○楽曲の全体像を把握しながら、自分のパートを正しい音程で歌う。また、歌詞や言葉の意味をくみ取り、言葉がもつエネルギーを音楽作りに生かし、説得力のある歌作りをする。 ○「アイダ」においては、オペラの仕組みと楽曲の背景、ミュージカルとの違いについて学ぶ。 ○映画における音楽の役割を意識し、その音響効果を理解しながら鑑賞する。
	2 3学期の時数 10	
	3 ○音楽映画鑑賞	

講習	時間を設けての講習は行わないが、各学期、学年末において、評定1が見込まれる生徒について、課題を提供する。
----	--

評価方法	・授業の平常点と実技試験と定期試験を1:1:1の割合で評価する。評価は1学期からの累計で行う。「学びに向かう人間性等」は授業や定期考査、実技等に粘り強く取り組みを行おうとしていること見とれる場面で評価し、実技テスト、配付プリントの内容、提出状況などによって行う。「思考力・判断力・表現力等」は主に「表現」や「鑑賞」における表現しようとしていること、工夫していること、感受している内容などを総合的に判断する。「知識・理解」は主に授業のワークシート、実技技能の技術的なことに関すること、および読譜スキル、定期試験の鑑賞分野で評価する。
------	---

美術

科目 : 美術
 学年 : 2 年
 履修 : 共通
 単位数 : 1
 週当り時数 :

学習目標

(1) 主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高める。
 (2) 対象を深く見つめる力、感性や想像力を一層深め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し創造的に表現する能力を伸ばす。
 (3) 自然、美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心をもち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高める。

使用教材	美術2 開隆堂 美術資料 秀学社
------	---------------------

月	学習単元	学習事項等
一学期	4 ◎篆刻（工芸・デザイン・鑑賞） ・撰文 ・検字 ・布字入れ	① 篆刻について理解し、表現方法に関心を持ち、意欲的に作業を進める。 ② 自分の名前にあった文字を選び、文字のバランスをとる。 ③ 篆刻の彫り方を理解し、文字の太さをそろえて彫る。きれいに押印する。 ④ 参考作品を鑑賞し、表現の美しさを主体的に感じ取り、作品に生かす。
	5 中間検査までの時数 7	
	6 ・彫り ・試印	
	7 1学期の時数 14	
二学期	9 ◎色面構成「生物による構成」 （絵画・デザイン・鑑賞） ・スケッチ ・図案化	① 身近な生物から、隠された美に関心を持って観察し、自分なりの美を見つけようとする。 ② モチーフをよく観察し、その特徴をとらえて発想することができる。 ③ 単純化や強調によって、新しい形や配色を発見することができる。 ④ 参考作品を鑑賞し、表現の美しさを感じとる。 ① 色に興味をもち、配色と混色の工夫をする。 ② 色や形を考えて、変化と統一を意識して工夫できる。 ③ 色と形を自分のイメージに合わせ、工夫して表すことができる。
	10 ○構成の基本 中間検査までの時数 8	
	11 ○色彩の基本 ・配色の基本 ・彩色の基本	
	12 2学期の時数 15 ・彩色の基本	
三学期	1 ○彩色の基本 ・色面の塗り方 ・平塗りの技法	① 絵具の特徴や、性質を理解する。 ② 色面構成に適した絵具を選び、用具の使い方や、絵具の塗り方、面の塗り方（平塗り技法）を習得する。 ③ 色と形を生かした表現を、工夫することができる。 ④ 友人の作品を鑑賞し、表現の美しさを感じ取る。
	2	
	3 3学期の時数 10	

講習	
----	--

評価方法	テスト、美術館レポート、作品、授業の様子、プリント等 実技作品評価は、学期ごとの定期検査での絵画表現（30%）と、授業での課題作品（70%）とする。 観点別の割合は、技能（30%）、表現（40%）、主体的に学習に取り組む態度（30%）とする。
------	---

保健体育

科目：保健体育

学年：2年

履修：共通

単位数：3
週当り時数

学習目標

○各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
○運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
○生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

使用教材	ステップアップ中学体育（大修館書店） 新版 中学校保健体育（大日本図書）
------	---

月	学習単元	学習事項等
一学期	4 集団行動・体づくり運動 陸上競技 ・短距離走・リレー・走り幅跳び・走り高跳び 器械運動 ・跳び箱運動 保健	【集団行動】 ・姿勢、集合、整頓、開列、行進、礼・安全な行動様式 【体づくり運動】 ・体ほぐしの運動、体力を高める運動 【陸上競技：短距離走・リレー】 ・スタート、スタートダッシュ、中間疾走、フィニッシュ、バトンパス 利得距離、計測（スターター・ストップウォッチの使い方・記録） 【器械運動：跳び箱】 ・切り返し系・回転系
	5 中間調査までの時数 21 体づくり運動 ・体力を高める運動	【陸上競技：走り幅跳び・走り高跳び】 ・助走、踏み切り、空中動作、着地 【保健】 ・健康の成り立ち、食生活と健康、運動と健康、休養・睡眠と健康、生活習慣の変化と生活習慣病、生活習慣病の予防
	6 体育理論 保健	【体育理論】 ・運動やスポーツの多様なかわり方、運動やスポーツが体に与える効果
	7 1学期の時数 42 水泳	
	二学期	9 水泳 陸上競技 ・走り幅跳び・走り高跳び 器械運動 ・跳び箱運動 保健
10 中間調査までの時数 24 武道 ・柔道	【球技：ソフトボール】 ・安全確認（決まりやマナー）、捕球、送球、投球、打撃、走塁、戦術	
11 球技「ベースボール型」 ・ソフトボール 体育理論 保健	【保健】 ・喫煙と健康、飲酒と健康、薬物乱用と健康、喫煙、飲酒、薬物乱用のきっかけ、傷害の発生要因と防止、交通事故の要因と傷害の防止、犯罪被害の防止、自然災害による傷害の防止	
12 2学期の時数 45	【体育理論】 ・運動やスポーツが心に与える効果	
三学期	1 球技「ネット型」 ・バレーボール 陸上競技 ・長距離走	【陸上競技：長距離走】 ・安全確認（決まりやマナー）、フォーム、呼吸法、ペース 【球技：バレーボール】 ・安全確認（決まりやマナー）、パス、サーブ、トス、スパイク、ブロック、戦術
	2 保健 体育理論	【保健】 ・応急手当の基本、心肺蘇生、出血があるときの応急手当、外傷の応急手当 【体育理論】 ・安全な運動やスポーツの行い方
	3 3学期の時数 30 体づくり運動 ・体力を高める運動	【体づくり運動】 ・体力を高める運動

講習	水泳と持久走の補習
評価方法	運動や健康・安全についての学びに向かう力、人間性等【授業に取り組む姿勢、授業中の言動観察、学習カードの記入内容など】 運動や健康・安全についての知識及び技能【定期調査、学習カード・レポート・ノートの記入内容、スキルテスト、技能の記録など】 運動や健康・安全についての思考力、判断力、表現力等【定期調査、学習カード・レポート・ノートの記入内容、授業中の言動観察など】

技術・家庭

科目 : 技術
 学年 : 2年
 履修 : 共通
 単位数 : 1
 週当り時数 :

学習目標

- ① 立体を平面状に表すにはキャビネット図、等角図、第三角法による正投影図の三つがあることを理解する。
- ② 製図作業を通して必要な線の種類を理解し、正確な寸法で図面を完成させることができる。
- ③ 作物や花の栽培を通して、生物育成と社会の関係を理解する。

使用教材	技術・家庭 技術分野 (教育図書)
------	-------------------

月	学習単元	学習事項等
一学期	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ キャビネット図、等角図、正投影図、それぞれの特徴を覚えて、実際に、これらの違いを理解する。 ・ 見取図や構想図とは、どのような図なのかをみましょう。 ・ 製図の見方を身に付けて、正しい線の用法を学びます。
	5	
	6	
	7	
中間検査までの時数 7 ○製図に必要ないろいろな線について ○寸法補助記号 1学期の時数 14 ○線の用途		
二学期	9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 組み立て図や構想図を表すには、キャビネット図と等角図があることを知る。 ・ 正投影図で組み立て図を描くことができる。 ・ 第三角法を知る。
	10	
	11	
	12	
○組み立て図をかく 中間検査までの時数 8 ○第三角法による正投影図 2学期の時数 15		
三学期	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 葉菜類、ベビーリーフの栽培方法について学びます。 ・ 野菜の養液栽培や土耕栽培とは何かを学びます。 ・ 花の栽培に必要な技術を学び、発展を考えます。
	2	
	3	
・ 生物育成に関する技術 ○ベビーリーフの栽培 ○簡単な養液栽培 ○花や作物の栽培 3学期の時数 10 ・ 生物育成に関する技術 ○環境と作物のかかわり		

講習	
評価方法	授業への姿勢、取り組み、テスト(定期検査など)、作品・課題の提出

技術・家庭

科目 : 家庭
 学年 : 2年
 履修 : 共通
 単位数 : 1
 週当り時数 :

学習目標

- ・食生活を取り巻く課題に関心を持ち、より良くしていこうとする姿勢を養う。
- ・衣生活や住生活について、実践的・体験的な学習を通して生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識と技術を習得する。
- ・消費生活について、実践的・体験的な学習を通して生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識と技術を習得する。

使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい技術・家庭(家庭分野) 東京書籍 ・わたしたちの快適な住まい ・各実習教材
------	---

月	学習単元	学習事項等
一学期	4 衣生活・住生活と自立 ・衣服の選択と手入れ	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服と社会生活とのかかわりを理解し、TPOに応じた着用を工夫する技能を習得する。 ・衣服の計画的な活用の必要性を理解し、適切な選択ができる。 ・既制服の表示の意味を理解し、選択するための情報を収集・整理する知識と技術を習得する。 ・衣服の手入れの必要性を理解し洗濯や補修の知識と技能を習得する。 ・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れに関心を持ち自分なりに工夫して実習する。
	5 中間考査までの時数 7	
	6 衣生活・住生活と自立 ・衣服の選択と手入れ	
	7 1学期の時数 14	
	7	
二学期	9 ・衣服の補修に関わる布を用いた物の製作	<ul style="list-style-type: none"> ・布を用いた製作を通して、裁縫の基本的な技能を習得する。 ・製作を通して、生活を豊かにするための工夫ができる。
	10 中間考査までの時数 8	
	11 ・衣服の補修に関わる布を用いた物の製作	
	12 2学期の時数 15	
	12	
三学期	1 身近な消費生活と環境 ・家庭生活と消費	<ul style="list-style-type: none"> ・自分や家族の消費生活に関心を持つ。 ・販売方法の特徴について知り、生活に必要な物資・サービスの適切な選択及び活用ができる知識を習得する。
	2	
	3 3学期の時数 10	

講習	
評価方法	評価方法・定期考査、授業観察、提出期日、課題、実技、提出物（ノート・ワークシート・宿題等）を総合的に評価

英語

科目 :
 学年 :
 履修 :
 単位数 :
 週当り時数 :

英語
 2 年
 共 通
 5

学習目標

- (1) 「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」をバランスよく学び、コミュニケーションの幅を広げる。
- (2) 中学校課程における基本的な文法について理解し、運用できる。
- (3) 目標習得語彙数1500語
- (4) 検定目標[英検 3 級、CEFR A1]
- (5) 多読で英語に親しむ。

使用教材	【共通】① NEW HORIZON 2、3 (東京書籍) ②エイゴラボ2年、3年 (正進社) ③ENGLISH SEARCH II (教育開発出版) ④ マーフィーのケンブリッジ英文法初級編 (Cambridge University Press) 【標準クラス】① Let's Enjoy "BINGO" 2 (浜島書店) ② Uncover2 (Cambridge University Press) ③ Writing from Within Second Edition 1 (Cambridge University Press) 【発展クラス】① TED TALKS 21st Century Reading 2 (CENGAGE Learning) ② Writing from within 2 (Cambridge University Press)
-------------	--

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等	
一 学 期	4	【標準】NEW HORIZON 2 (Unit 0,1,2) Uncover 2 (Unit 1~2) Writing from Within 2nd edition 1 (Unit 7) ※「エイゴラボ」「ENGLISH SEARCH II」は授業の進度に合わせて進める。 ※授業進度に合わせ、教科書に準じた単語テストを毎週実施する。 ※週に1回、授業内で10分間、多読を実施する。 ※週に1回、Journal essayを書き、word数を記録していく。 【発展】 21 Century Reading 2・Writing from within 2・洋書	【言語材料】 (1) 前学年の復習 (there is / 過去進行形 / be動詞過去) (2) 未来表現 (be going to... / will) (3) 第4・5文型 (SVOO / SVOC) (4) 接続詞 (when / if / that / because) 【活動内容】 (1) 旅行の計画を立てて発表する。 (2) 苦情を言うときや謝罪するときの表現を学ぶ。 (3) 好きな食べ物やその理由についてまとまった語彙で表現する。 (4) TED TALKSでのスリートを聞き、内容を理解する。 【発展】 (1) 21st Century Reading 2をベースに、時事英語、時事問題を学ぶ。 (2) Writing from within 2 をベースにエッセイライティングを学ぶ。 (3) 洋書をReadingのメインテキストにすえ、読解力を養う。
	中間考査までの時数 35		
	5	【標準】NEW HORIZON 2 Reading1 (Unit 3,4,5) Uncover (Unit 3~4) Writing from Within 2nd edition 1 (Unit 8) ※「エイゴラボ」「ENGLISH SEARCH II」は授業の進度に合わせて進める。 ※授業進度に合わせ、教科書に準じた単語テストを毎週実施する。 ※週に1回、授業内で10分間、多読を実施する。 ※週に1回、Journal essayを書き、word数を記録していく。 【発展】 21 Century Reading 2・Writing from within 2・洋書	【言語材料】 (1) 不定詞 (副詞的用法、形容詞的用法) (2) 助動詞 (have to / don't have to / must / must not) (3) 動名詞 (目的語、主語) (4) SV+疑問詞+to... / SVO+疑問詞+to... / be+形容詞 (sureなど) +that 【活動内容】 (1) 将来の夢について文章にまとめ、スピーチをする。 (2) お世話になった人へ感謝の手紙を書いてみる。 (3) 説明文を読んで、内容を読み取る。 (4) TED TALKSでのスリートを聞き、内容を理解する。 【発展】 (1) 21st Century Reading 2をベースに、時事英語、時事問題を学ぶ。 (2) Writing from within 2 をベースにエッセイライティングを学ぶ。 (3) 洋書をReadingのメインテキストにすえ、読解力を養う。
	1 学期の時数 70		
7	【共通】Reading 2 ◆洋書多読①	【活動内容】 (1) 物語を読み、内容を理解する。 (2) 多くの洋書に親しむ。	
二 学 期	9	【標準】NEW HORIZON 2 (Unit 6,7) Uncover (Unit 5~6) Writing from Within 2nd edition1 (Unit9) ※「エイゴラボ」「ENGLISH SEARCH II」は授業の進度に合わせて進める。 ※授業進度に合わせ、教科書に準じた単語テストを毎週実施する。 ※週に1回、授業内で10分間、多読を実施する。 ※週に1回、Journal essayを書き、word数を記録していく。 【発展】 21 Century Reading 2・Writing from within 2・洋書	【言語材料】 (1) 比較級 -er / 最上級 -est / 比較級 more / 最上級 most / the best, better / as...as (2) 受け身の文 (平叙文・疑問文と応答、byつきの受け身、助動詞+受け身) (3) Shall I ~? (4) 自分の好みや要望を伝える表現 (Do you want to...? / I'd like to, but I can't.) 【活動内容】 (1) 乗り物での生き方を尋ねたり、答えたりする。 (2) 身近なことについて特徴を比較しながら説明する。 (3) クラスで人気のものを調べ、プレゼンする。 (4) TED TALKSでのスリートを聞き、内容を理解する。 (5) 英語発表会に向けて身の回りの事を題材にスピーチを書く。 【発展】 (1) 21st Century Reading 2をベースに、時事英語、時事問題を学ぶ。 (2) Writing from within 2 をベースにエッセイライティングを学ぶ。 (3) 洋書をReadingのメインテキストにすえ、読解力を養う。
	中間考査までの時数 40		
	10	【標準】NEW HORIZON 2 重要文法事項の復習 Uncover (Unit 7~8) Writing from Within second edition1 (Unit10) ※「エイゴラボ」「ENGLISH SEARCH II」は授業の進度に合わせて進める。 ※授業進度に合わせ、教科書に準じた単語テストを毎週実施する。 ※週に1回、授業内で10分間、多読を実施する。 ※週に1回、Journal essayを書き、word数を記録していく。 【発展】 21 Century Reading 2・Writing from within 2・洋書	【言語材料】 (1) 2 年次の既習文法事項 【活動内容】 (1) 自分の尊敬する人物、自分の夢についてスピーチを書く。 (2) 自分の町を紹介する文章を書く。 (3) TED TALKSでのスリートを聞き、内容を理解する。 (4) 英語発表会に向けて、それぞれが自分の夢や、考えについてのスピーチを書き、暗記し、伝える練習をする。 【発展】 (1) 21st Century Reading 2をベースに、時事英語、時事問題を学ぶ。 (2) Writing from within 2 をベースにエッセイライティングを学ぶ。 (3) 洋書をReadingのメインテキストにすえ、読解力を養う。
	2 学期の時数 75		
12	英語発表会のセレクション 洋書多読②	【活動内容】 (1) 英語発表会に向けて仕上げたスピーチを発表する。 (2) 多くの洋書に親しむ。	
三 学 期	1	【標準】NEW HORIZON3 (Unit 0,1,2) Uncover (Unit 9~10) Writing from Within second edition1 (Unit11/12) ※「エイゴラボ」「ENGLISH SEARCH II」は授業の進度に合わせて進める。 ※授業進度に合わせ、教科書に準じた単語テストを毎週実施する。 ※週に1回、授業内で10分間、多読を実施する。 ※週に1回、Journal essayを書き、word数を記録していく。 【発展】 21 Century Reading 2・Writing from within 2・洋書	【言語材料】 (1) 受け身 (復習) (2) 現在完了形 (経験用法、完了用法、継続用法) (3) make+ (代) 名詞+形容詞 (4) How long have you...?と応答 (5) 現在完了進行形 【活動内容】 (1) 日本の伝統文化を紹介する。 (2) 外国人の先生にインタビューする。 (3) 風景を描写する表現を学ぶ。 (4) TED TALKSでのスリートを聞き、内容を理解する。 【発展】 (1) 21st Century Reading 2をベースに、時事英語、時事問題を学ぶ。 (2) Writing from within 2 をベースにエッセイライティングを学ぶ。 (3) 洋書をReadingのメインテキストにすえ、読解力を養う。
	3 学期の時数 50		
	2		
	3	既習文法事項の総復習 洋書多読③	

講 習	(1) 放課後指名制補習 ※定期考査の得点、授業・課題への取り組み状況等から総合的に判断し、補習対象者を決定する。 (2) 長期休業中の講習 (指名制、希望制)
------------	---

評価方法	(1) 観点1 「知識・技能」(定期考査、単語テスト、単元テスト) (2) 観点2 「思考・判断・表現」(定期考査、英作文・インタビューテスト・スピーチなどの発表) (3) 観点3 「主体的に学習に取り組む態度」(授業態度・課題・発表への取組状況、提出物等)
-------------	---

第三学年

国 語

科目 : 国 語
 学年 : 3 年
 履修 : 共 通
 単位数 : 3
 週当り時数 :

学習目標

1. 本文に根拠を求めながら、文章の趣旨や意味内容を正確に読み取る力を身につける。
2. 社会生活などの身の回りの具体的な事柄や抽象概念について、自分の考えをもち深められる思考力を身につける。
3. 目的や場面に応じて、受け手に対して強い印象を与えられる表現力を身につける。

使用教材	国語3 (光村図書)・漢字ボックス (浜島書店)・よくわかる国語の学習3 (明治図書) 中学国文法 (秀学社)・新国語の便覧 (正進社)・新編新しい書写一・二・三 (東京書籍) ビギナーズ古典 (尚文出版)
------	---

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 詩「春に」(谷川俊太郎) 小説「握手」(井上ひさし) 漢文「学びて時にこれを習ふ」 漢字「熟語の読み方」 文法 自立語の復習 話す・聞く「社会との関わりを伝えよう」	【詩】表現の特徴に着目して、詩に込められた思いをとらえる。 【小説】作品に描かれた登場人物の生き方や考えから、人間や社会に対する自分の意見を持ち、作品を評価する。 【漢文】人間の生き方についての孔子の考え方を自分たちの生活と関連付けて考える。 【説明文】文の構造を理解し、内容をわかりやすく説明できる。 【俳句】筆者のものの見方や感じ方、表現の仕方などを読み味わい、俳句の世界に親しむ。
	5 中間調査までの時数 21	【小説、読書】目的をもって本を読み、表現上の特徴、文章の展開や場面・登場人物の設定、表現の仕方などから文章を評価し、自分の考えを広げ、深める。
	6 説明「月の起源を探る」(小久保英一郎) 情報「想いのリレー」に加わろう(藤代裕之) 俳句・解説「俳句の可能性」(宇多喜代子) 「俳句を味わう」 小説「高瀬舟」(森鷗外) 論説「『批評』の言葉をためる」(竹田青嗣) 文法 助詞	【文法】現代語文法の自立語について復習する。 【古典】古典の基礎知識を身につける。 【書く】内容にふさわしい文章の形態や素材を選び、紙面構成を工夫して書く。 【話す・聞く】これまでの自分と社会との接点を見直し、体験や考えたことを人に伝える。
	7 1学期の時数 42	
二 学 期	9 詩「挨拶—原爆の写真によせて」(石垣りん) 小説「故郷」(魯迅) 古文「古今和歌集仮名序」 文法 助動詞 言葉「慣用句・ことわざ・故事成語」	【詩】作者のものの見方や考え方が表されている表現や使われている語句の効果に着目し、人間や社会について考える。 【小説】作品を通して人間と社会との関わりについて考え、自分の意見を持つ。情景や人物を描写する語句や表現を評価しながら、登場人物の心情や作者の意図を読み取る。
	10 中間調査までの時数 24	【古文】古典の世界に親しみ、歴史的な背景に注意して古典の和歌や「おくのほそ道」を読み、作者の心情、ものの見方、感じ方や情景を読み取り、人間や自然などについて、自分の考えを持つ。
	11 古文「君待つと一万葉・古今・新古今」 古文「夏草—『奥のほそ道』から」(松尾芭蕉) 古文・解説「古典を心の中に」(竹内正彦) 論説「作られた『物語』を超えて」(山際寿一) 書く「説得力のある文章を書こう」 論説「新聞の社説を比較して読もう」 文法 現代語文法の総復習 書写 楷書と行書	【論説】筆者の考えを表す語句や論理の展開に着目して、主張を捉える。 【話す・聞く】社会生活の中から課題を見つけ、その解決に向けて説得力のある提案をする。 【書く】社会生活の中から関心のある事柄を決め、観点を立てて分析し、自らの意見を交えて文章を書く。 【文法】現代語文法の総復習をする。 【書写】楷書と行書の特徴を捉え、書き分ける。
	12 2学期の時数 45	
三 学 期	1 ノンフィクション「エルサルバドルの少女」(長倉洋海) 論説「誰かの代わりに」(鷺田清一) 詩「わたしを束ねないで」(荒川和江) 書写 文法 現代語文法の総復習、古典文法の基礎	【ノンフィクション】読書を通して世界の人々の姿を知り、人間の生き方や社会の在り方について考える。 【論説】筆者のものの見方や考え方をとらえ、これからの自分の生き方について考える。 【詩】詩における語句の効果的な使い方や表現の工夫に注意して読み、人間・社会・自然などについて考え、自分の意見をもつ。
	2 3学期の時数 30	【書写】字のバランスを考えながら書き初め作品を書く。 【文法】現代文法の総復習をする。古典文法の基礎を学ぶ。
	3 高校入試問題演習 古典文法の基礎	

講 習	定期調査平均点の7割程度に満たない場合は指名制補習の対象となり得る。 夏期講習・冬期講習「基礎編」「発展編」開講予定
評価方法	各観点ごとに年間5回のテスト及び平常点(毎回の授業の宿題、ノート・課題プリントなどの提出物)から総合的に評価する。

社 会

科目 : 歴史的分野

学年 : 3 年

履修 : 共 通

単位数 : 2
週当り時数

学習目標

1) 広い視野に立って、世界の歴史的事象と関連させた我が国の歴史的事象を、資料をもとに多角的・多面的に考察し、適切に判断すると共に諸問題を解決しようとする意欲を育てる。
2) 国際社会に生きる民主的、平和的な国家や社会の形成者として自覚を高め、国際社会に貢献するリーダーとしての資質を養う。

使用教材	教科書：『中学社会 日本と世界』山川出版社 副教材：『よみとき総合歴史』浜島書店、『江戸から東京へ』東京都教育委員会 『高等学校世界史A 新訂版』清水書院
------	---

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 立憲国家への道 日清・日露戦争とアジア	5-3-3. 文明開化と欧米文化の導入 5-3-4. 明治初期の対外関係 5-3-5. 自由民権運動と国会開設 5-3-6. 憲法制定と帝国議会 5-4-1. 欧米の帝国主義
	5 中間考査までの時数 14 日清・日露戦争とアジア	5-4-2. 初期議会と条約改正 5-4-3. 日清戦争 5-4-4. 日露戦争と東アジア 5-4-5. 日本の大陸進出と辛亥革命 5-5-1. 日本の産業革命と経済の発展
	6 1学期の時数 28 近代日本の産業と文化	5-5-2. 都市と農村の変化 5-5-3. 明治の文化と教育
	7	
二 学 期	9 二つの世界大戦と日本	6-1-1. 第一次世界大戦と国際関係、6-1-2. ロシア革命、6-1-3. ヴェルサイユ条約と国際関係、6-1-4. アジアの民族運動、6-1-5. 大正デモクラシーと政党内閣の成立、6-1-6. 社会運動の高まりと普通選挙法の制定、6-1-7. 大衆文化の発展とその背景
	10 中間考査までの時数 16 二つの世界大戦と日本	6-2-1. 世界恐慌とその対応、6-2-2. ファシズムの台頭、6-2-3. 昭和恐慌と政党政治への反発、6-2-4. 軍部の台頭、6-2-5. 日中戦争と国家総動員法、6-3-1. 第二次世界大戦、6-3-2. 太平洋戦争のはじまり、6-3-3. 戦時下の国民生活、6-3-4. 戦局の悪化と戦争の終結
	11 2学期の時数 30 戦後の日本と国際社会	7-1-1. 占領下の日本
	12	
三 学 期	1 戦後の日本と国際社会 新たな時代の日本と社会	7-1-2. 日本国憲法と民主化 7-1-3. 冷戦の時代とアジア・アフリカの独立 7-1-4. 独立回復と日米安全保障条約 7-1-5. 国際関係の変化と日本の外交 7-1-6. 高度経済成長と公害問題 7-1-7. 戦後昭和の社会と文化 7-2-1. 冷戦の終結 7-2-2. 今日の世界
	2 3学期の時数 20 新たな時代の日本と社会	7-2-3. 今の日本、これからの日本
	3	

講 習	・夏期、冬期休業中に、世界遺産に関するテーマ学習を行う。
評価方法	・考査の得点に、課題学習（調査・整理・表現）の評価、ノート提出（調べ学習の加点）、授業中の発言、挙手などの取り組み状況を考慮に入れ、総合的に評価する

社 会

科目 : 公民的分野

学年 : 3 年

履修 : 共 通

単位数 : 2
週当り時数 :

学習目標

- 1) 社会的事象に関する幅広い知識を身につけ、多面的・多角的な考察を行う能力を養う。
- 2) 国際社会に生きる民主的、平和的な国家・社会の形成者としての自覚を高める。
- 3) さまざまな資料を活用しながら課題を追求し、工夫して表現する能力を養う。

使用教材	教育出版 「中学社会 公民 ともに生きる」 帝国書院 「ライブ！現代社会2021」
------	--

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 【私たちの暮らしと現代社会】 1. 私たちが生きる現代社会 2. 現代につながる伝統と文化 3. 私たちがつくるこれからの社会	【私たちの暮らしと現代社会】 1. 現代日本の特色として、グローバル化、情報化、少子高齢化などがみられることを理解する。 2. 現代社会における文化の意義や影響を理解する。 3. 現代社会をとらえる見方や考え方の基礎として、対立と合意、効率と公正などについて理解する。
	5 中間検査までの時数 14	【個人を尊重する日本国憲法】 1. 日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本原理としていることについての理解を深める。 2. 基本的人権を守るという視点から、個人の尊重や法の意義についての理解を深める。 3. 日本国憲法が掲げる平和主義の考え方の背景とその意義を理解し、我が国の防衛と安全の問題について考える。
	6 【個人を尊重する日本国憲法】 1. 日本国憲法の成り立ちと国民主権 2. 憲法が保障する基本的人権	
	7 1 学期の時数 28 3. 私たちと平和主義	
二 学 期	9 【私たちの暮らしと民主政治】 1. 民主政治と日本の政治 2. 三権分立のしくみと私たちの政治参加 3. 地方自治と住民の参加	【私たちの暮らしと民主政治】 1. 多数決の原理とその運用のあり方について理解を深める。また、国会を中心とする我が国の民主政治のしくみのあらましや、選挙が果たす役割を理解する。 2. 国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、国会(立法)、内閣(行政)、裁判所(司法)による三権分立の原則があることを理解する。 3. 地方自治の基本的な考え方や、地方自治体による政治のしくみを理解する。
	10 中間検査までの時数 16	【私たちの暮らしと経済①】 1. 身近な消費生活を中心に、経済活動の意義を理解し、流通のしくみについての理解を深め、身近な暮らしと経済活動とのつながりを考える。 2. 現代の生産のしくみや、企業の果たす役割と責任を理解する。 3. 市場のしくみと市場がもつ機能について理解し、価格のはたらきに注目して、市場経済の基本的な考え方を身につける。 4. 銀行を中心とする現代の金融機関のしくみやはたらきを理解し、国民の生活と福祉の向上を図るために、財政として国や地方自治体が果たしている役割や、租税の役割について考える。
	11 【私たちの暮らしと経済①】 1. 消費生活と生産活動 2. 企業の生産のしくみと労働 3. 市場のしくみとはたらき	
	12 2 学期の時数 30 4. 金融のしくみと財政の役割	
三 学 期	1 【私たちの暮らしと経済②】 1. 暮らしを支える社会保障 2. これからの日本経済の課題 【国際社会に生きる私たち】 1. 国際社会の平和を旨として 2. 国際社会が抱える課題と私たち	【私たちの暮らしと経済②】 1. 社会保障制度のもつ意義と役割について理解し、国民の生活と福祉の向上を図るために、財政として国や地方自治体が果たす役割について考える。 2. 公害の防止など環境の保全についての問題、地域経済の活性化など、今後の日本経済が直面する課題をとらえる。また、今後の日本経済が抱える課題をどのように解決していけばよいかについて、意欲的に追究する。
	2 3 学期の時数 20	【国際社会に生きる私たち】 1. 世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには、各国が相互の主権を尊重し、各国が協力し合うことが大切であることを理解する。 2. 地域紛争とその背景にあるものとして考えられる、国際社会が抱える課題を理解する。
	3 【私たちが未来の社会を築く】 1. 持続可能な未来の社会へ	【私たちが未来の社会を築く】 持続可能な社会を形成するという観点から、わたしたちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題を探求し、自分の考えをまとめる。

講 習	成績不振者を中心に、必要に応じて補習課題等を適宜実施する。
評価方法	・観点③(主体的に学習に取り組む態度)は、授業中の取り組みや提出物(プリント、ノート、調べ学習など)で評価する。 ・観点①(知識・技能)・②(思考・判断・表現)は考査の成績を基本とし、提出物等での加点もある。 ・上記を勘案し、総合的に判断する。

数 学

科目 : 数 学

学年 : 3 年

履修 : 共 通

単位数 : 4
週当り時数

学習目標

2次関数の性質およびそのグラフについて理解する。三平方の定理について理解し、図形問題へ活用できるようになる。
数学 I・Aの内容に接続するため、高校数学の抽象概念を理解し、活用できるようにする。

使用教材	<ul style="list-style-type: none"> 体系数学2代数編・幾何編、体系問題集数学2代数編・幾何編（数研出版） 体系数学3数式・関数編、体系問題集数学3数式・関数編（数研出版） 体系数学3論理・確率編、体系問題集数学3論理・確率編（数研出版）
------	--

月	学 習 単 元		学 習 事 項 等	
一 学 期	4	<体系数学2代数> 第4章 関数 $y=ax^2$ ・ $y=ax^2$ のグラフ ・ $y=ax^2$ の値の変化 ・ $y=ax^2$ の応用 ・いろいろな関数	<体系数学2幾何> 第3章 円 ・円周角の定理 ・円に内接する四角形 ・円の接線 ・接線と弦のつくる角	<代数> ・関数 $y=ax^2$ について理解し、具体的な事象の中に関数関係を見だし、表現し考察できるようにする。 ・数を実数まで拡張する意義や基本的な概念を理解できるようにする。また、式を多面的にみたり処理したりできるようにする。 ・既習事項の展開と因数分解の確認をし、分数の場合と比べながら、分数式の四則計算を学習する。繰り返し練習することにより、式に関する基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。
	5	中間調査までの時数 28		
	6	<体系数学3数式・関数> 第1章 数と式 ・3次式の展開・因数分解 ・整式の割り算と分数式 ・絶対値と場合分け	第4章 三平方の定理 ・三角形の辺と角 ・三平方の定理 ・三平方の定理と平面図形 ・三平方の定理と空間図形	<幾何> ・円周角の定理から円の接線について理解し、様々な公式を覚え、それを用いることができるようにする。 ・三平方の定理について理解し、それを用いることができるようにする。 ・平面図形の基本的に知識を確認し、幾何的な見方ができるようにする。
	7	1 学期の時数 56 ・2重根号	<体系数学3論理・確率> 第1章 集合と論理 ・集合	空間図形の基本的に知識を確認し、幾何的な見方ができるようにする。
二 学 期	8	第2章 複素数と方程式 ・複素数 ・2次方程式の解と判別式 ・解と係数の関係	・命題と条件 ・命題と証明 ・集合の要素の個数	<代数> ・数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則計算をすることができるようになる。また、二次方程式の解の種類の判別及び解と係数の関係について理解する。 ・方程式についての理解を深め、数の範囲を複素数まで拡張して二次方程式を解くことができるようにする。
	9			・剰余の定理、因数定理について理解し、高次方程式の解を因数定理などを用いて求めることができるようになる。
	10	中間調査までの時数 32		
	11	・剰余の定理と因数定理 ・高次方程式 ・いろいろな方程式 第3章 2次関数 ・関数とグラフ ・2次関数のグラフ	第2章 確率 ・集合の要素の個数 ・場合の数・順列 ・円順列・重複順列 ・組合せ	<幾何> ・集合と命題に関する基本的な概念を理解できるようにする。 ・確率の知識を、ただ教えるのではなく、既習事項の集合の知識を活用し、ある事象を数学的に考察し、どう処理したらよいかを判断できる力を養う。
12	2 学期の時数 60 ・2次関数の最大と最小	・二項定理		
三 学 期	1	・2次関数の最大と最小 ・2次関数の決定 ・グラフと2次方程式 ・グラフと2次不等式 ・絶対値と方程式・不等式	・事象と確率 ・確率の基本性質 ・独立な施行の確率 ・条件付き確率 ・期待値	<代数> ・2次関数の決定において、条件を処理するのに適した式の形を使うことができるようにする。 ・2次方程式の解き方として、因数分解利用、解の公式利用ができるようにする。 ・2次方程式の解の考察において、判別式 $D=b^2-4ac$ を使うことができるようにする。 ・2次不等式を解くことができるようにする。 ・2次不等式を利用する応用問題を解くことができるようにする。
	2			<幾何> ・すべての根元事象が同様に確からしい具体的な例を通して、すべてを数え上げることで、条件付き確率の定義の意味を理解させる。
	3	3 学期の時数 40 ・3年間の復習	・3年間の復習	

講 習	定期調査前、長期休業中に実施する。
-----	-------------------

評価方法	・定期調査・章末テストの結果 ・提出物（宿題、レポート・ノート・課題など） ・授業評価 から総合的に評価する。
------	--

理 科

科目 : 物理化学

学年 : 3 年

履修 : 共 通

単位数 : 2
週当り時数 :

学習目標

自然に対する関心を高め、事物・現象についての理解を深める。観察、実験など自然科学における基礎的な力と、分析的に考えるための基礎的な力を養うと同時に、自ら課題を見つけ、解決するために計画を立てる能力を培う。

使用教材	新しい科学3（東京書籍）、よくわかる理科の学習③、③学習ノート（明治図書）、マイシート理科3年（創育）、3年間の総仕上げ ファイナルステージ理科（文理）
------	--

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 化学変化とイオン 第1章 水溶液とイオン	第1章 1 水溶液と電流 2 電解質の水溶液の中で起こる変化 3 イオンと原子のなり立ち
	5 中間調査までの時数 14 第2章 酸、アルカリとイオン	第2章 1 酸性やアルカリ性の水溶液の性質 2 酸性、アルカリ性の正体 3 酸とアルカリを混ぜ合わせたときの
	6 第3章 化学変化と電池	第3章 1 電解質の水溶液の中の金属板と電流 2 金属のイオンへのなりやすさのちがいと電池のしくみ 3 ダニエル電池 4 身のまわりの電池
	7 1学期の時数 28	
二 学 期	9 運動とエネルギー 1章 物体のいろいろな運動	第1章 1 物体の運動 2 力がはたらかない物体の運動 3 運動の向きに力がはたらく物体の運動 4 物体と逆向きに力がはたらく物体の運動
	10 中間調査までの時数 16 2章 力の規則性	第2章 1 力のつりあい 2 力の合成と分解 3 慣性の法則 4 作用・反作用の法則
	11 3章 エネルギーと仕事	第3章 1 物体のもつエネルギー 2 力学的エネルギーの保存 3 仕事と力学的エネルギー 4 仕事の原理と仕事率 5 エネルギーの移り変わり 6 エネルギーの保存
	12 2学期の時数 30	
三 学 期	1 地球と私たちの未来のために 3章 自然の恵みと災害 4章 科学技術と人間 終章 持続可能な社会をつくるために 物体の運動 ・速さと速度・単位 ・等速直線運動・グラフ ・ベクトルとスカラー	第3章 1 科学技術の発展 2 エネルギー資源の利用 3 放射線の性質と利用 運動分野では、速度、加速度について学習する。物体に働く力との関係を学び、単位についても自由に変換できる力を養う。 さらに物体の運動をグラフで表現することを徹底的におこなう。V-t、S-tグラフの意味を視覚的にもとらえて運動を多角的に理解していく力を養うと同時に数学的なベクトル、スカラーの概念にも触れる。
	2 3学期の時数 20	
	3	

講 習	適時、試験対策、苦手な人のための補習を実施する。 夏季休業中、成績不振者のための授業補習を実施する。
評価方法	定期調査・課題・小テスト、提出物、実験プリントを総合的に評価する。 【知識・技能】定期試験・小テスト・ワークシート 【思考・判断・表現】定期試験・実験プリント・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】提出物・実験レポート・行動観察・小テスト

理 科

科目 : 生物地学
 学年 : 2 年
 履修 : 共 通
 単位数 : 2
 週当り時数 :

学習目標

自然の事物・現象に進んでかかわり、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力の基礎と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。

使用教材	新しい科学2 (東京書籍) 最新理科便覧 (浜島書店) 系統的に学ぶ中学地学 (文理) マイシート理科2年 (創育) よくわかる理科の学習②学習ノート付 (明治図書) キホンの夏 (夏の補充セミナー) 理科2年 (新学社)
------	---

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4	【单元2】 動物の生活と生物の変遷 第1章 生物と細胞
	5	第1章 生物と細胞 1 細胞のつくり 2 単細胞生物と多細胞生物 第2章 動物のからだのつくりとはたらき 1 消化と吸収 2 呼吸のはたらき 3 血液のはたらき 4 排出のしくみ
	6	中間考査までの時数 14 第2章 動物のからだのつくりとはたらき
	7	1学期の時数 28
二 学 期	9	第2章 動物のからだのつくりとはたらき 5 刺激と反応 6 神経のはたらき 7 骨と筋肉のはたらき
	10	第3章 生物の変遷と進化 1 セキツイ動物の出現と進化 2 さまざまな進化の証拠
	11	【单元3】 天気とその変化 第1章 気象観測と雲のでき方 1 気象の観測 2 水蒸気の変化 3 雲のでき方
	12	2学期の時数 30
三 学 期	1	第1章 気象観測と雲のでき方 4 水の循環 5 気圧と風 第2章 前線とそのまわりの天気の変化 1 気団と前線 2 前線の通過と天気の変化
	2	第3章 大気の動きと日本の天気 1 日本の天気の特徴 2 大気の動き 3 天気の変化を予想しよう 4 気象災害への備え
	3	3学期の時数 20

講 習	
評価方法	定期考査・課題・小テスト、提出物、実験プリントを総合的に評価する。 【知識・技能】定期試験・小テスト・ワークシート 【思考・判断・表現】定期試験・実験プリント・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】提出物・実験レポート・行動観察・小テスト

音 楽

科目 : 音 楽
 学年 : 3 年
 履修 : 共 通
 単位数 : 1
 週当り時数 :

学習目標

- (1) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を高め、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を身につける。
 (2) 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫して表現する能力を高める。
 (3) 多様な音楽に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する能力を高める。

使用教材	中学の音楽 2・3下 教育芸術社 中学の器楽 教育芸術社 New Chorus Friends 教育芸術社 教師作成による資料
------	--

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 ○歌唱 花など ○鑑賞 滝廉太郎について 「ポレロ」 ○実技試験 歌唱	○歌詞の言葉の意味が音楽表現にどのように関わっているのかを、音の強弱や調性に関連づけて学ぶ。 ○「滝廉太郎」については、文明開化以降、ヨーロッパ型の音楽をいかにして日本で発展させたかを、滝廉太郎の人生と関連させて、DVDを見ながら学ぶ。「ポレロ」においては、ポレロの不思議な音楽のしくみと音楽の背景、管楽器について学ぶ。 ○モルダウでは、音楽の特徴とその背景となる文化・歴史を関連付けて鑑賞する。 ○拍の本的な知識と拍子記号の仕組みについて学ぶ。 ○音楽のあり方の一大転機となったフランス革命について学び、バロック期からロマン期への音楽の発展にリンクさせて学ぶ。
	5 中間調査までの時数 7 ○鑑賞 「モルダウ」	
	6 ○読譜 拍子と拍 ○実技試験 リコーダー器楽	
	7 1学期の時数 15 ○バレエ鑑賞「白鳥の湖」	
二 学 期	9 ○器楽 リコーダー 教科書の小品 ○鑑賞 能「敦盛」について ○読譜 リピート記号	○井やりのついたやや高度な楽曲を学習し、曲想豊かに正しい指遣いで演奏する。 ○「能」の知識や音楽的な感受を基に、その魅力を探り日本の伝統文化を尊重・継承について学ぶ。 ○ ○リピート記号をはじめダカーポやダルセーニョなど、音楽の繰返しに必要な記号について学ぶ。 ○様々なポピュラー音楽を聴いて、それぞれの良さを味わう。 ○音程の学習においては、完全コースと長短コースの違いをピアノ鍵盤を使って正しく認識する。 ○著作権について正しい理解をする。
	10 中間調査までの時数 8 ○器楽 リコーダー 「教師作曲の小品」	
	11 ○鑑賞 ポピュラー音楽 ○読譜 音程 ○実技試験 器楽 ○著作権について	
	12 2学期の時数 15 ○歌唱 合唱祭課題曲・自由曲 パート練習	
三 学 期	1 ○歌唱 合唱祭課題曲・自由曲 合唱練習 ○鑑賞「能楽」について ○指揮をしてみよう ○実技試験 歌唱	○楽曲の全体像を把握しながら、自分のパートを正しい発声・音程で歌う。また、歌詞や言葉の意味をくみ取り、言葉がもつエネルギーを音楽作りに生かし、説得力のあるバランスの取れた歌作りをする。 ○「羽衣」を例にとりながら、能の概要と演技・音楽・舞台について学ぶ。雅楽・歌舞伎・文楽のそれぞれのパトロン違いを認識しつつ、日本の伝統芸能の基本的な違いをも学ぶ ○映画における音楽の役割を意識し、その音響効果を理解しながら鑑賞する。
	2	
	3 3学期の時数 10 ○音楽映画鑑賞	

講 習	時間を設けての講習は行わないが、各学期、学年末において、評定1が見込まれる生徒について、課題を提供する。
-----	--

評価方法	・授業の平常点と実技試験と定期試験を1:1:1の割合で評価する。評価は1学期からの累計で行う。「学びに向かう人間性等」は授業や定期調査、実技等に粘り強く取り組みを行おうとしていること見とれる場面で評価し、実技テスト、配付プリントの内容、提出状況などによって行う。「思考力・判断力・表現力等」は主に「表現」や「鑑賞」における表現しようとしていること、工夫していること、感受している内容などを総合的に判断する。「知識・理解」は主に授業のワークシート、実技技能の技術的なことに関すること、および読譜スキル、定期試験の鑑賞分野で評価する。
------	---

美術

科目 : 美術

学年 : 3 年

履修 : 共通

単位数 : 1
週当り時数 :

学習目標

- (1) 主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高める
 (2) 対象を深く見つめる力、感性や想像力を一層深め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し創造的に表現する能力を伸ばす。
 (3) 自然や美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心をもち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高める。

使用教材	美術3 開隆堂 美術資料 秀学社
------	---------------------

月	学習単元	学習事項等
一学期	4 ◎木彫「時計」(工芸・デザイン・鑑賞) ・彫りの基本	①素材について興味を示し、木彫技巧を理解して、表現方法を工夫しながら製作を進める。 ②資料を集め、浮き彫りや透かし彫りに適した図案を考えて、立体的に掘り進める。
	5 中間調査までの時数 7 ・浮き彫り(かまぼこ彫り)	
	6	
	7 1学期の時数 15	
二学期	9 ◎日本美術史(絵画・鑑賞) ・京都、奈良の文化財	① 修学旅行事前学習として京都、奈良の文化財の学習をし、イラストに表現する。 ② 歴史遺産に興味を持ち、コピーや転写の技術を用いて、イラストを完成させる。 ③ 浮き彫りやかまぼこ彫り、素地仕上げの技法を正確に使う。 ④ 作品を鑑賞しあい、表現の美しさを感じ取り、作品に生かす。
	10 中間調査までの時数 8 ・浮き彫り(かまぼこ彫り)	
	11	
	12 2学期の時数 15	
三学期	1 ・素地仕上げ (着色・ワックス)	① レタリングについて理解する。表現方法に興味を持ち、意欲的に作業を進める。 ② 課題にあった表現を選択し、構想を練る。 ③ レタリングの基本的な表現方法を理解し正確に表現する。
	2	
	3 ◎レタリング(デザイン・鑑賞) ・明朝体の基本「永」・明朝体「氏名を描く」	
3学期の時数 10		

講習	
評価方法	テスト、美術館レポート、作品、授業の様子、プリント等 実技作品評価は、学期ごとの定期調査での絵画表現(30%)と、授業での課題作品(70%)とする。 観点別の割合は、技能(30%)、表現(40%)、主体的に学習に取り組む態度(30%)とする。

保健体育

科目 : 保健体育

学年 : 3 年

履修 : 共通

単位数 : 3
週当たり時数

学習目標

○各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
○運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
○生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

使用教材	ステップアップ中学体育 (大修館書店) 新版 中学校保健体育 (大日本図書)
------	---

月	学習単元	学習事項等
一学期	4 球技「ネット型」 ・テニス	<p>【球技：テニス】 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。課題を発見し、他者と共有し、フェアなプレイや作戦の話し合いやお互いのプレイを大切にしようとして互いに助け合い、教え合おうとすることができる。</p> <p>【陸上競技：短距離走】 中間走へのつなぎを滑らかにして速く走る力を高め、課題を発見し、自他の課題の解決に向けて工夫し、解決に向けて運動の取り組み方を工夫し、勝敗を受け止め、ルールやマナーを大切に自他の課題や挑戦を大切にすることができるようにする。</p> <p>【体づくり運動】 心と体は互いに影響し変化することに気付き、仲間と自主的に交流し、ねらいに応じた運動の計画を立ててを行い、自他の課題を発見し、考えを共有し、教え合いながら話し合いやお互いの動きを大切にしようとするようにすることができる。</p> <p>【保健】 感染症の原因、感染症の予防、性感染症とその予防、エイズとその予防について、理解することができるようにする。課題を発見し、解決に向けて思考・判断し表現することができる。</p> <p>【体育理論】 スポーツは、文化的な生活を営みよりよく生きるために重要であることを理解し、課題を発見し、解決に向けて思考・判断し、表現することができるようにする。</p>
	5 陸上競技 ・短距離走	
	中間考査までの時数 21	
	6 体づくり運動 保健 体育理論 水泳	
7	1 学期の時数 42	
二学期	9 水泳	<p>【水泳】 背泳ぎ・バタフライでは手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐ子よができるようにする。課題を発見し、他者と考えを共有し、勝敗を受け止めルールやマナーを大切に、事故防止に関する心得を順守することができるようにする。</p> <p>【球技：ハンドボール】 安定したボール操作と空間を作り出す動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができるようにする。かだいを発見し、他者と考えを共有し、フェアなプレイや違いに応じたプレイなどを大切に、作戦などの話し合いに貢献し、教え合おうとすることができる。</p> <p>【ダンス】 リズムの特徴をとらえ、変化とまとまりを付けて、リズムに乗って全身で踊ることができるようにする。表したいテーマにふさわしいイメージを捉え、緩急のある動きや空間の使い方などで変化を付けて作品にまとめたりして踊ることができるようにする。課題を発見し、考えを共有し、話し合いに貢献し、それぞれの表現や役割を大切に、教え合うことができる。</p> <p>【武道：柔道】 相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技、連絡技を用いて、相手を崩して投げたり、抑えたりするなどの攻防をすることができる。課題を発見し、考えを共有し、相手を尊重して自己の責任を果たし、武道の伝統的な行動の仕方やそれぞれの課題や挑戦を大切にすることができるようにする。</p> <p>【保健】 環境への適応能力、快適な温度条件と明るさ、空気の汚れと換気、水の役割と飲料水の条件、生活にともなう廃棄物の処理、環境問題への取り組みについて、理解することができるようにする。課題を発見し、解決に向けて思考・判断し表現することができる。</p> <p>【体育理論】 オリンピックやパラリンピック及び国際的なスポーツ大会は、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていることを理解し、課題を発見し、考えを他者と共有し、自主的に取り組めるようにする。</p> <p>【球技：バスケットボール】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、基本的なボール操作と空間に走りこむなどの動きによってゴール前での攻防を展開することができるようにする。</p>
	10 球技「ゴール型」 ・ハンドボール	
	10 ダンス	
	中間考査までの時数 24	
	11 武道 ・柔道 保健 体育理論	
12	2 学期の時数 45	
三学期	1 球技「ゴール型」 ・バスケットボール	<p>【陸上競技：長距離走】 自己に適したペースを維持して走ることができ、課題を発見し、考えを他者と共有し、勝敗を受け止め自己の責任を果たしながら、ルールやマナーを守り、課題や挑戦を大切にできる。</p> <p>【保健】 地域での保健・医療の取り組み、医薬品の有効利用、個人の健康を守る社会の取り組みについて、理解することができるようにする。課題を発見し、解決に向けて思考・判断し表現することができる。</p> <p>【体育理論】 スポーツは民族や国、人種や性、障害の違いなどを超えて人々を結び付けていることを理解することができる。課題を発見し、考えを他者と共有し、思考・判断し自主的に取り組むことができる。</p> <p>【体づくり運動】 手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と自主的に関わりあい、運動の計画では、ねらいに応じて健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組むことができる。課題を発見し、考えを他者と共有し、互いに教え合いそれぞれの違いに応じた動きなどを大切にしようとするようにすることができる。</p>
	2 陸上競技 ・長距離走	
	2 保健 体育理論	
	3	
3 体づくり運動		
講習	水泳と持久走の補習	
評価方法	<p>運動や健康・安全についての学びに向かう力、人間性等【授業に取り組む姿勢、授業中の言動観察、学習カードの記入内容など】 運動や健康・安全についての知識及び技能【定期考査、学習カード・レポート・ノートの記入内容、スキルテスト、技能の記録など】 運動や健康・安全についての思考力、判断力、表現力等【定期考査、学習カード・レポート・ノートの記入内容、授業中の言動観察など】</p>	

技術・家庭

科目 : 技術

学年 : 3年

履修 : 共通

単位数 : 0.5
週当り時数

学習目標

- ① 電気エネルギーの利用や電気回路のはたらきについて基礎的な知識を身につける。
- ② エネルギー変換を利用した製作実習を通して創造的能力の向上や、自ら学び考えられる力をつける。
- ③ 身の回りにある機械の動きを知り、その仕組みが理解出来る。
- ④ プログラミングと計測・制御について基本的なことを学び日常生活で役に立つ技術について関心を持つ。

使用教材	技術・家庭 技術分野 (教育図書)
------	-------------------

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電気回路のはたらき ・ 回路図で表そう ・ 電気回路のはたらき ・ 電気エネルギーの供給と安全な利用・電気実習
	5	
	6	
	7	
<p style="text-align: center;">1学期の時数 7</p>		
二 学 期	9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 直流と交流 ・ 回路図 ・ 図記号を知り、その使い方を学ぶ。 ・ 発電のしくみについて理解する。
	10	
	11	
	12	
<p style="text-align: center;">2学期の時数 8</p>		
三 学 期	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンピュータの装置・機器・機能を覚える。 ・ デジタル化とはどのような処理のことなのかを知る。 ・ デジタル情報について、いろいろなデータを通して理解する。 ・ ハードウェアやソフトウェアについて、仕組みや種類を知り、これらの組み合わせでコンピュータが成り立つことを理解する。 ・ 複数のコンピュータを繋げることで、コンピュータ間での情報のやり取りがどのように行われているのかを知る。
	2	
	3	
<p style="text-align: center;">3学期の時数 5</p>		

講 習	
評価方法	授業への姿勢、取り組み、テスト(定期考査など)、作品・課題の提出

技術・家庭

科目 : 家庭
 学年 : 3年
 履修 : 共通
 単位数 : 0.5
 週当たり時数 :

学習目標

- ・家庭内で安全に住むための室内環境の条件が分かる。
- ・安全な住まい方の工夫ができる。
- ・消費生活について、実践的・体験的な学習を通して生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識と技術を習得する。
- ・家族、家庭と子どもの成長について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしていこうとする能力と態度を育てる。

使用教材	新しい技術・家庭(家庭分野) 東京書籍
------	---------------------

月	学習単元	学習事項等
一学期	4 日常着の製作・カーゴパンツを完成させよう 身近な消費生活と環境 ・家庭生活と消費	カーゴパンツを完成させる ・販売方法の特徴を知り、生活に必要な物資・サービスの適切な選択及び活用ができる知識を習得する。 ・支払方法の特徴を知り、適切に活用する能力と知識を習得する。 ・契約について理解する。
	5 中間調査までの時数 3 家族・家庭と子どもの成長 ・家庭と家族関係	・身近な消費生活を取り巻く問題を知り、解決方法を理解する。 ・自分や家族の消費生活に関心をもち、消費者の基本的な権利と責任について理解する。 ・消費に関する制度や法律を理解する。
	6 家族・家庭と子どもの成長 ・家庭と家族関係	・身近な消費生活を取り巻く問題を知り、解決方法を理解する。 ・自分や家族の消費生活が環境へ与える影響について考え、環境に配慮した消費生活について、工夫し、実践できるようになる。
	7 1学期の時数 7 家族・家庭と子どもの成長 ・家庭と家族関係 ・おもちゃの作製	・自分の成長や生活は、家族やそれにかかわる人々に支えられていることに気づく。 ・家庭や家族の基本的な機能と家庭生活と地域とのかかわりについて理解する。 ・これからの自分と家族とのかかわりについて関心をもち、家族関係をよりよくする方法を考える。
二学期	9 家族・家庭と子どもの成長 ・家庭と家族関係 ・おもちゃの作製	・おもちゃの製作
	10 中間調査までの時数 4 ・おもちゃを作製する	
	11	
	12 2学期の時数 7 ・おもちゃの作製する	
三学期	1 ・おもちゃの作製 ・幼児の生活と家族	・幼児の発達と生活の特徴を知り、子どもが育つ環境としての家族の役割について理解する。 ・幼児の遊びの意義について、体験を通して理解する。 ・家族または幼児の生活に関心をもち、課題をもって家族関係または幼児の生活について工夫し、計画を立てて実践できるようになる。
	2	
	3 3学期の時数 5	

講習	
評価方法	評価方法・定期調査、授業観察、提出期日、課題、実技、提出物（作品・ワークシート・宿題等）を総合的に評価

英語

学習目標

科目 : 英語
 学年 : 3 年
 履修 : 共通
 単位数 : 4
 週当り時数 :

- (1)「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の4技能をバランスよく学び、コミュニケーションの幅をさらに広げる。
 (2)高校課程初期に学ぶ文法について十分理解し、運用できる。
 (3)目標語彙数2500語。
 (4)CEFR A2 (英検準2級)
 (5)多読を取り入れ、洋書や長い英文に親しませる。
 (6)英語劇やプレゼンテーションの取組みを通じて、英語を用いた表現力を身につける。

使用教材	【共通】①New Horizon 3 (東京書籍) ② エイゴラボ3 (文理) ③LEAP (数研出版) ④Side Reader ⑤EnglishSearch II 【標準】①Writing from Within1 (Cambridge) ②Uncover 3 (Cambridge) ③Prism Reading 1(Cambridge) ④Let's Enjoy "BINGO"3 【発展】①21st Century Reading 2 (Cengage Learning)②Great Writing 2 (Cengage Learning) ③洋書
------	--

月	学習単元	学習事項等	
一学期	【共通】 1. New Horizon 3 (Unit0~Unit3) 2. LEAP (Part1) 【標準】 3. Writing from Within1 (Unit7) 4. Uncover3 【発展】 5. 21 Century Reading 2 6. Great Writing 2 7. 洋書 ※「エイゴラボ3」は授業の進度に合わせて進める。	【言語材料】 (1)受動態 (2)現在完了形(経験・完了・継続用法)・現在完了進行形 (3)It is...for/to do/ want 人 to do / let(help)+0+原形不定詞 (4)間接疑問文 (5)SV00 (疑問詞で始まる節) (6)現在・過去分詞(後置修飾) (7)接触節(名詞+SV...) (8)関係代名詞(who/that[which] (主格) /that[which] (目的格)) 【活動内容】 (1)日本の伝統文化など、これまで取り組んできたことを伝えることができる。 (2)初対面の相手に配慮しながら、歓迎する気持ちを伝えることができる。 (3)世界の絶滅危惧種について、自分たちの意見や考えを書くことができる。 (4)社会的な話題について、理由や根拠を含めて自分の意見を書くことができる。 (5)物語を読んで、場面の変化や登場人物の心情などを理解し、気持ちを込めて音読することができる。 (6)安全への意識を高め、防災の標識が何を意味しているかを英語で説明することができる。 (7)人やものについて詳しい情報を加えて英語で説明することができる。 (8)資料から読み取った情報について、事実と意見を分けて書くことができる。 (9)英語劇に向けて、英語の表現の工夫を学ぶ。 【発展】 (1)21st Century Reading 2をベースに、時事英語、時事問題を学ぶ。 (2)Great Writing 2 をベースにエッセイライティングを学ぶ。 (3)洋書をReadingのメインテキストにすえ、読解力を養う。	
	4		【共通】 1. New Horizon 3 (Unit4~Unit5) 2. LEAP (Part1) 【標準】 3. Writing from Within1 (Unit7) 4. Uncover3 【発展】 5. 21 Century Reading 2 6. Great Writing 2 7. 洋書 ※「エイゴラボ3」は授業の進度に合わせて進める。
	5		中間考査までの時数 28
	6		【共通】 1. New Horizon 3 (Unit4~Unit5) 2. LEAP (Part1) 【標準】 3. Writing from Within1 (Unit7) 4. Uncover3 【発展】 5. 21 Century Reading 2 6. Great Writing 2 7. 洋書 ※「エイゴラボ3」は授業の進度に合わせて進める。
	7		1 学期の時数 56
	7		【共通】New Horizon 3, 英語発表会でのプレゼン準備
	7		【共通】New Horizon 3, 英語発表会でのプレゼン準備
二学期	【共通】 1. New Horizon3 (Unit6) 2. LEAP (Part2) 3. 英語発表会でのプレゼン準備 【標準】 4. Prism Reading 1 (Unit 1~3) 5. Writing from Witinl (Unit 8) 【発展】 6. 21 Century Reading 2 7. Great Writing 2 8. 洋書 ※「エイゴラボ3」は授業の進度に合わせて進める。	【言語材料】 (1)仮定法 (I wish.../If I were..., / If I had...) (2)文中に入る関係代名詞節 (3)CEFRA2~B1レベルの内容を複合的に学習する。様々な分野の英文の文章を読み、高校英文法も含め、Speaking, Writing等のアウトプットの活動を通して、実践的に文法を学ぶ。 【活動内容】 (1)架空の状況について説明したり、感想や意見を述べたりすることができる。 (2)Topic Sentenceを学習し、パラグラフの主題を伝えるようにする。 (3)Supporting, Concludeing sentenceを学習し、自分の意見や、主題をサポートする文を書けるようにする。また自分の書いた文の結論をはっきりと表せるようにする。 (4)学校生活、食事、買い物などの身近な場面で使用する語句を使えるようにする。 (5)ALTによるインタビューテストを行う。 (6)今後の予定や計画を説明できるようにする。また自分の推測を述べることができるようにする。 (7)歴史的な出来事を説明できるようにする。 (8)過去の経験について語れるようにする。 (9)because, since, forを使って根拠を用いて説明する。 (10)英語発表会での発表に向けて準備をする。 【発展】 (1)21st Century Reading 2をベースに、時事英語、時事問題を学ぶ。 (2)Great Writing 2 をベースにエッセイライティングを学ぶ。 (3)洋書をReadingのメインテキストにすえ、読解力を養う。	
	9		【共通】 1. Side Reader 2. LEAP (Part2) 3. 英語発表会でのプレゼン準備 【標準】 4. Prism Reading 1 (Unit 4~6) 5. Writing from Within1 (Unit 8) 【発展】 6. 21 Century Reading 2 7. Great Writing 2 8. 洋書
	10		中間考査までの時数 32
	11		【共通】 1. Side Reader 2. LEAP (Part2) 3. 英語発表会でのプレゼン準備 【標準】 4. Prism Reading 1 (Unit 4~6) 5. Writing from Within1 (Unit 8) 【発展】 6. 21 Century Reading 2 7. Great Writing 2 8. 洋書
	12		2 学期の時数 60
12	【共通】英語発表会でのプレゼン準備		
三学期	【共通】 1. Side Reader 2. LEAP (Part2) 【標準】 3. Prism Reading 1 (Unit 7~8) 4. Great Writing 1 (Unit 8) 【発展】 5. 21 Century Reading 2 6. Great Writing 2 7. 洋書	【言語材料】 CEFRA2~B1レベルの内容を複合的に学習する。 高校英文法も含め、Speaking, Writing等のアウトプットの活動を通して、実践的に文法を学ぶ。 【活動内容】 (1)英語発表会でプレゼンを発表をする(聞く)。 (2)過去の習慣について述べるようにする。 (3)過去の出来事について述べるようにする。 (4)今まで学習したパラグラフの書き方に基づき、まとまりのあるパラグラフを書く。 【発展】 (1)21st Century Reading 2をベースに、時事英語、時事問題を学ぶ。 (2)Great Writing 2 をベースにエッセイライティングを学ぶ。 (3)洋書をReadingのメインテキストにすえ、読解力を養う。	
	1		【共通】 1. Side Reader 2. LEAP (Part2) 【標準】 3. Prism Reading 1 (Unit 7~8) 4. Great Writing 1 (Unit 8) 【発展】 5. 21 Century Reading 2 6. Great Writing 2 7. 洋書
	2		3 学期の時数 40
	3		【共通】中学英語総復習、多読
講習	(1)放課後指名制補習。(対象者は、定期考査の得点、授業・課題への取組状況等から総合的に判断し、決定する。) (2)長期休業中の講習(指名制、希望制)		
評価方法	(1)観点1「知識・技能」(定期考査、単語テスト等) (2)観点2「思考・判断・表現」(定期考査、英作文・インタビューテスト・スピーチなどの発表) (3)観点3「主体的に学習に取り組む態度」(授業態度・課題・発表への取組状況、提出物等)		

国 語

科目 : 発展国語

学年 : 3 年

履修 : 選択教科

単位数 : 1
週当り時数

学習目標

1. 評論文の読解力をつける。
2. 社会生活などの身の回りの具体的な事柄や抽象概念について、自分の考えをもち深められる思考力を身につける。
3. 目的や場面に応じて、受け手に対して強い印象を与えられる表現力を身につける。

使用教材	明説現代文読本 スタンダードレベル [評論・小説]編 (尚文出版)
------	-----------------------------------

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 ガイダンス 評論「キュレーションの時代」佐々木俊尚 評論「日本語はなぜ美しいのか」黒川伊保子 小説「桃子」江國香織	【評論】 ・キーワードに着目して論旨を読み取ることができる。 ・接続後に注目して、論の展開を読み取ることができる。 ・指示語の内容を説明することができる。 【思考・表現】 ・自分の考えをもち、他人との共通点や相違点を認識することができる。 ・説得力をもって自分の意見を伝えることができる。 【小説】 ・作品内の状況を読み取り、整理することができる。 ・登場人物の行動から心情を読み取り、説明することができる。
	5 中間検査までの時数 7	
	6 評論「医学は科学か」中井久夫 小説「休憩時間」井伏鱒二 評論「希望のつくり方」玄田有史	
	7 1学期の時数 14 評論読解演習	
二 学 期	9 評論「新しい様式の創造」和辻哲郎 小説「サボテン」谷村志穂 評論「愛情と孤独」亀井勝一郎	【評論】 ・抽象概念について、論の順を整理させながら内容を読み取ることができる。 【思考・表現】 ・文章に内容に即した考えをもち、他人との共通点や相違点を明らかにしながら、さらに考えを深めることができる。 ・相手が理解するように自分の考えを正確に伝えることができる。 【小説】 ・比喩や抽象的な表現から、作者が強調しようとしている内容を読み取ることができる。
	10 中間検査までの時数 8	
	11 評論「和の思想」長谷川權 評論「日本語が亡びるとき」水村美苗 小説「雁の童子」宮沢賢治	
	12 2学期の時数 15 小説読解演習	
三 学 期	1 評論「思春期ポストモダン」斎藤環 小説「貝塚」津島佑子 一年間の振り返り	【評論】 ・現代社会の様々な事象について、論の要点をとらえながら内容を読み取ることができる。 【思考・表現】 ・社会的な事象について、自らの考えをもつ。 ・説得力のある意見として組み立て、伝えることができる。 【小説】 ・登場人物の会話から、状況や心情を読み取ることができる。 ・情景描写から状況や心情を読み取ることができる。
	2	
	3 3学期の時数 10 小説読解演習	

講 習	通常の国語の授業に準ずる。
評価方法	確認テスト、ワークシートなどの提出物、授業内での活動への取り組み状況の評価を総合する。

英 語

発展英語

科目 :
 学年 : 3 年
 履修 : 選択教科
 単位数 :
 週当り時数 : 2

学習目標

- (1) 発展的な文法事項を学習し、文章を作ることができる。
- (2) 発展的な文法事項を学習し、会話することができる。
- (3) 発展的な内容の英語を聞き、内容を理解することができる。

使用教材	【共通】①Breakthrough (美誠社) ②Breakthrough The Keystone of English Grammar (美誠社) ③マーフィーのケンブリッジ英文法初級編(Cambridge) ④洋書
------	---

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 【共通】 マーフィーのケンブリッジ英文法 (初級編) Unit49, 50, 104, 105, 106, 107, 108, 109, 110, 111, 112, 113, 114, 102, 103 Breakthrough The Keystone of English Grammar Chapter2 時制 20, 21, 22	【共通】 (1)Unit49 How long does it take to +動詞の原形 (2)Unit50 Do you know where...? I don't know what...など (間接疑問文) (3)Unit104~114 前置詞 (4)Unit102 a person who ...a thing that / which... (関係代名詞) (5)the people we met / the hotel you stayed at (関係代名詞と省略) (1)Chapter2 20. 現在完了形の用法 (1) (完了) (2)Chapter2 21. 現在完了形の用法 (2) (経験) (3)Chapter2 22. 現在完了形の用法 (3) (継続)
	5 中間考査までの時数 14	
	6 【共通】 Breakthrough The Keystone of English Grammar Chapter5 不定詞 Chapter6 動名詞	【共通】 (1)Chapter5 38~41 名詞的用法 (文中での働き、形式主語・形式目的語、疑問詞+to-V) (2)Chapter5 42 形容詞的用法 (3)Chapter5 43~44 副詞的用法 (4)Chapter5 45 tell/ask + O+ to-V (5)Chapter5 46 原形不定詞 (6)Chapter5 47 不定詞の意味上の主語 (7)Chapter5 48 too...to-V / enough to-V (8)Chapter6 49~54 動名詞 (文中での働き、慣用表現、意味上の主語など)
	7 1 学期の時数 28	
二 学 期	9 【共通】 Breakthrough The Keystone of English Grammar Chapter7 分詞 Chapter8 関係詞	【共通】 (1)Chapter7 55. 名詞を修飾する分詞の用法 (2)Chapter7 56. 分詞が補語として用いられる S+V+分詞 (3)Chapter7 57. 分詞が補語として用いられる S+V+O+分詞 (4)Chapter7 58. have/get + O+過去分詞 (5)Chapter7 59. 分詞を含む慣用表現 (6)Chapter7 60. 分詞構文の基本的な形 (7)Chapter7 61. 分詞構文の表す意味 (8)Chapter8 62. 関係代名詞の主格用法 (9)Chapter8 63. 関係代名詞の目的格用法 (10)Chapter8 64. 関係代名詞の所有格用法
	10 中間考査までの時数 16	
	11 【共通】 Breakthrough The Keystone of English Grammar Chapter8 関係詞 Chapter10 仮定法	【共通】 (1)Chapter8 65. 関係代名詞と前置詞 (2)Chapter8 66. 関係代名詞whatの用法 (3)Chapter8 67. 関係代名詞whatを用いた慣用表現 (4)Chapter8 68. 関係代名詞と関係副詞 (5)Chapter8 69. 関係副詞の種類 (6)Chapter8 70. 関係詞の非制限用法 (7)Chapter10 76. 仮定法過去
	12 2 学期の時数 30	
三 学 期	1 【共通】 Breakthrough The Keystone of English Grammar Chapter10 仮定法 Chapter9 比較	(1)Chapter10 77. 仮定法過去完了 (2)Chapter10 78. 事実と異なることを願望する表現 (3)Chapter10 79. 直説法と仮定法 (4)Chapter10 80. If S' should~ / If S' were to-V~ (5)Chapter10 81. as if (though)を使った仮定法の表現 (6)Chapter10 82. if it were not for ~/ withoutなどを使った表現 (7)Chapter9 71. 原級を用いた表現 (8)Chapter9 72. 比較級を用いた表現 (9)Chapter9 73. 最上級を用いた表現 (10) Chapter9 74. 原級・比較級を用いて最上級の内容を表す表現 (11) Chapter9 75. 注意すべき比較表現
	2	
	3 3 学期の時数 20	
講 習	(1)放課後指名制補習 (対象者は、定期考査の得点、授業・課題への取組状況等から総合的に判断し、決定する) (2)長期休業中の講習 (指名制、希望制)	
評価方法	(1)観点1 「知識・技能」(定期考査、文法テスト等) (2)観点2 「思考・判断・表現」(定期考査、課題図書テスト等) (3)観点3 「主体的に学習に取り組む態度」(授業態度・課題・発表への取組状況、提出物等)	

選択教科

科目 : Social studies II

学年 : 3 年

履修 : 選択教科

単位数 : 1
週当たり時数

学習目標

- (1) 社会科に関わる様々な分野の基本的な用語について理解し、英語で自分の考えを表現できる。
 (2) 国際的な事象に関心をもち、主体的に学ぶ姿勢を身につけ、自分なりの意見をもち根拠と共に英語で表現できる。
 (3) 日本地誌や環境問題を理解し、社会的諸事象について英語での表現ができる。

使用教材	受講者の関心に応じた教材をその都度用意する。場合に応じて社会科で使用した教材を使用する。以下のシラバスは1つの例である。
------	--

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 基本的な地理用語の知識 世界地理の基礎知識	○緯線、経線など、地球を地理的にとらえるための基本的な用語について学習する。 ○大陸や気候など世界地理の基礎知識に関わる地理用語等について、英語での表現方法について学ぶ。 ○世界の主要な宗教について学ぶ。わが国での信仰が多く見られる仏教や、欧米で多くの人々の信仰の対象となっているキリスト教、歴史的にキリスト教との関連性が深いイスラム教、そして中国の儒教について取り上げる。 ○様々な社会的事象を分析するときに使われるグラフについて学ぶ。
	5 中間調査までの時数 7	
	6 世界の主要な宗教 様々なグラフの見方	
	7 1学期の時数 14	
二 学 期	9 北アメリカの地理	○北アメリカの地理全般について学ぶ。北アメリカの範囲を確認させ、そこにある国々と自然、文化などについて、基本的な知識とその英語による表現方法を学ぶ。 ○北アメリカの各国の地理的な事情について学ぶ。特にアメリカ合衆国については、英語による表現方法も含めて詳しく学ぶ。 ○ヨーロッパの地理全般について学ぶ。ヨーロッパの範囲を確認させ、そこにある国々と自然、文化などについて、基本的な知識とその英語による表現方法を学ぶ。 ○アメリカの教科書における日本紹介の部分について学ぶ。
	10 中間調査までの時数 8	
	11 ヨーロッパの地理 アメリカの教科書での日本	
	12 2学期の時数 15	
三 学 期	1 アメリカの教科書での日本 日本各地のようす 環境問題と日本	○アメリカの教科書における日本紹介の部分について学ぶ。 ○日本のいくつかの地域の地誌学習を通じて、外国にむけて日本を紹介する場合に必要な知識や技術を学ぶ。 ○世界の環境問題の特徴と日本が果たしてきた役割などを学び、英語で表現する能力を養う。
	2	
	3 3学期の時数 10	

講 習	特になし
評価方法	毎時のレポート・プレゼンテーション等により総合的に評価する。

選択教科

科目 : Math II
 学年 : 3 年
 履修 : 選択教科
 単位数 : 1
 週当り時数 :

学習目標

英語で数学を学ぶことにより、英語に慣れ、海外進学に対応できる素地を作る。
 特に海外の数学教育で重視される「公式を使い、値を求め」力の習得を目指す。

使用教材	・ MATHEMATICAL STUDIES STANDARD LEVEL (OXFORD UNIVERSITY PRESS)
------	---

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 Trigonometry (三角比) I ・ The sine, cosine and tangent ratios	<ul style="list-style-type: none"> ・ 三角比の定義と求め方を学ぶ。基本用語については、その英語表現も同時に学習する。 ・ 直角三角形の角度を、辺の長さから求められるようにする。また、角度から辺の長さを求められるようにする。 ・ さまざまな平面図形や現実場面の数学的モデルなどから直角三角形を見つけ、三角比を用いて計量することを学ぶ。 ・ 正弦定理や余弦定理を用い、辺の長さや角度を求められるようにする。 ・ 正弦を用いた三角形の面積の公式を使い、面積を求められるようにする。
	5 中間検査までの時数 7	
	6 Trigonometry (三角比) II ・ The sine and cosine rules	
	7 1 学期の時数 14	
二 学 期	9 Mathematical models I ・ Linear models	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関数の定義について学ぶ。 ・ 1次関数の基本用語について、英語表現を用い、日本語で学んだ内容を振り返る。 ・ x と y の関係を1次関数で表し、特定のxの値に対応するyの値を求められるようにする。 ・ 2乗に比例する関数の基本用語について、英語表現を用い、既習事項を振り返る。 ・ 2次関数の式とグラフの関係を、関数電卓によるグラフ表示を通して学ぶ。 ・ 2次関数の式から、軸の方程式や頂点の座標を求められるようにする。また、軸や頂点がどのように関数の性質に関わるのかを学ぶ。
	10 中間検査までの時数 8	
	11 Mathematical models II ・ Quadratic models	
	12 2 学期の時数 15	
三 学 期	1 Mathematical models III (・ Exercise)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 問題演習を通して、2学期に学んだ1次関数や2次関数の性質を振り返る。数学の授業での学習内容も、適宜英語表現を用いて確認する。
	2	
	3 3 学期の時数 10	

講 習	
評価方法	授業に参加する態度や小テスト・提出物を総合的に評価する。

選択教科

科目 : Science II

学年 : 3 年

履修 : 選択教科

単位数 : 1
週当り時数

学習目標

海外の学習書や教材を利用し、生物分野（進化）の国際的な基礎力を養い、海外の大学に進学できる英語表現を中心に基礎学力を身に付ける。

使用教材	OPENSTAX RICE UNIVERSITY Biology 2e CHAPTER 27 CHAPTER 18 新しい科学 2、3（2、3年理科教科書） 自作教材
------	--

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 The Evolutionary History of the Animal Kingdom	<ul style="list-style-type: none"> Describe the features that characterized the earliest animals and approximately when they appeared on earth Explain the significance of the Cambrian period for animal evolution and the changes in animal diversity that took place during that time Describe some of the unresolved questions surrounding the Cambrian explosion Discuss the implications of mass animal extinctions that have occurred in evolutionary history クリティカルシンキング問題 レビュー問題
	5 中間調査までの時数 7	
	6 The Evolutionary History of the Animal Kingdom	
	7 1学期の時数 14	
二 学 期	9 Animal Phylogeny	<ul style="list-style-type: none"> Interpret the metazoan phylogenetic tree Describe the types of data that scientists use to construct and revise animal phylogeny List some of the relationships within the modern phylogenetic tree that have been discovered as a result of modern molecular data. クリティカルシンキング問題 レビュー問題
	10 中間調査までの時数 8	
	11 Animal Phylogeny	
	12 2学期の時数 15	
三 学 期	1 Understanding Evolution	<ul style="list-style-type: none"> Describe how scientists developed the present-day theory of evolution Define adaptation Explain convergent and divergent evolution Describe homologous and vestigial structures Discuss misconceptions about the theory of evolution クリティカルシンキング問題 レビュー問題
	2	
	3 3学期の時数 10	

講 習	
評価方法	授業への取り組み、提出されたレポート等をもとに評価する。

第四学年

国 語

科目 : 国語総合 (現代文)

学年 : 4 年

履修 : 共 通

単位数 : 2
週当り時数 :

学習目標

国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

使用教材	精選国語総合 現代文編 改訂版 (筑摩書房) ・ 常用国語便覧 (浜島書店) ・ 上級入試漢字 (桐原書店) ・ 読解評論文キーワード改訂版 (筑摩書房) ・ 新成現代文<大学入学共通テスト対策版>
------	---

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 はじめに 境目 評論一 バラは暗闇でも赤いか？ トロンボーンを吹く女子学生 デジタル社会 小説一 羅生門	・ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取り、筆者の感性に触れ、新たなものの捉え方を知るとともに、要約する能力を習得する。 ・ 文章の論理展開を追いながら、その論旨を正確に読み取る能力を身につけ、論理的思考力を養う。
	5 中間審査までの時数 14	《評論読解の学習事項》※一年間を通して繰り返し扱う ・ 具体例と筆者の考えを区別・キーセンテンスに注目した内容読解・接続詞や指示語・二項対立や対比構造
	6 小説一 愛されすぎた白鳥 評論二 ことばとは何か 〈わたし〉のいる場所 演じられた風景 随想 小母さん ※5～6月にビブリオバトルを実施予定	《小説読解の学習事項》 ・ 場面の展開に即した心情読解・小説に使われる比喩表現や情景描写・慣用語の使い方
	1学期の時数 28	《評論 分野》 時間論・認識論・ジェンダー論・メディア論 ・ 言語論・自己論・比較文化論
	7 随想 結ばれていく時間 ※夏休みに作文課題を実施予定	
二 学 期	9 随想 瓦を解かないこと 小説二 棒 評論三 言葉と経験 魔術化する科学技術 「ものさし」の恍惚と不安	・ 作品の背景にある極限状況や、非日常的な世界を理解しながら人物の心理や情景描写を読み味わう能力を習得する。 ・ キーセンテンスに注目しながら本文を読み、筆者の主張を的確にまとめる。 ・ 詩を味読することによってことばへの感覚を鋭くし、豊かな感受性を養う。
	10 中間審査までの時数 16	《評論 分野》 言語論・科学技術論・芸術論・哲学・認識論 文化論
	11 小説二 待ち伏せ 評論四 エクソフォニー 感性の考古学 主体という物語	
	12 2学期の時数 28 詩歌 / 評論五 開かれた文化 ※冬休みにレポート課題を実施予定	
三 学 期	1 評論五 来るべき民主主義 失われた両腕 小説三 夢十夜 評論六 マルジャーナの知恵 環境と身体 名づけと所有	・ 話の展開に注意して小説を読み、登場人物の感じ方や生き方について考える。 ・ キーセンテンスに注目しながら筆者の主張を的確につかみ、その主張に対する自分の考えをまとめる。 ・ 筆者の観点や考えについて、根拠や例示を押さえながら読解を進める。
	2 3学期の時数 20	《評論 分野》 芸術論・身体論・異文化論・経済論・文明論
	3 小説三 カプリンスキー氏	※なお、授業の進行状況により、内容が前後する場合もあるので、授業時の指示を聞き、随時確認すること。

講 習	既習内容の復習、発展学習として入試問題演習など
評価方法	各学期の評定は、定期考査2回(計200点)と平常点(漢字テスト、提出物などを合計し、50点満点に換算)の合計250点満点でつける。 学年の評定は1・2学期の計500点と学年末の考査100点、平常点50点を合計し、650点満点でつける。

国 語

科目 : 国語総合 (古典)

学年 : 4 年

履修 : 共 通

単位数 : 3
週当り時数 :

学習目標

○様々な古典文学を読み解く力をつけ、その時代と人間について考察を深める。
○古典に親しむことにより、日本文化への理解を深める。

使用教材	精選国語総合 (筑摩書房) ・基礎から解釈へ新しい古典文法、演習ノート (桐原書店) ・改訂版 古文単語 330 (いいずな書店) ・新明説漢文 (尚文出版) ・新成古典 大学入学共通テスト対策版 (尚文出版)
------	---

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 <古文> 『宇治拾遺物語』・『十訓抄』・ 『伊勢物語』文法－用言 <漢文> 訓点のきまり、故事成語 文法－訓読、再読文字	<古文> 『宇治拾遺物語』－「児のそら寝」 「絵仏師良秀」 『十訓抄』－大江山 『伊勢物語』－「芥川」 「東下り」 「筒井筒」 『土佐日記』－「門出」 文法－動詞の復習、形容詞、形容動詞、助動詞
	5 中間審査までの時数 21	
	6 <古文> 『伊勢物語』・『土佐日記』 文法－用言、助動詞 <漢文> 故事成語 文法－句形	<漢文> 故事成語－『借虎威』 『推敲』 『嬰逆麟』 『朝三暮四』 『完璧』 『塞翁馬』 訓点のきまり－訓点、助字、置き字、再読文字
	7 1学期の時数 42	
二 学 期	9 <古文> 『更級日記』・『徒然草』 文法－助動詞、助詞 <漢文> 『唐詩』	<古文> 『更級日記』－「東路の道の果て」 『徒然草』－「つれづれなるままに」 「丹波に出雲といふ所あり」 「花は盛りに」 『平家物語』－「木曾の最期」 『大和物語』－「鹿の声」 文法－助動詞
	10 中間審査までの時数 24	
	11 <古文> 『平家物語』・『大和物語』 文法－音便、助動詞 <漢文> 史伝・文章 文法－句形、用字	<漢文> 『唐詩』－「絶句」 「静夜思」 「春望」 「送友人」 「春暁」 「江雪」 「涼州詩」 「八月十五日夜、禁中独直、对月憶元九」 史伝－「管鮑之交」 文章－「雑説」 「売油翁」 文法－句形、重要用字
	12 2学期の時数 45	
三 学 期	1 <古文> 『竹取物語』、演習 文法－敬語 <漢文> 思想、演習 文法－句形、用字	<古文> 『竹取物語』－「かぐや姫誕生」 「かぐや姫の嘆き」 文法－尊敬語、謙讓語、二方面への敬語 演習－ジャンル別演習課題 <漢文> 思想 (孔子・孟子) 演習－ジャンル別、句形別演習課題
	2	
	3 3学期の時数 30	

講 習	講習：夏季休業中「古文発展」「古文基礎」、冬季休業中「既習内容の復習」
評価方法	定期考査、小テスト、夏季休業明けの課題テスト、提出物の総合点で評価をする。

地 歴

科目 : 地理B

学年 : 4 年

履修 : 共 通

単位数 : 2
週当り時数 :

学習目標

地理的事象のうち自然環境（地形、気候）に関する分野の理解を深め、地理的見方・考え方の力を身につける。また、身につけた知識を活用して現代社会の諸課題を解決するための資料読解・活用能力を育成する。さらに、学習事項に関連する地誌的な学習や地球的課題についての学習も適宜行う。

使用教材	帝国書院『新詳地理B』 帝国書院『新詳高等地図』 帝国書院『新詳地理資料 COMPLETE 2021』 とうほう『ニューコンパスノート2021』
------	--

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 地図情報と地図 (現代世界の地図) (地図の種類とその利用) (地理情報の地図化)	様々な種類の地図の活用や地理情報の地図化などの学習活動を通じて現代世界の地理的事象をとらえるための技能を身につける。様々な主題図の分析を通じて、地図上での表現方法について学ぶ。地図に関する技能を使って、調べたことをまとめたり、発表したりする手法を身につける。現代世界の地理的な諸課題を自然環境の学習を通じて考察する。 世界の大地形を概観し、新期造山帯、古期造山帯、安定陸塊に分け、それぞれの地域的分布状況や全体像をつかむ。そして、プレートテクトニクス理論をもとに地形変動の様子をとらえる。 地殻変動と自然災害の関連性について学ぶ。大地形と資源との関連性について学び、世界の資源・エネルギー問題について考察する。 外的営力と内的営力との関連について学習する。
	5 中間調査までの時数 14	
	6 地理情報と地図 (地図の活用) 自然環境 (世界の地形)	
	7 1学期の時数 28	
二 学 期	9 自然環境 (世界の地形) (様々な地形環境) (気候の成り立ち)	様々な小地形が人間の生活や産業などに及ぼしている影響を学習する。河川や氷河、波などが地形に及ぼす影響について学習し、それによって形成されてきた小地形の特徴を捉える。 実際の小地形を衛星画像等を通して概観し、周辺地域での生活について考察して理解する。 気候を構成している気温などの気候要素や気候因子を広くとらえる。 ケッペンの気候区分に基づいて、様々な気候区の特徴やそこでの人々の暮らしについて学習する。 ケッペンの気候区分の理論を理解し、様々なグラフから気候区を判定する技術を学ぶ。 世界の土壌と気候との関連性について学ぶ。
	10 中間調査までの時数 16	
	11 自然環境 (世界の気候区分) (気候と植生・土壌) (変化する気候)	
	12 2学期の時数 30	
三 学 期	1 自然環境 (日本の地形・気候) (開発に伴う災害と防災) (世界・日本の環境問題)	日本の地形と気候について、世界の気候や地形における学習内容との比較を通じて理解を深める。 開発に伴う災害と、それを防ぐための取り組みについて身近な事例を活用して学ぶ。 世界や日本の抱える環境問題について、発生地域や要因、解決へ向けた取り組みについて学習する。
	2	
	3 3学期の時数 20	

講 習	定期調査の平均点の半分を目安に、成績不振者を対象に補講を行うことがある。
評価方法	地理に関する基本的な知識・技術が習得できたか、その上で地理的な見方・考え方が身に付いたかが評価の主な観点となる。調査の点数が評価の柱となるが、宿題などの提出物や普段の授業の状況も評価の対象とする。

地 歴

科目 : 世界史B

学年 : 4 年

履修 : 共 通

単位数 : 3
週当たり時数

学習目標

前期での授業を前提に3単位で先史から中世末までを学習し、6年次必修選択世界史B(近代以降)につなげる。文化の多様性・複合性を常識とする国際社会で活躍する人間にふさわしい歴史的教養を、理系・文系の別なく身につけさせる。併せて文系志望者、とりわけ世界史Bで受験する生徒には難関大を目指す受験勉強の基礎となる知識と学習法を身につけさせる。これら2つの目標の同時達成を意図している。

使用教材	教科書：『詳説世界史B改訂版』（山川出版社） 副教材：『タペストリー世界史』（帝国出版）、『ウイニングコンパス世界史の整理と演習』（とうほう）、授業用プリント
------	--

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 第1章 オリエンと地中海世界	完全に教科書に沿って進むため、教科書の目次と全く同じである(以下同様) 第1章 ①古代オリエンと世界、②ギリシア世界、③ローマ世界 第2章 ①インドの古典文明、②東南アジアの諸文明、③中国の古典文明 ----- 《授業のコンセプト①》すべてに共通 教科書・「ウイニングコンパス」の予習を前提として、教科書にして平均毎時約3ページという猛烈な高速で進む。すべての授業はパワーポイントで進め、画面を印刷したブランク埋めのパワポシートを配布する。定期考査ごとに、「ウイニングコンパス」の該当箇所をレポートノートに解答して提出する。世界史Bで受験する生徒は、「教科書を読む→ウイニングコンパスで復習する」のプロセスを章ごとに繰り返すこと。
	5 中間考査までの時数 21	
	6 第2章 アジア・アメリカの古典文明	
	7 1学期の時数 42	
二 学 期	9 第3章 内陸アジア世界・東アジア世界の形成 第4章 イスラーム世界の形成と発展	第3章 ①草原の遊牧民とオアシスの定住民、②北方民族の活動と中国の分裂、③東アジア文化圏の形成。 第4章 ①イスラーム世界の成立、②イスラーム世界の発展、③インド・東南アジア・アフリカのイスラーム化、④イスラーム文明の発展 第5章 ①西ヨーロッパ世界の成立、②西ヨーロッパ中世世界の変容、③西ヨーロッパの中世文化 ----- 《授業のコンセプト②》すべてに共通 授業の進行に合わせて、随時「ウイニングコンパス」に準拠した小テストを実施する。
	10 中間考査までの時数 24	
	11 第5章 ヨーロッパ世界の形成と発展	
	12 2学期の時数 45	
三 学 期	1 第6章 内陸アジア世界・東アジア世界の展開 第7章 アジア諸地域の繁栄	第6章 ①トルコ化とイスラーム化の進展、②東アジア諸地域の自立化、③モンゴルの大帝国、 第7章 ①東アジア世界の動向、②清代の中国と隣接諸地域、③トルコ・イラン世界の展開、④ムガル帝国の興隆と東南アジア交易の発展
	2 3学期の時数 30	
	3	

講 習	3学期終了時に予定範囲まで進まなかった場合は、希望者に対し補習を行う。
評価方法	定期考査を中心に、小テスト、提出物等をもとに総合的に判断する。

数 学

科目 : 数学 I ・ II

学年 : 4 年

履修 : 共 通

単位数 : 3
週当り時数 :

学習目標

図形と計量、三角関数について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。
座標平面上の直線や円などについて理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確に活用する能力を伸ばすとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。

使用教材	数学 I (数研出版)	4 STEP	数学 I A (数研出版)
	数学 II (数研出版)	4 STEP	数学 II B (数研出版)

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	数学 I 第 3 章 図形と計量 第 1 節 三角比 1. 三角比 2. 三角比の相互関係 3. 三角比の拡張 4. 正弦定理 中間調査までの時数 21	三角比の意味やその基本的な性質について理解し、三角比を用いた計量の考えの有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用できるようにする。 鋭角の三角比の意味と相互関係について理解する。 三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求めることができるようになる。 正弦定理や余弦定理について理解し、それらを用いて辺の長さや角の大きさを求めることができるようになる。 三角比を平面図形や空間図形に考察することを理解する。
	第 2 節 三角形への応用 5. 余弦定理 6. 正弦定理と余弦定理の応用 7. 三角形の面積 1 学期の時数 42	
	7	
二 学 期	数学 II 第 4 章 三角関数 第 1 節 三角関数 1. 一般角と弧度法 2. 三角関数 3. 三角関数の性質 4. 三角関数のグラフ 5. 三角関数の応用 中間調査までの時数 24	角の概念を一般角まで拡張して、三角関数及び三角関数の加法定理について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。 角の概念を一般角まで拡張する意義や弧度法による角の表し方について理解する。 三角関数とそのグラフの特徴について理解する。 三角関数について、相互関係などの基本的な性質を理解する。 三角関数の加法定理やそれから導かれた2倍角の公式、三角関数の合成などを用いて、方程式、不等式や関数の処理を学び、事象の考察に活用できるようにする。 既習事項の図形の性質や関係を座標平面上で扱うことを通して、数学的に表現し調べる解析幾何学における方法を理解させ、その有用性を認識し、様々な事象の考察に活用できる力を養う。
	第 2 節 加法定理 6. 加法定理 7. 加法定理の応用 8. 三角関数の合成 第 3 章 図形と方程式 第 1 節 点と直線 1. 直線上の点 2 学期の時数 45	
	12	
三 学 期	数学 II 第 3 章 図形と方程式 第 1 節 3. 直線の方程式 4. 2直線の関係 第 2 節 5. 円の方程式 6. 円と直線 7. 2つの円 3 学期の時数 30	ある点から一定の距離にある点の集合が円であることから、その方程式や接線の性質を考察する。点と直線の距離と円の半径、直線の方程式と円の方程式の関係、どちらからも円と直線の関係に迫ることができることを理解し活用させる。 方程式を満たす点の集合が座標平面上の軌跡を表すこと、不等式を満たす点の集合が座標平面上の領域を表すことを理解させる。
	3	

講 習	定期調査前、長期休業中に実施する。
評価方法	定期調査ならびに定期調査相当の規模の試験と、小テストや自宅学習課題等の平常点を総合して評価する。

数 学

科目 : 数学 A

学年 : 4 年

履修 : 共 通

単位数 : 2
週当たり時数

学習目標

確率の計算、整数の性質について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。
高次方程式、指数関数について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確に活用する能力を伸ばすとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。

使用教材	数学 I (数研出版)・数学 A (数研出版) 数学 II (数研出版)	4 STEP 数学 I A (数研出版) 4 STEP 数学 II B (数研出版)
------	---	---

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 数学 A 第 3 章 整数の性質	整数の性質についての理解を深め、それを事象の考察に活用できるようにする。 互除法の原理を理解し、互除法を用いて2数の最大公約数を求めることができる。 1次不定方程式の特殊解を求め、それによりすべての整数解を求めることができる。 既習事項の展開と因数分解の確認をし、分数の場合と比べながら、分数式の四則計算を学習する。繰り返し練習することにより、式に関する基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。
	5 中間調査までの時数 14	
	6 数学 II 第 1 章 式と証明 1. 3次式の展開と因数分解 2. 二項定理 3. 整式の割り算 4. 分数式とその計算	
	7 1 学期の時数 28 5. 恒等式	
二 学 期	9 6. 等式の証明 7. 不等式の証明	等式や不等式の基本性質、相加・相乗平均などを用いて、等式や不等式が成り立つことを証明することで、論理的思考や表現力を養う。 数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則計算をすることができるようになる。また、二次方程式の解の種類や判別式と係数の関係について理解する。 方程式についての理解を深め、数の範囲を複素数まで拡張して二次方程式を解くことができるようになる。 剰余の定理、因数定理について理解し、高次方程式の解を因数定理などを用いて求めることができるようになる。 統計の基本的な考えを理解するとともに、それを用いてデータを整理・分析し傾向を把握できりょうにする。 四分位偏差、分散及び標準偏差、散布図や相関係数の意味を理解し、それらを用いて二つのデータの相関を把握し説明することができるようになる。
	10 第 2 章 複素数と方程式 1. 複素数 2. 二次方程式の解と判別式 3. 解と係数の関係 中間調査までの時数 16	
	11 4. 剰余の定理と因数定理 5. 高次方程式 数学 I 第 4 章 データの分析	
	12 2 学期の時数 30	
三 学 期	1 第 5 章 指数関数と対数関数 1. 指数の拡張 2. 指数関数 3. 対数とその性質	指数関数について理解し、それを事象の考察に活用できるようにする。 指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解する。 指数関数とそのグラフの特徴について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。 対数の意味と基本的な性質について理解し、簡単な対数の計算をする。 対数関数とそのグラフの特徴について理解し、それらを事象の考察に活用する。
	2	
	3 3 学期の時数 20 総復習	

講 習	定期調査前、長期休業中に実施する。
評価方法	定期調査ならびに定期調査相当の規模の試験と、小テストや自宅学習課題等の平常点を総合して評価する。

理 科

科目 : 化学基礎

学年 : 4 年

履修 : 共 通

単位数 : 2
週当り時数

学習目標

化学の学習を通し科学的なものの見方や考え方を身に付ける。実験、観察を通して科学的に探究する能力を身に付ける。化学を理解することによって自然や地球環境を尊重する意識と態度を身に付ける。また演習問題を多数やることにより理解を深めていく。

使用教材	化学基礎 (実教出版) セミナー化学・化学基礎 (第一学習社)	化学図説 サイエンスビュー (実教出版) レポートノート化学 (浜島書店)
------	------------------------------------	--

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	第1章 物質の構成 1節 物質の探求 ・物質の種類と性質 ・物質と元素 ・物質の三態 2節 物質の構成粒子 ・原子の構造	第1章 物質の構成 1節 物質の探求 1 物質の種類 2 物質と元素 3 物質の三態 2節 分子と共有結合 1 原子構造 周期表
	中間調査までの時数 14	第2章 物質と化学結合 1節 イオンとイオン結晶 2節 分子と共有結合 3節 金属と金属結合
	第2章 物質と化学結合 1節 イオンとイオン結合 2節 分子と共有結合 ・共有結合でできた物質 3節 金属と金属結合	1学期の時数 28
	7	
二 学 期	第3章 物質の変化 1節 物質と化学反応式 ・原子量・分子量と式量 ・物質質量 ・溶液の濃度	第3章 物質の変化 1節 物質と化学反応式 1 原子量・分子量・と式量 2 溶液の濃度 3 化学反応式と量的な関係 2節 酸と塩基 1 酸と塩基 2 水素イオン濃度とpH 金属と金属結合
	中間調査までの時数 16	
	第3章 物質の変化 1節 化学反応式と量的関係 2節 酸と塩基 ・酸と塩基 ・水素イオン濃度とpH	2学期の時数 30
	12	
三 学 期	第3章 物質の変化 2節 酸と塩基 ・中和反応 ・塩 ・中和滴定と滴定曲線 3節 酸化還元反応 ・酸化と還元 ・酸化剤・還元剤 ・酸化還元のおこりやすさ	第3章 物質の変化 2節 酸と塩基 ・中和反応 ・塩 ・中和反応と滴定曲線 3節 酸化還元反応 ・酸化と還元 ・酸化剤・還元剤 ・酸化還元のおこりやすさ ・身の周りの酸化還元反応
	3学期の時数 20	
	3	

講 習	夏期講習
-----	------

評価方法	定期調査の得点、実験レポート、ノートやワークシート、小テスト等で評価する。
------	---------------------------------------

理 科

科目 : 生物基礎

学年 : 4 年

履修 : 共 通

単位数 : 3
週当り時数 :

学習目標

日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。

使用教材	改訂版生物基礎（数研出版） ニューステージ新生物図表（浜島書店） リードα生物基礎＋生物（数研出版）
------	---

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 第1章 生物の特徴	第1章 生物の特徴 第1節 生物の多様性と共通性 第2節 エネルギーと代謝 第3節 光合成と呼吸
	5 中間考査までの時数 21 第2章 遺伝子とそのはたらき	第2章 遺伝子とそのはたらき 第1節 遺伝情報とDNA 第2節 遺伝情報の発現
	6	
	7 1学期の時数 42	
二 学 期	9 第2章 遺伝子とそのはたらき 第3章 生物の体内環境 第1節 体内環境としての体液 第2節 腎臓と肝臓による調節	第2章 遺伝子とそのはたらき 第3節 遺伝情報の分配 第3章 生物の体内環境 第1節 体内環境としての体液 第2節 腎臓と肝臓による調節 第3節 神経とホルモンによる調節 第4節 免疫
	10 中間考査までの時数 24 第3章 生物の体内環境 第3節 神経とホルモンによる調節 第4節 免疫	第4章 植生の多様性と分布 第1節 植生とその成り立ち 第2節 植生の遷移
	11 第4章 植生の多様性と分布 第1節 植生とその成り立ち 第2節 植生の遷移	
	12 2学期の時数 45	
三 学 期	1 第4章 植生の多様性と分布 第3節 気候とバイオーム 第5章 生態系とその保全	第4章 植生の多様性と分布 第3節 気候とバイオーム 第5章 生態系とその保全 第1節 生態系とその成り立ち 第2節 物質循環とエネルギーの流れ 第3節 生態系のバランスと保全
	2	
	3 3学期の時数 30	

講 習	特に実施しない。
評価方法	定期考査，課題テスト，小テスト，実験レポート，長期休業中の課題、その他提出物等を総合して評価する。定期考査は、30点以上を最低限の目標とする。

保健体育

科目 : 体育
 学年 : 4 年
 履修 : 共通
 単位数 : 2
 週当り時数 :

学習目標

- 運動の合理的・計画的な実践を通して知識を深める技能を高めることで、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにする。
- 自己の状況に応じて体力の向上を図ることができる。
- 公正・協力・責任・参画に意欲を持って取り組む。
- 健康・安全を確保して生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を身につける。

使用教材	ステップアップ高校スポーツ (大修館書店) 現代保健体育 改訂版 (大修館書店)
------	---

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 【体育理論】 運動やスポーツの必要性和楽しさ 【体づくり運動】 【球技：ソフトボール】 【器械運動：マット運動 ・跳び箱運動】	【体育理論】1 人間にとって「動く」とは何か 2 スポーツの始まりと変遷 【体づくり運動】1 体ほぐしの運動 2 体の動きを高める運動
	5 中間検査までの時数 14	【ソフトボール】1 攻撃：基本的なバット操作・走塁、 2 守備：ボール操作と定位置での守備
	6 【球技：ソフトボール】 【体づくり運動】 【水泳】	【器械運動：マット運動】1 回転系：接点技・ほん転技 2 巧技系・平均立ち技 【器械運動：跳び箱運動】1 切り返し系：切り返し跳び 2 回転系：回転跳び
	7 1学期の時数 28 【水泳】	【体づくり運動】1 実生活に生かす運動の計画と実践 (体力テスト実施に向けて)
二 学 期	9 【水泳】 【球技：ソフトボール】 【器械運動：マット運動 ・跳び箱運動】	【水泳】1 クロール 2 平泳ぎ 3 背泳ぎ 4 バタフライ 5 スタート・ターン
	10 【体育理論】 運動やスポーツへの多様なかわり方 中間検査までの時数 16	【体育理論】3 文化としてのスポーツ 4 オリンピックと国際理解
	11 【武道：柔道】 【球技：サッカー】	【柔道】1 基本動作 2 受け身 3 投げ技 4 固め技 5 投げたり抑えたりするなどの簡易な攻防 【サッカー】1 ボール操作 2 空間に走り込むなどの動き
	12 2学期の時数 30 【武道：柔道】 【球技：サッカー】 【ダンス】	【ダンス】1 リズムの特徴を捉える 2 変化のある動きを組み合わせる 3 リズムに乗って全身で踊る
三 学 期	1 【球技：サッカー】 【ダンス】 【体づくり運動】	【体づくり運動】1 動きを持続する能力を高めるための運動 2 実生活に生かす運動の計画
	2 【体育理論】 運動やスポーツの多様な楽しみ方	【体育理論】5 スポーツと経済 6 ドーピングとスポーツ理論
	3 3学期の時数 20	

講 習	水泳と長距離走の補習
評価方法	運動や健康・安全への関心及び意欲、態度【授業態度(忘れ物、服装、取り組む姿勢)、出欠状況、提出物 等】 運動や健康・安全についての思考・判断(グループ学習、ノートやワークシートの内容、授業中の言動観察等) 運動の技能(各単元におけるスキルテスト、技能の記録等) 運動や健康についての知識・理解【レポート内容など】

保健体育

科目 : 保健
 学年 : 4 年
 履修 : 共通
 単位数 : 1
 週当り時数 :

学習目標

個人及び社会生活における健康・安全について理解を深める。
 生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を高める。
 日常生活に生かす見方や考え方を身につける。

使用教材	現代保健体育 改訂版 (大修館書店) 図説現代保健 改訂版 (大修館書店)
------	--

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 【第1単元】 ・私たちの健康のすがた ・健康のとらえ方 ・健康と意思決定・行動選択 ・健康に関する環境づくり ・生活習慣病とその予防	○健康の考え方 ・健康の考え方は国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきていること。 ・健康は様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること。 ○健康の保持増進と疾病の予防 ・健康の保持増進には健康に関する個人の適切な意思決定や行動選択及び、環境づくりが関わること。 ・健康の保持増進と生活習慣病の予防は、食事、運動、休養及び睡眠の調和の取れた生活を実践する必要があること。 ・喫煙と飲酒は生活習慣病の要因となること。 ・薬物乱用は心身の健康や社会に深刻な影響を与えるから行ってはいけないこと。それらの対策には個人や社会環境への対策が必要であること。
	5 中間調査までの時数 7	
	6 ・食事と健康 ・運動と健康 ・休養・睡眠と健康 ・喫煙と健康 ・飲酒と健康	
	7 1学期の時数 14 ・薬物乱用と健康	
二 学 期	9 ・現代の感染症 ・感染症の予防 ・性感染症・エイズとその予防 ・欲求と適応規制 ・心身の相関とストレス ・ストレスへの対処	○健康の保持増進と疾病の予防 ・感染症の発生や流行には時代や地域によって違いが見られること。その予防には個人及び社会的な対策を適切に行う必要があること。 ○精神の健康 ・人間の欲求と適応規制には様々な種類があること。 ・精神と身体には密接な関連があること。また精神の健康を保持増進するには、欲求やストレスに適切に対処するとともに、自己実現を図るよう努力していくことが重要であること。 ○交通安全 ・交通事故を防止するには車両の特性の理解、安全な歩行など適切な行動、自他の生命を尊重する態度、交通環境整備などが関わること。 ・交通事故には責任や補償問題が生じること。
	10 中間調査までの時数 8	
	11 ・心の健康と自己実現 ・交通事故の現状と要因 ・交通社会における運転者の資質と責任 ・安全な交通社会づくり	
	12 2学期の時数 15	
三 学 期	1 ・応急手当の意義とその基本 ・心肺蘇生法 ・日常的な応急手当	○応急処置 ・適切な応急手当は障害や疾病の悪化を軽減できること。 ・応急手当には正しい手順方法があること。 ・また心肺蘇生等の応急手当は障害や疾病によって身体が時間の経過とともに損なわれていく場合があることから、速やかに行う必要があること。 以上のことを理解できるようにする
	2	
	3 3学期の時数 10	

講 習	
評価方法	関心・意欲・態度について、提出物・出席状況・授業の取り組みを総合的に評価 思考・判断について、ノート・レポートで思考力を評価 知識・理解について、ワークシートと定期考査で評価 以上の内容を総合的に評価する

芸 術

科目 : 音楽Ⅰ

学年 : 4 年

履修 : 必修選択

単位数 : 2
週当り時数 :

学習目標

- (1) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を養い、音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を身につける。
- (2) 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身に付け、創意工夫して表現する能力を身につける。
- (3) 多様な音楽のよさや美しさを味わい、幅広く主体的に鑑賞する能力を身につける。

使用教材	MOUSA1 教育芸術社 教師作成による資料
------	---------------------------

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 ○歌唱 少年時代、 世界に一つだけの花 0 sole mio など ○鑑賞 西洋音楽史 中世の音楽 ルネサンスの音楽	○個々オリジナルの発声法とする0 sole mioにおいては、カンツォーネについて学習する。 ○読譜においては、度数の判別と長短・完全の両コースについて学ぶ。 ○リコーダーによるアンサンブルを行う。 ○音楽史を通史で学ぶ。
	5 ○読譜 音程 ○筆記試験 中間考查までの時数 14	
	6 ○鑑賞 ○読譜 音程 ○筆記試験 ○実技試験 歌唱 0 sole mio 器楽 リコーダー	
	7 1学期の時数 28	
	○音楽映画鑑賞「アマデウス」	
二 学 期	9 ○歌唱 Caro mio ben Ich liebe dichなど ○器楽 ギター演奏 ○鑑賞 バロック音楽 古典派の音楽	○クラシックの歌曲を言語で歌う。歌詞の意味を考え、曲想豊かに表現する。 ○ギター演奏においては、クラシックギター演奏を行い、フォークギターとの構え方・奏法の違いを認識しつつ、正しい演奏方法を身につける。 ○音楽史を通史で学ぶ。 ○合唱祭発表に向けて、4学年にふさわしい選曲をし、楽曲のイメージをとらえ、正しい音程で各パートを歌う。
	10 ○読譜 調性について ○筆記試験 中間考查までの時数 16	
	11 ○器楽 ギター演奏 ○鑑賞 ロマン派の音楽 国民楽派の音楽 世界の諸民族の音楽	
	12 ○歌唱 合唱祭発表に向けて ○筆記試験 ○実技試験 器楽 2学期の時数 30	
	○歌唱 合唱祭発表曲 パート練習	
三 学 期	1 ○読譜 音の物理学 ○歌唱 合唱祭発表曲 合唱練習	○自身の役割を認識し、他パートとの関わりを感じながら表現豊かに合唱する。 ○映画作品に対する音楽の役割の重要性を意識しながら鑑賞する。
	2 ○鑑賞 現代音楽について 映画音楽について ○筆記試験	
	3 3学期の時数 20 ○音楽映画鑑賞	

講 習	時間を設けての講習は行わないが、各学期において評定1を取った生徒に対し、課題を与える。
-----	---

評価方法	実技においては、音程、発声など技能を技能として、強弱、テンポなどの表現法を表現として、総合的に評価する。知識面は筆記試験において評価する。 実技と筆記の配点バランスは2対1とする。 評価は1学期からの累計で評価する。
------	--

芸 術

科目 : 美術 I
 学年 : 4 年
 履修 : 必修選択
 単位数 : 2
 週当り時数 :

学習目標

- ・美術の楽しさを感じ取り、創造力を伸ばす。
- ・美術の基礎、基本をしっかりと押さえ、表現力および鑑賞力を養う。
- ・表現と鑑賞を通して、美術を愛好する心情を育てる。

使用教材	高校美術 1 光村図書 美術資料 秀学社
------	-------------------------

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 ・鉛筆による「目・鼻・口」の細密描写	<ul style="list-style-type: none"> ・鏡でパーツを見ながら観察し、陰影や細部の形、光を正しく描写する。 ・文化祭ポスターの制作 ・文化祭ポスターの制作を通し、デザインの社会的役割を学ぶ。なお完成した作品は廊下に展示し、全校生徒に投票してもらい、文化祭ポスター及びパンフレット表紙に採用する作品を選出する。
	5 ・文化祭ポスターの制作 中間調査までの時数 14	
	6 ・文化祭ポスターの制作	
	7 1学期の時数 28	
	7	
二 学 期	9 ・選択課題 ① 石彫による抽象表現を用いた、生物彫刻の制作	<ul style="list-style-type: none"> ・大理彫刻を素材とし、生物の形態の特徴を活かしながら、抽象彫刻を制作する。 ・材料の特性を生かし、モチーフの生物の特徴を捉えて制作することで、観察力や創造性を高める。 ・アイデアスケッチをしっかりと行い、立体的視点を把握する。 ・(F 8号キャンバス) ・抽象的な表現と、透視図法等の様々な技法に関心を持ち、主体的に表現する。
	10 中間調査までの時数 16	
	11 ② 油絵やアクリル絵具による空想画	
	12 2学期の時数 30	
	12	
三 学 期	1 ③ 木彫による木箱の制作	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が表現したいイメージをはっきりと持ち、形や色の構成などを工夫し、自分らしく心豊かな表現の構想を練る。 ・自分の表現意図に適した材料や用具の使い方を工夫し、見通しを持って表現する。 ・木の素材を理解し、浮き彫り、透かし彫り、素地仕上げの技法を用いて、表現方法の工夫をする。
	2	
	3 3学期の時数 20	
	3	

講 習	
評価方法	(1) 出席状況 (2) アイディアスケッチや提出作品 (3) 授業態度、制作に取り組む姿勢など ※上記(1)～(3)について、総合的に判断して評価する。

芸 術

科目 : 書道 I
 学年 : 4 年
 履修 : 必修選択
 単位数 : 2
 週当り時数 :

学習目標

・小中学校国語科書写の学習を基礎として、さまざまな書風にふれることによって、鑑賞と表現の能力を高めていく。
 ・書に親しむ活動を通して、美しさや表現方法を学んでいく。
 ・自己を主体的に表現するための書道の基礎的な能力を伸ばしていく。

使用教材	書道 I (教育出版)
------	-------------

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 ・楷書	唐の四大家（虞世南、欧陽詢、褚遂良、顔真卿） ・各古典の線質や字形のとり方、用筆、運筆などの表現方法を身につける。 ・その特徴を的確に理解させる。 ・唐代の背景と人物像を側面から理解させる。
	5 中間調査までの時数 14 ・楷書	
	6	
	7 1学期の時数 28	
二 学 期	9 ・行書	行書古典の鑑賞と臨書 蘭亭序（王羲之）全臨 ・行書の基本を理解し、字形のとり方、省略法を身につける。 ・楷書との違いを理解する。 ・表紙・製本・綴じ方を学ぶ。
	10 中間調査までの時数 15 ・行書	
	11	
	12 2学期の時数 30	
三 学 期	1 ・仮名 ・漢字仮名交じりの書	仮名の用筆、変体仮名、古筆形連と意連（蓬来切 高野切第三種 寸松庵色紙） ・仮名の基本用筆を身につける。 ・仮名の書のリズムを理解し連綿に関心を持たせ、仮名の書の流動美を理解させる。 ・身近な題材を表現し、芸術的な表現を高める。 ・変体仮名を覚え、古筆が読めるようにする。
	2	
	3 3学期の時数 20	

講 習	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・各時間半紙作品を清書提出し、10段階評価をする。 ・各古筆作品を半切に清書提出し、100点評価をする。学期に2回行う。 ・半紙半切の点数を合計し、総合的に評価する。

外国語

科目 : コミュニケーション英語 I
 学年 : 4 年
 履修 : 共通
 単位数 : 3
 週当り時数 :

学習目標

(1)英語学習の4技能(読む・書く・話す・聞く)をバランスよく学ぶことによって、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
 (2)目標習得語彙数:3000語
 (3)検定目標:CEFR B1レベル、英検2級
 (4)大学共通テストレベルの問題を読み、その内容を理解し、70~80%以上正解できる。

使用教材	FLEX English Communication I (増進堂)、FLEX English Communication I ワークブック、LEAP(数研出版)、Prism Reading 2 (Cambridge 出版)
------	--

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 【FLEX】(週2時間) Lesson 1 Behind Kumamon Lesson 2 Hacking Your Brain 【Prism Reading 2】(週1時間) Unit 1 【LEAP】Part 1+2	【FLEX】 Lesson 1: 地域ごとのキャラクターの意義についてクマモンを通して学ぶ。 Lesson 2: 日々の生活や目標を通して脳の働きがどう影響するかを学ぶ。 Lesson 3: 環境にやさしいエネルギーに関する問題点やSSPS計画とは、どのようなものかを読み取る。その計画にはなぜ資金が莫大にかかるのか、また、なぜ日本は石炭や石油の主な輸入国となっているのかを考える。 Lesson 4: 発展途上国の教育について理解を深め、マララさんのスピーチからメッセージを読み取る。世界平和には何が必要か、我々に何ができるかを議論する。 Lesson 5: 富士山が世界遺産に登録された理由を読み取る。昔の人の富士山に対する考えを読み取る。日本の世界遺産について紹介したり、海外で紹介できる日本の象徴となるものなどを発表する。
	5 中間調査までの時数 21	
	6 【FLEX】(週2時間) Lesson 3 It's Always Sunny in Space! Lesson 4 Malala: Fighting for Women's Rights 【Prism Reading 2】(週1時間) Unit 2,3 【LEAP】Part 1+2	【Prism Reading】 洋書の教材を速読し、様々な活動を通して4C(Critical Thinking, Collaboration, Communication, Creativity)の能力を高める。
	7 1学期の時数 42 Lesson 5 Mount Fuji	【LEAP】 週1回単語テストを実施し、継続的な単語学習に取り組む。
二 学 期	9 【FLEX】(週2時間) Lesson 6 Donald Keene and His Love of Japan Lesson 7 Virtual Water 【Prism Reading 2】(週1時間) Unit 4,5 【LEAP】Part 2	【FLEX】 Lesson 6: ドナルド・キーン氏が日本の文学を世界に知らしめた理由や、なぜ興味を持ったのかを読み取る。 Lesson 7: virtual waterとは何かを読み取る。日本の食品ロスの現状を知り、我々のすべきことは何か、何ができるのかを考え、意見を述べさせる。 Lesson 8: ロボットと人間社会の関係性はどのようなものかを読み取る。ロボットは我々の将来の生活にどう影響を与えるか考える。
	10 中間調査までの時数 24	
	11 【FLEX】(週1時間) Lesson 8 Wearable Robots May Change our Life 【Prism Reading 2】(週1時間) Unit 6 【LEAP】Part 3 【オンライン英会話】(週1時間)	【Prism Reading】 洋書の教材を速読し、様々な活動を通して4C(Critical Thinking, Collaboration, Communication, Creativity)の能力を高める。 【LEAP】 週1回単語テストを実施し、継続的な単語学習に取り組む。 【オンライン英会話】 オンライン上で海外の人とのコミュニケーションをとることで、実際に会話で使われる英語を使う機会を持ち、スピーキング力やリスニング力の向上を図る。
	12 2学期のまとめ オンライン英会話	
三 学 期	1 【FLEX】(週2時間) Lesson 9 Biomimicry - Inspired by Nature Lesson 10 "His Holiness the 14th Dalai Lama" 【Prism Reading 2】(週1時間) Unit 7 *オンライン英会話終了後 【オンライン英会話】(週1時間)	【FLEX】 Lesson 9: biomimicryという言葉の意味を理解し、どのような場面で使われているかを読み取る。また、どのような問題を解決できるかを読み取る。 Lesson 10: ダライ・ラマ氏が行ってきたことを学び、争いの最善の解決策は何なのかを読み取る。また、平和な世界を作るためにすべきことを話し合う。
	2 【LEAP】Part 3	【Prism Reading】 洋書の教材を速読し、様々な活動を通して4C(Critical Thinking, Collaboration, Communication, Creativity)の能力を高める。
	3 3学期の時数 30 【Prism Reading 2】(週1時間) Unit 8	【LEAP】 週1回単語テストを実施し、継続的な単語学習に取り組む。 【オンライン英会話】オンライン上で海外の人とのコミュニケーションをとることで、実際に会話で使われる英語を使う機会を持ち、スピーキング力やリスニング力の向上

講 習	長期休業中におこなう。 必要に応じて、放課後の補習や講習も行う。
評価方法	1. 考査素点80% 2. 平常点(授業態度、小テスト、授業貢献度等)20%

外国語

科目 : 英語表現 I

学習目標

学年 : 4 年
履修 : 共通
単位数 : 2
週当り時数 :

(1) 3年次から学習している高校文法をこの1年間で理解し、大学共通テストレベルの問題を解くことができる。
(2) 目標習得語彙数：3,000語
(3) 検定目標：CEFR B1レベル、英検2級
(4) 既習の文法事項を用いて、自らの考えを論理的に説明し、200語程度の英文で書くことができる。

使用教材	MAINSTREAM English Expression I (増進堂)、ブレイクスルー総合英語(美誠社)、ブレイクスルー英文法36章ワークブック(美誠社)、Discussions A-Z (Cambridge出版)
------	---

月	学習単元	学習事項等
一学期	4 【MAINSTREAM】 Lesson 1 Nice to meet you ~Lesson 3 My Treasure 【Breakthrough】 Lesson 1 文の種類~ Lesson 6 進行形 【Discussions A-Z】 1, 2	【Breakthrough】 Lesson 1~16: 文の種類、基本文系、様々な疑問文、基本時制、進行形、不定詞 【MAINSTREAM】 Lesson 1: 初対面の挨拶を学ぶ。文の要素を学ぶ。 Lesson 2: 理由を尋ねる、答える。現在形を復習する。 Lesson 3: 確認する表現を学ぶ。過去形を復習する。 Lesson 4: 誘いを受ける、断る。未来の表現を復習する。 Lesson 5: 賛成、反対の表現を学ぶ。進行形を復習する。 Lesson 6: 希望を述べる際の表現を学ぶ。現在完了形を復習する。
	5 中間調査までの時数 14	
	6 【MAINSTREAM】 Lesson 4 This Coming Weekend ~Lesson 6 Are You in a Club? 【Discussions A-Z】 3, 4 【Breakthrough】 Lesson 7 完了形(1)~ Lesson 13 受動態(2)	【Discussions A-Z】 CEFR B1レベルに対応できる英語運用能力の向上を図る。
	7 1学期の時数 28 【Breakthrough】 Lesson 14, 15, 16 不定詞	
二学期	9 【Breakthrough】 Lesson 17 不定詞(4)~ Lesson 22 分詞(3) 【MAINSTREAM】 Lesson 7 The School Festival Is Soon ~Lesson 10 I Feel Sick 【Discussions A-Z】 5, 6	【Breakthrough】 Lesson 17~29: 不定詞、動名詞、分詞、関係詞 【MAINSTREAM】 Lesson 7: ほめる表現を学ぶ。現在完了形、過去完了形を復習する。 Lesson 8: お礼の言い方、答え方を学ぶ。助動詞、命令文を復習する。 Lesson 9: 驚きを表す表現を学ぶ。受動態を復習する。 Lesson 10: 助言する際の表現を学ぶ。不定詞を復習する。 Lesson 11: 依頼する表現を学ぶ。動名詞を復習する。 Lesson 12: 誘う際の表現を学ぶ。分詞を復習する。 Lesson 13: 満足を表す表現を学ぶ。関係代名詞を復習する。
	10 中間調査までの時数 16	
	11 【MAINSTREAM】 Lesson 11 Volunteer Activities ~Lesson 13 Countries Around the World 【Breakthrough】 Lesson 23 関係詞(1)~ Lesson 29 比較(3) 【Discussions A-Z】 7, 8	【Discussions A-Z】 CEFR B1レベルに対応できる英語運用能力の向上を図る。
	12 2学期の時数 30 【Breakthrough】 Lesson 30, 31, 32 仮定法	
三学期	1 【MAINSTREAM】 Lesson 14 Reduce, Reuse, Recycle ~Lesson 16 An Impressive Book 【Breakthrough】 Lesson 33 比較(3) ~ Lesson 36 語法(2) 【Discussions A-Z】 9, 10	【Breakthrough】 Lesson 30~36: 比較、仮定法、否定、語法 【MAINSTREAM】 Lesson 14: 提案する表現を学ぶ。比較の表現を復習する。 Lesson 15: 意見を述べる表現を学ぶ。関係副詞を復習する。 Lesson 16: 列挙する表現を学ぶ。仮定法を復習する。
	2 3学期の時数 20	
	3 【Breakthrough】 Additional 9, 10 (構文) 1年間のまとめ	【Discussions A-Z】 CEFR B1レベルに対応できる英語運用能力の向上を図る。

講習	長期休業中に実施する。必要に応じて放課後の講習も行う。
評価方法	1. 考查素点80% 2. 平常点(授業態度、小テスト、授業貢献度等) 20%

情 報

科目 : 情報の科学

学年 : 4 年

履修 : 共 通

単位数 : 2
週当り時数 :

学習目標

① コンピュータにおける情報の表現や処理の仕組みを理解し、情報技術が情報社会でどのような役割を果たしているかを学ぶ。

② 情報の受信や発信を積極的に行うことができるよう、情報活用能力と情報社会に参画する態度を養う。

使用教材	教科書：最新情報の科学（実教出版） 補助教材：基礎からはじめる情報リテラシー（実教出版）
------	---

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 I. 情報社会とコンピュータ ① 情報社会とモラル ② コンピュータの役割	I. ① 情報社会における様々な問題を提議し、その社会で生きていくために気をつけるべきことを考える。 プライバシーや著作権など、情報社会で考慮しなくてはならない権利についてもここで学ぶ。 ② コンピュータの利点や社会で果たしている役割を学ぶ。 ③ 入出力装置やCPUなどのコンピュータの装置名称や、内部での処理方法について学ぶ。 ④ コンピュータ内部での情報のあらし方として、二進法を学ぶ。ビットやバイトなどの情報量についてもここで取り扱う。 ⑤ アナログ表現とデジタル表現の違いについて理解する。画像や音声のデジタル表現について学ぶ。
	5 中間考査までの時数 14	
	6 ③ コンピュータの仕組み ④ コンピュータでの情報表現	
	7 1学期の時数 28	
	7 ⑤ デジタル表現	
二 学 期	9 II. コンピュータでの情報処理 ① 情報処理の工夫	II. ① 情報を分析し、表現するための工夫を考える。 表計算ソフトを用いて情報を整理する方法を学ぶ。表計算ソフトについては、表の作成や並び替え、図形の挿入、数式（関数含む）の入力について、実習を通して学ぶ。 ② 論理的な思考に基づく問題解決のプロセスを学ぶ。 フローチャートを作成し、自身でプログラムを組めるようにする。プログラミング言語はBASIC言語（VBA）を取り扱う。
	10 中間考査までの時数 16 ② 問題解決とアルゴリズム	
	11	
	12 2学期の時数 30	
三 学 期	1 III ネットワークと情報の保護 ① ネットワークのしくみ	III. ① LANやWAN、インターネットなどの通信媒体と、プロトコルをはじめとする通信のしくみについて学ぶ。 ② コンピュータウイルスや事故などによる、情報の損失や流出を防ぐためのセキュリティの種類と、その考え方について学ぶ。
	2 ② 情報の保護(セキュリティ)	
	3 3学期の時数 20	

講 習	学期ごとの評価を基準とした成績不良者については自習課題を用意することがある。 その他講習・補修は特になし。
評価方法	・ 期末考査の状況（1学期は8割、2学期は6割、3学期は7割程度で評価する） ・ 課題の達成度や提出物、授業態度等の総合状況（三学期間通して3割程度） ※中間考査は行わない

外国語

科目 : ドイツ語
 学年 : 4・5年
 履修 : 自由選択
 単位数 : 2
 週当り時数 :

学習目標

ドイツ語の初級文法知識を身につける。
 繰り返し発話することでドイツ語の発音を身につける。
 自分自身や身の回りのことについて伝えることができるようにする。

使用教材	Spitze!1 (朝日出版社)
------	------------------

月	学習単元	学習事項等
一学期	4 Lektion 1 挨拶 自己紹介する 国名・専攻	○動詞の現在人称変化 (3人称: er/sie/es/sie) ○人物を表す形容詞 ○名詞の性と定冠詞・不定冠詞 (1格・4格)
	5 14	○4格目的語をとる動詞
	6 Lektion 2 職業・国籍	○不規則動詞の現在人称変化 I ○評価を表す副詞
	7 Lektion 3 友達の紹介 1学期の時数 28 ドイツ語圏の文化事情	○人称代名詞 (1格・4格)
二学期	9 Lektion 3 数詞 言語名	○動詞の現在人称変化 (3人称: er/sie/es/sie) ○人物を表す形容詞
	10 Lektion 4 レストランでの会話 持ち物① 中間審査までの時数 16	○名詞の性と定冠詞・不定冠詞 (1格・4格) ○4格目的語をとる動詞 ○不規則動詞の現在人称変化 I
	11 Lektion 4 色 食べ物・飲み物	○評価を表す副詞 ○人称代名詞 (1格・4格)
	12 Lektion 5 住まい・家具 値段を聞く 2学期の時数 30 ドイツ語圏の文化事情	○名詞の複数形
三学期	1 Lektion 6 家族 持ち物②	○所有冠詞と否定冠詞 (1格・4格) ○不規則動詞の現在人称変化 II
	2 Lektion 7 趣味 余暇活動 頻度の表現 曜日	○一年間のまとめ
	3 3学期の時数 20 一年間のまとめ	

講習	
評価方法	授業態度 (とくに積極的な取り組みを考慮する) 課題提出 各学期末に行うまとめテスト

外国語

科目 : フランス語

学年 : 4・5年

履修 : 自由選択

単位数 : 2
週当り時数 :

学習目標

フランス語の基礎的な文法事項を理解し、簡単なフランス語の運用が出来るようになること。
フランス語を通して、日本語や英語の感覚を捉え直し、より高い言語運用能力を身につけること。

使用教材	「仏検公式ガイドブック 5級」(駿河台出版社)
------	-------------------------

月	学習単元	学習事項等
一学期	4	フランス語の基礎となる事項 アルファベ、発音の規則 (フランス語独特の綴字・発音に慣れる)
	5	挨拶、数字(1~10) 名詞の性数、冠詞 人称代名詞・主語 動詞(直説法現在)
	6	中間検査までの時数 14 être avoir 第一群活用動詞 第一群活用動詞のバリエーション aller venir
	7	1学期の時数 28 形容詞の性数一致、副詞 所有形容詞、指示形容詞 否定文、疑問文 近接未来、近接過去
二学期	9	フランス語検定5級合格を目指して 筆記 空欄補充 動詞の活用 乱文整序 疑問文返答 語彙 イラスト選択 会話文中での空欄補充
	10	中間検査までの時数 16 リスニング 疑問文返答 数字(1~20) イラスト選択
	11	自己紹介 好きなもの・ことを話す・尋ねる 簡単な会話の練習
	12	2学期の時数 30 数字(21~100)
三学期	1	旅行の持ちものの語彙 機内にて 入国審査にて、パリ市内に行くには ホテルにて 飲食店・ブティックにて パリの観光名所 フランス郊外の都市
	2	
	3	3学期の時数 20 フランス語の総復習と、フランスの文化・社会について

講習	実施の予定なし。
----	----------

評価方法	授業中に実施する復習のためのプリント、各学期末に実施する試験や試験相当の課題、長期休暇中の課題といったものの出来の他、授業中の態度や積極性も加味し、総合的に評価する。
------	---

外国語

科目 : 中国語
 学年 : 4・5年
 履修 : 自由選択
 単位数 : 2
 週当たり時数 :

学習目標

基礎的な中国語の「聞く、話す、読む、書く」能力を習得し、簡単な日常会話ができるレベルを目指す。
 中国語を通して中国の文化・歴史を理解する。

使用教材	高校版 中国語はじめました (駿河台出版社)
------	------------------------

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 ・ 発音編 (声調、母音、子音) ・ 教室用語	<p>前半は中国語の発音に慣れるために発音の重複練習を重視する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 表音符号「ピンイン」の習得、読めて書けるようにする。 ・ 日常でよく用いる決まり文句を覚える。 ・ 自分の名前を中国語の漢字で書け、発音できるようにする。 <p>後半は発音と並行して、日中漢字の相違と中国語の文型・文法を学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 形容詞述語文と“是”を用いる文の肯定文、否定文、疑問文を和訳できるようにする。 ・ 人称代名詞、親族呼称、疑問詞疑問文などを学ぶ。
	5 中間調査までの時数 14	
	6 ・ 第1課 “你好吗？” (お元気ですか) ・ 第2課 “我是日本人。” (私は日本人です)	
	7 1学期の時数 28	
二 学 期	9 ・ 第3課 “我喜欢中国菜。” (私は中国料理が好きです) ・ 第4課 “你有没有兄弟姐妹？” (あなたは兄弟がいますか)	<p>前半は発音練習の継続と中国語の構文、単語の数量を増やすことを中心とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 動詞述語文の肯定文、否定文、疑問文の和訳と作文。 ・ 所有の“有”の用法、数詞(0~99)、助数詞、前置詞の“在”などを学ぶ。 <p>後半は日付、曜日、年齢、学校名、趣味などの言い方を学び、既習の構文、単語と合わせて自己紹介文を書き、クラスで発表する。</p> <p>主に名詞述語文、連動文、完了・変化を表す“了”を学習する。</p>
	10 中間調査までの時数 16	
	11 ・ 第5課 “现在几点？” (今何時ですか) ・ 第6課 “我昨天买了一本中文词典。” (昨日中国語辞書を一冊買いました)	
	12 2学期の時数 30	
三 学 期	1 ・ 第9課 “您去过北京吗？” (あなたは北京へ行ったことがありますか)	<p>表現パターンを増やすことを目的として、経験を表す“过”などの用法を学習する。</p> <p>そして“繞口令”(早口言葉)、言葉遊びのひとつである“字謎”(なぞなぞ)、漢詩などを楽しむ。</p>
	2	
	3 3学期の時数 20	

講 習	
評価方法	小テスト、試験、課題提出、授業態度など

第五学年

国 語

科目 : 現代文B

学年 : 5 年

履修 : 共 通

単位数 : 2
週当り時数 :

学習目標

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。

使用教材	精選現代文B〔改訂版〕（筑摩書房）、読解評論文キーワード〔改訂版〕（筑摩書房）、新・国文学史ノート（日栄社）、入試頻出漢字+現代文重要語TOP2500（いわずな書房）、錬成現代文<大学入学共通テスト対策版>
------	---

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 「情報」の彫刻 見る 思考バイアス	評論①：接続語・指示語などに注目しながら文脈を追い、対比・言い換え・具体と抽象・比喩の関係を捉えて、論の構造をつかむ。（2000～3000字）
	5 山月記 中間審査までの時数 14	小説①：心情表現に着目しながら、登場人物の心情や考えを読み取る。
	6 実体の美と状況の美 ラップトップ抱えた「石器人」 アイオワの玉葱 水かまきり	評論②：「科学論」「芸術論」「言語論」など幅広い分野の評論文に慣れ、本文の要旨をつかむ。（2400～3300字）
	7 1学期の時数 28 水仙	小説②：場面や情景をとらえ、それぞれの場面の内容をまとめる。また、表現の工夫や文体の違いなどを学ぶ。
二 学 期	9 こころ 生物を作る環境 物語るといふ欲望	小説③：本格的な文学作品を読むことを通して、作品の成り立ちを含めた立体的な読みを構築する方法を学ぶ。 評論③：筆者の考えを、例示を踏まえ、論理を追って読解する。（1700～3400字） 随想：筆者の取り上げる話題を通して筆者の思いを読み取る。
	10 文学の仕事 芝 中間審査までの時数 16	
	11 空と風と星と詩 異時代人の目 ファンタジー・ワールドの誕生	評論④：「文化人類学」「身体論」「文化論」など幅広い分野の評論文を読み、具体から抽象へ論の展開、その飛躍の仕方を理解する。（3700～4500字）
	12 つながりと秩序 2学期の時数 30 身体、この遠きもの	※必要な箇所に一線や印等を書き込みながら、評論4500字前後、小説6000字前後をそれぞれ10分（センター試験レベル）で読み終わるペースを目指そう。
三 学 期	1 絵画の二十世紀 科学・技術と生活空間	評論⑤：「芸術論」「社会論」「科学論」などの幅広い分野の評論文を読み、論の構造を捉えながら、筆者の主張を読み取る。（3700～4100字）
	2 虚ろなまなざし	評論⑥：「政治思想論」「社会論」など幅広い分野の評論文を読み、論理的な文章をその論理展開を把握するだけでなく、そこにこめられた筆者の物の見方、考え方を学び、人間や社会についての考えを深める。（3100、6700字）
	3 3学期の時数 20 「である」ことと「する」こと	

講 習	必要に応じて長期休業中に基礎および発展の講習を行う。
評価方法	各学期の評定は、定期テスト2回（200点）と平常点（漢字テスト、小テスト、レポート等を合計し50点に換算）の合計点250点満点でつける。 学年の評定は1学期、2学期の計500点と学年末テスト100点、平常点50点を合計し、650点満点でつける。

国 語

科目 : 古典B

学年 : 5 年

履修 : 共 通

単位数 : 3
週当り時数 :

学習目標

- 古典を通し日本の文化の根幹に触れる。
- 古文を通し日本の文学の歴史と伝統を学ぶ。
- 漢文を通し日本の文学への影響とその流れを学ぶ。
- 古文を読み解く力を養う。
- 漢文を読み解く力を養う。
- 古典を通し深い教養を身につける端緒とする。

使用教材	三省堂「高等学校 古典B 古文編」「高等学校 古典B 漢文編」・浜島書店「常用国語便覧」・明治書院「必携 古典文法」・尚文出版「必携 新明説漢文」・いっぴいな書店「改訂版 古文単語330」・日栄社「新・国文学史ノート」・Z会「基礎が身につく古典レベル2」
------	---

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 説話「宇治拾遺物語」「十訓抄」 随筆「枕草子」 小話 「漱石枕流」「紀昌貫虱」「糟糠之妻」「王昭君」「不顧後患」	古文 ○短い説話を通し、基本的な古典文法や古語について確認する。 ○人物の行動や心情を読み取る。 ○平安女流文学の特徴、文学史的な意義を確認する。又平安朝の貴族の生活を学ぶとともに、有職故実など、古典の知識を強化する。 ○助動詞の意味と接続を反復により習得する。 ○敬語の基本を再確認し、読解を円滑にできるようにしていく。 ○「方丈記」の表現・文体の特徴を理解し、その世界観を感じる。 ○歴史の流れの中で、登場人物の境遇や心情を読み取るとともに、「大鏡」の特徴と文学史的意義を理解する。 漢文 ○漢文訓読に慣れ、簡単な白文も読み取れるようにしていく。 ○故事成語の意味を理解し、現代語の語彙との連繋を考察する。 ○漢詩を音声として味わい、漢詩の種類や修辞を理解する。
	5 中間調査までの時数 21	
	6 随筆「方丈記」(日野山の閑居) 物語「大鏡」 漢詩(近体詩)	
	7 1学期の時数 42	
二 学 期	9 物語「源氏物語」 史伝「史記」 「鴻門之会」「項王暴挙」「四面楚歌」「項王最期」	古文 ○登場人物の心情を状況や行動に即して読み取るとともに、『源氏物語』への理解を深め、興味関心を高める。 ○難解な文章を、敬語や話の流れから読み解く力を培う。 ○作者のものの感じ方や洞察力を読み取るとともに、その心情を理解する。 ○平安女流日記文学の特徴を理解することにより、作者の生活や心情を読み取る。 漢文 ○文章の構成や展開を理解するとともに、内容を的確に読み取れるようにする。 ○話の展開を読み取るとともに、古代中国の歴史が持つ面白さや登場人物の魅力を読み味わう。 ○各種文章の差異を感じ、意味内容を読み取る。
	10 中間調査までの時数 24	
	11 日記「更級日記」(源氏の五十余巻) 文章 「漁父の辞」「春夜宴桃李園序」「送薛存義之人序」	
	12 2学期の時数 45	
三 学 期	1 軍記「平家物語」 近世の文学「笈の小史」 思想「孟子」「荀子」「老子」「莊子」	古文 ○音読を通して語り物の特徴を知るとともに、生死に直面した人間の行動を通して、生き方についての考えを深める。 ○登場人物の行動や心情を読み取る。 ○俳諧紀行文の妙味を味わう。 漢文 ○儒家・道家の思想を理解するとともに、人間の生き方やあり方についての考えを深める。
	2	
	3 3学期の時数 30	
	3 本年度の総復習	

講 習	朝学習または長期休業中に講習を実施する場合がある。成績不振の者には指名による補習を行う場合もある。
評価方法	定期調査を基本とし、小テスト、提出物等を勘案して総合的に評価する。

地 歴

科目 : 地理B

学年 : 5 年

履修 : 共 通

単位数 : 1
週当り時数 :

学習目標

自然環境に関する地理的知識に基づき、資源・産業の学習を進め、地理的見方・考え方の力を身につける。また、身につけた知識を活用して現代社会の諸課題を解決するための資料読解・活用能力を育成する。さらに、学習事項に関連する地誌的な学習や地球的課題についての学習も適宜行う。

使用教材	帝国書院『新詳地理B』 帝国書院『新詳高等地図』 帝国書院『新詳地理資料 COMPLETE 2020』
------	--

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 資源と産業 (世界の農林水産業)	世界の農林水産業について、自然条件や社会条件と関連付けて農業の地域区分をとらえるとともに、現代世界の農林水産業の現状と課題を学習する。 また、世界のなかでの日本の農林水産業の課題を考察する。 食糧問題について、世界の食料需給の地域的なかたよりを大観し、発展途上国と先進国の事例を考察する。また、日本が抱える食糧問題を理解し、その解決策について考察する。 世界のエネルギー・鉱産資源について、それぞれの種類や分布、利用の現状に対する理解を深める。
	5 中間調査までの時数 7	
	6 資源と産業 (食料問題) (世界のエネルギー・鉱産資源)	
	7 1学期の時数 14	
二 学 期	9 資源と産業 (資源・エネルギー問題) (工業の発達と種類) (工業の立地とその変化)	資源・エネルギー問題について、世界と日本の資源・エネルギー問題を大観し、問題の原因や近年の動向、問題解決の取り組みを理解して考察する。 世界の工業について、工業の発達過程や種類、立地とその変化について学習する。さらに、世界の工業の現状と課題を考察する。また、日本の工業の特徴と課題をとらえる。 第3次産業について、その特徴や発展の背景、地域差などをとらえると共に、世界と日本の観光業の特徴を考察する。
	10 中間調査までの時数 8	
	11 資源と産業 (世界の工業地域) (現代世界の工業の現状と課題) (第3次産業)	
	12 2学期の時数 15	
三 学 期	1 資源と産業 (世界を結ぶ交通・通信) (現代世界の貿易と経済圏)	世界を結ぶ交通・通信について、交通機関の種類や特徴をとらえると共に、通信の発達による世界の一体化と地域差、国内格差について考察する。 現代世界の貿易と経済圏について、進展する国際分業の現状と課題、貿易の自由化と経済連携の動向を考察する。また、現代世界における日本の貿易の現状と課題をとらえ、理解を深める。
	2	
	3 3学期の時数 10	

講 習	定期考査の平均点の半分を目安に、成績不振者を対象に補講を行うことがある。
評価方法	地理に関する基本的な知識・技術が習得できたか、その上で地理的な見方・考え方が身に付いたかが評価の主な観点となる。考査の点数が評価の柱となるが、宿題などの提出物や普段の授業の状況も評価の対象とする。

地 歴

科目 : 日本史B

学年 : 5 年

履修 : 共 通

単位数 : 3
週当り時数

学習目標

日本の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解させ、文化の時代性・地域性と現代日本の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に貢献するリーダーとしての自覚と資質を養う。

使用教材	教科書 : 詳説日本史B (山川出版社)
	資料集 : 新詳日本史 (浜島書店)
	問題集 : よくでる日本史B 一問一答 (山川出版社)

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 第1章 日本文化のあけぼの 1 文化の始まり 2 農耕社会の成立 3 古墳と大和政権 第2章 律令国家の形成 1 飛鳥の朝廷 2 律令国家への道	原始・古代の日本の特徴を捉え、日本の成立過程を理解する。併せて、海外の国との交流の視点をもつ。 日本の律令制度の仕組みを理解し、律令社会の展開とその限界と変質過程を学ぶ。
	5 中間調査までの時数 21	
	6 3 平城京の時代 4 天平文化 5 平安王朝の形成 第3章 貴族政治と国風文化 1 摂関政治 2 国風文化	
	7 1 学期の時数 42	
	7 3 地方政治の展開と武士	
二 学 期	9 第4章 中世社会の成立 1 院政と平氏の台頭 2 鎌倉幕府の成立 3 武士の社会 4 蒙古襲来と幕府の衰退 5 鎌倉文化	荘園制の展開と武士の発生を関連付けて理解し、武士の社会的影響力の増大の経過を理解する。また、武家政権の特徴を理解しその発展過程を学ぶ。 武家政権の統治方法の違いとそれによる社会の変化を中心に据えながら、東アジアにおける日本の影響力を考察する。強力な権力による統一が進んだ理由とその結果を理解する。また、庶民の社会的存在の変化に目を向ける。
	10 中間調査までの時数 24	
	11 第5章 武家社会の成長 1 室町幕府の成立 2 幕府の衰退と庶民の台頭 3 室町文化 4 戦国大名の登場 第6章 幕藩体制の確立 1 織豊政権	
	12 2 学期の時数 45	
	12 2 桃山文化	
三 学 期	1 3 幕藩体制の成立 4 幕藩社会の構造 第7章 幕藩体制の展開 1 幕政の安定 2 経済の発展	幕藩体制の仕組みを理解し、そのもとで展開した政策について理解する。また、幕藩体制を安定させるためにとられた政策等についてその内容と結果を理解する。町人文化の発展とその具体的内容を知り、社会の変化をとらえる。
	2	
	3 学期の時数 30	
	3 3 元禄文化	

講 習	長期休業中に、問題演習や授業を補完する講習を実施する。
評価方法	定期調査を中心に、提出物などをもとに総合的に評価する。

公 民

科目 : 倫理
 学年 : 5 年
 履修 : 共 通
 単位数 : 2
 週当り時数 :

学習目標

1. 青年期の課題と、人間としての在り方生き方について、おもに古今東西の諸思想の学習をとおして、理解と思索を深める。
2. 主体としての自己の確立をめざして、とくに人間の尊厳についての倫理的な考え方を学びとり、人格形成に努める意欲を高める。
3. 現代社会の倫理的な課題について、主体的な思考と公正な判断の能力を育てる。

使用教材	・高校倫理（実教出版） ・詳解倫理資料 新訂版（実教出版）
------	----------------------------------

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 第1編 青年期の課題と人間の自覚 第1章 青年期の課題と自己形成から 第2章 人間としての自覚 第1節 ギリシア思想まで	第1編 青年期の課題と人間の自覚 第1章 青年期の課題と自己形成 第1節 青年期の意義 第2節 青年期の課題 第2章 人間としての自覚 第1節 ギリシア思想 第2節 キリスト教 第3節 イスラーム 第4節 仏教 第5節 中国思想 第6節 芸術と人生
	5 中間審査までの時数 14	
	6 第2章 人間としての自覚 第2節 キリスト教から 第6節 芸術と人生まで	
	7 1学期の時数 28	
二 学 期	9 第3章 日本人としての自覚 第1節 古代日本人の思想から 第4節 西洋思想の受容と展開まで	第3章 日本人としての自覚 第1節 古代日本人の思想 第2節 日本の仏教思想 第3節 近世日本の思想 第4節 西洋思想の受容と展開
	10 中間審査までの時数 16	第2編 現代と倫理 第1章 現代に生きる人間の倫理 第1節 人間の尊厳 第2節 科学・技術と人間 第3節 民主社会と自由の実現 第4節 社会と個人
	11 第2編 現代と倫理 第1章 現代に生きる人間と倫理 第1節 人間の尊厳から 第4節 社会と個人まで	
	12 2学期の時数 30	
三 学 期	1 第1章 現代に生きる人間と倫理 第5節 人間への新たな問いから 第2章 現代の諸課題と倫理 第7節 国際平和と人類の福祉の課題まで	第5節 人間への新たな問い 第6節 社会参加と幸福 第2章 現代の諸課題と倫理 第1節 生命の倫理 第2節 環境の倫理 第3節 家族の課題 第4節 地域社会の課題 第5節 行動情報化社会の課題 第6節 文化と宗教の課題 第7節 国際平和と人類の福祉の課題
	2	
	3 3学期の時数 20	

講 習	成績不審者を中心に、必要に応じて実施する。
評価方法	定期考査、提出物、出欠席、授業態度を総合的に評価する。

数 学

科目 : 数学Ⅱ・Ⅲ

学年 : 5 年

履修 : 共 通

単位数 : 3
週当り時数

学習目標

基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確に活用する能力を伸ばすとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。
(文系) 数学ⅠAⅡBの復習を行い、発展的な内容についても取り扱い、理解する。
(理系) 数Ⅲの内容について取り扱い、理解する。

使用教材	(共通) 数学Ⅱ (数研出版)、4STEP 数学Ⅱ・B (数研出版) (文系) リンク数学演習Ⅰ・A+Ⅱ・B受験編 a+b+c+d (数研出版) (理系) 数学Ⅲ (数研出版)、4STEP 数学Ⅲ (数研出版)
------	---

月	学 習 単 元		学 習 事 項 等		
一 学 期	4	第5章 指数関数と対数関数 第3節 対数関数	第5章 対数関数 (7) 対数 対数の意味とその基本的な性質について理解し、簡単な対数の計算をする。 (4) 対数関数 対数関数とそのグラフの特徴について理解し、それらを事象の考察に活用する。		
		第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 第2節 導関数の応用	第6章 微分法と積分法 (7) 微分係数と導関数 微分係数や導関数の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の導関数を求める。 (4) 導関数の応用 導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフの概形をかくこと。また、微分の考えを事象の考察に活用する。		
	中間考査までの時数 21				
	6	第3節 積分法 第4節 積分法の応用	(9) 不定積分と定積分 不定積分及び定積分の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の不定積分や定積分を求める。 (2) 面積 定積分を用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める。		
7	1 学期の時数 42 数Ⅱの総復習				
二 学 期	9	(文系) リンク数学演習ⅠA+ⅡB 数学ⅡBの演習	(理系) 第3章 関数	(文系) 数学Ⅰ 1 数と式 2 集合と命題 3 2次関数 4 図形と計量 5 データの分析	(理系) 第3章 関数 ・簡単な分数関数と無理関数及びそれらのグラフの特徴について理解する。 ・合成関数や逆関数の意味を理解する。
			第4章 極限	第4章 極限 ・数列の極限、無限級数の収束、発散について理解し、無限等比級数などの簡単な無限級数の和を求め、それらを事象の考察に活用する。	
	10	中間考査までの時数 24			
	11	数学ⅡBの演習	第5章 微分法	数学A 6 場合の数と確率 7 図形の性質 8 整数の性質	・関数値の極限について理解し、それを事象の考察に活用する。 第5章 微分法 ・いろいろな関数の導関数について理解し、導関数を求める。
12	2 学期の時数 45 数学ⅡBの演習		数学II 9 式と証明 10 複素数と方程式 11 図形と方程式 12 三角関数 13 指数関数と対数関数 14 微分法と積分法		
三 学 期	1	数学ⅠAの演習	第6章 微分法の応用	数学B 15 ベクトル 16 数列	第6章 微分法の応用 ・導関数を用いて、いろいろな曲線の接線の方程式を求めたり、いろいろな関数の値の増減、極大・極小、グラフの凹凸などを調べグラフの概形をかいたりする。
		2			第7章 積分法 ・積分とその基本的な性質不定積分及び定積分の基本的な性質について理解を深め、それらを用いて不定積分や定積分を求める。
	3	3 学期の時数 30 数ⅠAⅡB総復習 第7章 積分法			

講 習	放課後や長期休業中に実施する。
評価方法	定期考査ならびに定期考査相当の規模の試験と、小テストや自宅学習課題等の平常点を総合して評価する。

数 学

科目 : 数学B

学年 : 5 年

履修 : 共 通

単位数 : 2
週当り時数

学習目標

基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを活用することができるようにする。

使用教材	数学B (数研出版) 4STEP 数学B (数研出版)
------	--------------------------------

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 第3章 数列 第1節 数列とその和 1 数列 2 等差数列とその和 3 等比数列とその和 4 和の記号 Σ	数列から一般項を推測するという練習をする。 等差数列について、初項と一定の増分(公差)によって数列が作られることや、一般項を求めることができることを理解する。 等比数列の和の求め方は、等差数列の場合とは全く異なることに注意する。 和の記号 Σ の扱いに慣れる。
	5 中間検査までの時数 14	
	6 第2節 数学的帰納法 5 階差数列 6 いろいろな数列の和 7 漸化式と数列	階差数列を考えるのは、数列の規則性を見つける基本的な方法である。 漸化式の定義と、漸化式によって定められた数列について考察する。 2項間の漸化式や3項間の漸化式で与えられる数列の一般項を求める。
	7 1学期の時数 28 8 数学的帰納法	数学的帰納法による正しい証明法を習熟する。
二 学 期	9 第1章 平面上のベクトル 第1節 平面上のベクトルと演算 1 平面上のベクトル 2 ベクトルの演算 3 ベクトルの成分 4 ベクトルの内積	有向線分を利用してベクトルを図示する。 有向線分を利用して、ベクトルの和、差、実数倍の定義を理解する。 成分で表されたベクトルの演算ができるようにする。 ベクトルの内積を定義し、成分表示されたベクトルの内積を求め、図形の問題に利用する
	10 中間検査までの時数 16	
	11 第2節 ベクトルと平面図形 5 位置ベクトル 6 ベクトルと図形 7 ベクトル方程式	位置ベクトルの考え方をを用いて、線分の内分点や外分点および三角形の重心の表し方を理解する。 2直線の交点は、ベクトルの一意性を利用して求められることを理解する。 直線や円をベクトルの方程式で表す。
	12 2学期の時数 30 第2章 空間ベクトル 1 空間の座標	
三 学 期	1 2 空間のベクトル 3 ベクトルの成分 4 ベクトルの内積 5 位置ベクトル 6 ベクトルと図形 7 座標空間における図形	平面上の座標の考えを空間へ拡張する。 平面的ベクトルと同様に、空間のベクトルを定義する。 ベクトルの和、差、実数倍などが平面的ベクトルの場合と同様であることを理解する。 座標空間における直線の問題が、ベクトルを用いると見通しよくなることを理解する。
	3 3学期の時数 20	
	3 数B総復習	

講 習	定期検査前、長期休業中に実施する。
評価方法	定期検査ならびに定期検査相当の規模の試験と、小テストや自宅学習課題等の平常点を総合して評価する。

理 科

科目 : 物理基礎

学年 : 5 年

履修 : 共 通

単位数 : 3
週当り時数 :

学習目標

物理の基本的な概念や原理・法則を理解し科学的な自然観を育成する。

力学・熱・波動・電気・原子の基礎事項を学び、自然現象を客観的に理解し、自ら問題を解決できる力を養う。

使用教材	新物理基礎（第一学習社） 2021 セミナー物理基礎・物理（第一学習社）
------	---

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 運動とエネルギー 発展の平面運動を含む	運動とエネルギー 速度・加速度 等加速度直線運動 相対速度 落体の運動 平面運動 力 力のつりあい 摩擦 運動方程式 運動方程式演習 剛体のつりあい
	5 中間調査までの時数 21	
	6 力 運動の法則 発展の剛体のつり合いを含む	
	7 1学期の時数 42	
二 学 期	9 仕事とエネルギー 熱	仕事とエネルギー 仕事 力学的エネルギー 力学的エネルギー保存則 熱 熱量・熱容量・比熱 波動 波の基本原理 波の式 波の合成・反射 波の回折・屈折・干渉
	10 中間調査までの時数 24	
	11 波動	
	12 2学期の時数 45	
三 学 期	1 波動 音 発展のドップラー効果	波動 音の性質 弦の振動、気柱の振動 ドップラー効果 電気 静電気 オームの法則、抵抗の接続 交流の性質 原子核 原子核の反応と放射線
	2 電気 原子核	
	3 3学期の時数 30	

講 習	長期休業中に基礎および発展の講習を行う。
評価方法	定期調査を中心として、課題、小テスト、実験レポート等を含めて総合点で評価する。

理 科

科目 : 化学
 学年 : 5 年
 履修 : 共 通
 単位数 : 2
 週当り時数 :

学習目標

化学的に物事を探求する力を育てると同時に、科学的な基本概念や法則を理解できる能力を育成する。また4年で学んだ化学基礎を復習し、問題演習をやりながらより深い理解と実力をつけていく。

使用教材	化学（実教出版） セミナー化学基礎・化学（第一学習社）	化学図説サイエンスビュー（実教出版） 新リビートノート化学（浜島書店）
------	--------------------------------	--

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 章有機化合物 1 節 有機化合物の特徴と分類 ・有機化合物の特徴 ・有機化合物の分類 ・構造式の決定	<ul style="list-style-type: none"> 炭化水素について 脂肪族炭化水素については、アルカン、アルケン、アルキンの代表的な化合物の構造、性質及び反応を扱う。その構造については、分子模型を用いて炭素骨格の形には鎖状のものと環状のものがあることを扱う。また、構造異性体や、立体異性体としてシス-トランス異性体も扱う。なお、炭素原子の電子配置の資料を示して、メタンが正四面体形である理由について、電子配置と構造とを関連付けて扱う。
	5 中間調査までの時数 14	
	2 節 脂肪族炭化水素 ・飽和炭化水素 ・不飽和炭化水素	
	7 1 学期の時数 28	
二 学 期	3 節 酸素を含む脂肪族化合物 ・アルコールとエーテル ・アルデヒドとケトン ・カルボン酸とエステル	<ul style="list-style-type: none"> 官能基をもつ化合物について 官能基をもつ脂肪族化合物については、アルコール、エーテル、アルデヒド、ケトン、カルボン酸及びエステルの代表的な化合物を取り上げ、炭素骨格及び官能基により性質が特徴付けられることや、これらの化合物の相互の関係を反応や構造と関連付けて扱う。その際、不斉炭素原子を1個含む化合物を取り上げ、鏡像異性体にも触れる。また、エステルに関連して油脂やセッケンなども扱う。 芳香族化合物について 芳香族化合物については、芳香族炭化水素、フェノール類、芳香族カルボン酸、芳香族アミンの代表的な化合物を取り上げ、ベンゼン環及び官能基により性質が特徴付けられることや、これらの化合物の相互の関係を反応や構造と関連付けて扱う。
	10 中間調査までの時数 16	
	4 節 芳香族化合物 ・芳香族化合物 ・酸素を含む芳香族化合物 ・酸素を含む芳香族化合物 ・混合物の分離	
	12 2 学期の時数 30	
三 学 期	5 節 有機化合物と人間生活 ・エネルギーの利用 ・洗剤 ・染料と染色 ・医薬品 ・有機化合物と生体	<ul style="list-style-type: none"> 有機化合物と人間生活について 化学が果たしてきた役割として、有機化合物がそれぞれの特徴を生かして人間生活の中で利用されていることを理解すること。
	1 2	
	3 3 学期の時数 20	

講 習	夏期講習
評価方法	定期考査の得点、実験レポート、ノートやワークシート、小テスト等で評価する。

保健体育

科目 : 体育
 学年 : 5 年
 履修 : 共通
 単位数 : 2
 週当り時数 :

学習目標

- 運動の合理的・計画的な実践を通して知識を深めるとともに技能を高めることで、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにする。
- 自己の状況に応じて体力の向上を図ることができる。
- 公正・協力・責任・参画などに意欲を持って取り組む。
- 健康・安全を確保して生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を身につける。

使用教材	ステップアップ高校スポーツ（大修館書店） 現代保健体育 改訂版（大修館書店）
------	---

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 体づくり運動（体力を高める） 体育理論	【体づくり運動】 自己の体力テスト結果から、自己の体力の状況を把握し、健康の保持増進や調和のとれた体力向上を図るための、今年一年間の体力向上の目標や継続的な運動の計画を立て、実生活に役立てることができるようにする。
	5 球技「ネット型」 ・バドミントン ・バレーボール 中間審査までの時数 14	【体育理論】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解する。 【球技：バドミントン・バレーボール】 状況に応じたボール操作や、安定した用具の操作と連携した動きによって、空間を作り出すなどの攻防の展開ができるようにする。
	6 球技「ネット型」 ・バドミントン ・バレーボール 1 学期の時数 28	【水泳】 各泳法において、手と足、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで速く泳ぐことができるようにする。
	7 水泳 ・4 泳法及び持久泳	
二 学 期	9 水泳 ・個人メドレー 陸上5種（競走・跳躍・投擲）	【水泳】 各泳法において、手と足、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と、安定したペースで長く泳いだり、速く泳げるようにする。また、複数の泳法で長く泳ぐことやリレーができるようにする。
	10 体育理論 中間審査までの時数 16	【陸上競技】 (競走)短距離走は中間走の高いスピードを維持して速く走ることができるようにする。 長距離走では、ペースの変化に対応して走ることができる。 ハードル走はスピードを維持した走りから低くリズムカルにハードルを越すことができるようにする。
	11 球技「ゴール型」 ・バスケットボール 2 学期の時数 30	(跳躍)スピードに乗ったリズムカルな助走と力強い踏切りから滑らかな空間動作で跳ぶことができるようにする。 (投擲)短い助走からやりを前方にまっすぐ投げることができるようにする。
	12 球技「ゴール型」 ・アルティメット	【体育理論】 運動やスポーツの技能と体力は相互に関連していることや期待する成果に応じた技能や体力の高め方があることを理解する。 【球技：バスケットボール・アルティメット】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームをすることが展開できるようにする。
三 学 期	1 球技「ゴール型」 ・アルティメット 武道 ・柔道	【球技：アルティメット】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームをすることが展開できるようにする。 【武道：柔道】 相手の多様な動きに応じた基本動作から、得意技・変化技を用いて、素早く相手を崩して投げたり、抑えたり、返したりなどの攻防を展開し、技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、得意技を用いた攻防を展開することができるようにする。
	2 体づくり運動（体力を高める） 3 学期の時数 20	【体づくり運動】 体を動かす楽しさや心地よさを味わい健康の保持増進や体力の向上を図り、来年度の体力向上の目標や体力や生活に応じた運動の計画を立て部活動や実生活に役立てることができるようにする。
	3 体育理論	【体育理論】 運動やスポーツにおける様々な危険を予見し、回避することが求められていることを理解する。

講 習	水泳及び持久走
評価方法	運動や健康・安全への関心及び意欲、態度【授業態度(忘れ物、服装、取り組む姿勢)、出欠状況、提出物 等】 運動や健康・安全についての思考・判断(グループ学習、ノートやワークシートの内容、授業中の言動観察等) 運動の技能(各単元におけるスキルテスト、技能の記録等) 運動や健康についての知識・理解【レポート内容など】 76

保健体育

科目 : 保健
 学年 : 5 年
 履修 : 共 通
 単位数 : 1
 週当り時数 :

学習目標

個人及び社会生活における健康・安全について理解を深める。
 生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を高める。
 日常生活に生かす見方や考え方を養う。

使用教材	現代保健体育 改訂版 (大修館書店) 図説現代保健 改訂版 (大修館書店)
------	--

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 【第2単元】生涯を通じる健康 ・思春期と健康 ・性意識と性行動の選択 ・結婚生活と健康	思春期から中高年期までの健康にかかわることがらについて学ぶとともに、自分自身の健康を支えている保健・医療のしくみや、それらの活用のしかたなどについて学ぶ。
	5 中間調査までの時数 7 ・妊娠出産と健康 ・家族計画と人工妊娠中絶	
	6 ・加齢と健康 ・高齢者のための社会的取り組み	
	7 1学期の時数 14 ・保健制度とその活用	
二 学 期	9 ・医療制度とその活用 ・医薬品と健康 ・様々な健康活動や対策	思春期から中高年期までの健康にかかわることがらについて学ぶとともに、自分自身の健康を支えている保健・医療のしくみや、それらの活用のしかたなどについて学ぶ。 健康に生きていく上では、取り巻く自然環境やそれを良好に維持するしくみ、社会の制度や活動などが密接にかかわっていることや、それらと個人との努力が組み合わさって健康な生活が実現することを学ぶ。また、健康に関する環境・食品の問題や、働くことと健康の関係などについて学ぶ。
	10 【第3単元】社会生活と健康 ・大気汚染と健康 中間調査までの時数 8	
	11 ・水質汚濁・土壌汚染と健康 ・健康被害の防止と環境対策 ・環境衛生活動のしくみと働き	
	12 2学期の時数 15	
三 学 期	1 ・食品衛生活動のしくみと働き ・食品と環境の保健と私たち ・働くことと健康 ・労働災害と健康 ・健康的な職業生活	健康に生きていく上では、取り巻く自然環境やそれを良好に維持するしくみ、社会の制度や活動などが密接にかかわっていることや、それらと個人との努力が組み合わさって健康な生活が実現することを学ぶ。また、健康に関する環境・食品の問題や、働くことと健康の関係などについて学ぶ。
	2	
	3 3学期の時数 10	

講 習	
評価方法	関心・意欲・態度について、提出物・出席状況・授業の取り組みを総合的に評価 思考・判断について、ノート・プリント等で思考力を評価 知識・理解について、ワークシートや定期調査で評価 以上の内容を総合的に評価する

外国語

科目 : コミュニケーション英語Ⅱ

学年 : 5 年

履修 : 共通

単位数 : 4
週当り時数 :

学習目標

- (1) 説明、評論、物語など様々な読み物について、速読したり精読したりするなど、目的に応じた読み方をする。
 (2) 物事に関する紹介、報告、対話、討論などを聞き、情報や考えなどを理解し、概要や要点をとらえる。
 (3) 知識や経験、考えについて、まとまりのある文章を書く。
 (4) 目標習得語彙数3,500語以上

使用教材	①FLEX English CommunicationⅡ ②FLEX English CommunicationⅡ Workbook Standard ③必携英単語LEAP ④Cutting Edge 2020 GREEN ⑤Cutting Edge 2020 Blue ⑥Sonic Reading Stage2
------	--

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 【FLEXⅡ】 Lesson1 "Eliza Scidmore and Japanese Cherry Blossoms" Lesson2 "Keisuke Iwaya and the Pursuit of Dreams" Cutting Edge GREEN: Chapter 7~10 Sonic Reading: Lesson 1-6 《γクラス》 Beloved by Toni Morrison (Topic: Slavery in the U.S.) 中間調査までの時数 28	Lesson1 ・日本とアメリカでの桜のもつ意味、概念の違いを読み取る。 ・動名詞の意味上の主語、同格、完了形+受け身を使って、表現する。 Lesson2 ・空よりも高い目標と夢を持ち続けた Keisuke Iwayaさんの挑戦を読み取る。 ・助動詞+完了形、不定詞の否定形、不定詞+受け身を使って、表現する。 Lesson3 ・塩が人間が生きていくうえで、どのように関わってきたのかを読み取る。 ・無生物主語構文、不定詞+完了形、助動詞+受け身を使って、表現する。 Lesson4 ・ウミガメの生活、絶滅が心配されていることを読み取る。 ・as if、疑問詞+to do、未来進行形を使って、表現する。
	5	
	6 【FLEXⅡ】 Lesson3 "A Small Grain with a Big Impact" Lesson4 "2100: A World with, or without, Sea Turtles?" Cutting Edge GREEN: Chapter 11~13 Sonic Reading: Lesson 7-12 《γクラス》 Beloved by Toni Morrison (Topic: Slavery in the U.S.) 1学期の時数 56	
	7 1学期のまとめ オンライン英会話	
二 学 期	9 【FLEXⅡ】 Lesson5 "Running a Business for the Poor" Lesson6 "The Living Library" Cutting Edge GREEN: Chapter 14~18 Sonic Reading: Lesson 13-18 《γクラス》 Things Fall Apart by Chinua Achebe (Topic: Colonialism in Africa) 中間調査までの時数 32	Lesson5 ・小田さんが発明した、汚れた水に少し入れるだけで飲み水に変えてしまう粉について理解し、発展途上国に届ける取り組みを理解する。 ・二重否定、thereを用いた表現、過去完了進行形を使って、表現する。 Lesson6 ・リビング・ライブラリーを通して、難民や元麻薬中毒者など様々なバックグラウンドをもった人のことを考える。 ・結果を表す不定詞、分詞構文の否定、挿入を理解し、表現することができる。 Lesson7 ・建築家の坂茂の作る紙で作った家について、理解する。 ・現在完了進行形、If S were to V、be to doを使って、表現することができる。 Lesson8 ・人間とパソコンのこれからの付き合い方について、考える。 ・完了形の分詞構文、未来完了形、仮定法現在を使って、表現することができる。
	10	
	11 【FLEXⅡ】 Lesson7 "More than justShelters" Lesson8 "Artificial Intelligence" Cutting Edge BLUE: Chapter 1~4 Sonic Reading: Lesson 19-24 《γクラス》 Things Fall Apart by Chinua Achebe (Topic: Colonialism in Africa) 2学期の時数 60	
	12 2学期のまとめ/リスニング	
三 学 期	1 【FLEXⅡ】 Lesson9 "Sapeur" Lesson10 "Larry Page and the Dream of Google" Cutting Edge BLUE: Chapter 5~8 Sonic Reading: Lesson 25-30 《γクラス》 Born a Crime by Trevor Noah (Apartheid in South Africa) Narrative of the Life of Frederick Douglass by Frederick Douglass (Topic: Slavery) 3学期の時数 40	Lesson9 ・コンゴ共和国のファッションの熱意について、読み取る。 独立分詞構文、倒置、比較表現を使って、表現することができる。 Lesson10 ・グーグルを開発したラリー・ページが、どのようにして自分と友人がグーグルを創りあげたのかを理解する。 ・All you have to do is~, what if~, It seems like~を使って、表現することができる。
	2	
	3 1年間の復習、リスニング	

講 習	長期休業中の講習：英文法基礎、発展、大学入学共通テスト対策、リスニング対策等、時期に応じて開講予定。
評価方法	1. 考查素点80% 2. 平常点（小テスト、予習・復習状況、提出物、授業貢献度、授業態度等）20%

外国語

科目 : 英語表現Ⅱ

学年 : 5 年

履修 : 共 通

単位数 : 2
週当り時数

学習目標

- (1) 重要な文法事項を繰り返し学ぶことにより、定着を図る。
 (2) 既習の文法事項を用いたり、主題を決めたりするなど、与えられた条件に合わせて、様々な種類の文章を書くことができる。
 (3) 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えを発表し、質疑応答ができる。

使用教材	①Vision Quest English Expression II Ace (啓林館) ②Vision Quest English Expression II Ace New Workbook (啓林館) ③ユメジユク(アルク) ④Writing Method (啓林館) オンライン教材
------	--

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 【VQA】 Part 1 Lesson 1 - Lesson 7, Grammar Focus 1&2, Description 1&2 【ユメジユク】 Unit 1,2	使用教材①、②を通じて、学習する文法事項についてALTとの質疑応答や英文の添削等を通じ、精度を高める。 【Vision Quest Ace】 Part 1 Lesson 1,2 主語を決める Lesson 3-7 動詞を決める Grammar Focus 1 名詞と冠詞
	5 中間考査までの時数 14	Grammar Focus 2 主語と動詞の呼応・時制の一致
	6 【VQA】 Part 1 Lesson 8 - Lesson 12, Grammar Focus 3, Description 3&4 【ユメジユク】 Unit 3,4	Lesson 8-11 動詞の形を決める Lesson 12 助動詞を使う Grammar Focus 3 英語の情報構造
	7 1 学期の時数 28 1 学期の復習	上記に加え、オンライン教材を使用して英作文を書き、ネイティブスピーカーによる添削を受ける。また、定期的に教材③を使用し、熟語の確認テストを実施。
二 学 期	9 【VQA】 Part 1 Lesson 13 - Lesson 17, Grammar Focus 4&5, Description 5-8 【ユメジユク】 Unit 5,6	使用教材①、②を通じて、学習する文法事項についてALTとの質疑応答や英文の添削等を通じ、精度を高める。 【Vision Quest Ace】 Part 1 Lesson 13-17 修飾語を加える Lesson 18-20 比較を表す Grammar Focus 4 前置詞 Grammar Focus 5 丁寧表現
	10 中間考査までの時数 16	
	11 【VQA】 Part 2 Lesson 1 - Lesson 7 【ユメジユク】 Unit 7,8	Part 2 Lesson 1 文と文をつなぐ Lesson 2 パラグラフ① Lesson 3 パラグラフ② Lesson 4 パラグラフ③ Lesson 5 パラグラフ④ Lesson 6 要点・要約① Lesson 7 要点・要約②
	12 2 学期の時数 30 2 学期の復習	上記に加え、オンライン教材を使用して英作文を書き、ネイティブスピーカーによる添削を受ける。また、定期的に教材③を使用し、熟語の確認テストを実施。
三 学 期	1 【VQA】 Part 3 Lesson 1 - Lesson 3 【ユメジユク】 Unit 9,10	使用教材①、②を通じて、学習する文法事項についてALTとの質疑応答や英文の添削等を通じ、精度を高める。 【Vision Quest Ace】 Part 3 Lesson 1 プレゼンテーション Lesson 2 ディスカッション Lesson 3 ディベート
	2	
	3 3 学期の時数 20 3 学期の復習	上記に加え、オンライン教材を使用して英作文を書き、ネイティブスピーカーによる添削を受ける。また、定期的に教材③を使用し、熟語の確認テストを実施。

講 習	長期休業中の講習：英文法基礎、発展、大学入学共通テスト対策、リスニング対策、英作文等、時期に応じて開講予定。
評価方法	1. 考査素点 80% 2. 平常点 (予習・復習状況、提出物、授業貢献度、授業態度、小テスト等) 20%

家 庭

科目 : 家庭基礎

学年 : 5 年

履修 : 共 通

単位数 : 2
週当たり時数 :

学習目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

使用教材	・新家庭基礎 主体的に人生をつくる (大修館) ・実習教材
------	----------------------------------

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	家庭科を学ぶあなたへのメッセージ 第1章 人生をみつめる 1 人生を展望しよう 2 家族・家庭をみつめよう 3 主体的に人生をつくるための意思決定をしよう 第2章 子どもを育てる 1 子どもの生活と家族・家庭のかかわりを考えよう	第1章 人生をみつめる ・自分の生活をみつめる ・人の一生と発達課題 ・現代の家族・家庭、家族・家庭と法律 ・青年期の自立と生涯を見通した生きかた 第2章 子どもを育てる ・子どもの成長・発達の特徴 ・子どもの遊びと児童文化 ・子どもの人間形成と親の役割 ・子育てをめぐる社会環境と地域・社会のかかわり 第7章 衣生活をつくる ・安全・快適な衣環境への工夫 ・衣生活の計画 ・日常着の製作 第5章 経済生活をつくる ・消費者問題の現状とこれから ・経済のしくみと家計
	中間考査までの時数 14	
	2 子育てをめぐる社会環境について理解しよう 第5章 経済生活をつくる 1 消費生活の現状と課題を理解しよう 2 消費者の権利と責任について調べよう 第7章 衣生活をつくる 1 健康で個性的な衣生活をつくらう ・衣服計画	
	1 学期の時数 28	
7	・環境に配慮して着る	
二 学 期	第6章 食生活をつくる 1 食生活を見直そう 2 栄養と食品について理解しよう	第6章 食生活をつくる ・食生活の成り立ち ・現代の食生活の課題 ・なぜ食べるのか ・体に必要な栄養素と食品 ・現代の食生活の課題 ・体に必要な栄養素と食品 ・炭水化物を多く含む食品と調理 ・脂質を多く含む食品と調理 ・たんぱく質を多く含む食品と調理 ・無機質を多く含む食品と調理 ・ビタミンを多く含む食品と調理 ・栄養素と食事の量 ・食品の選択と取扱い ・環境に配慮した食生活 ・日常食の調理
	中間考査までの時数 16	
	2 栄養と食品について理解しよう 日常食をつくらう	
	2 学期の時数 30	
12	2 栄養と食品について理解しよう 日常食をつくらう	
三 学 期	第8章 住生活をつくる 1 家族の生活と住環境を考えよう ・住まいと安全 ・現代の住生活 ・これからの住生活	第8章 住生活をつくる ・家族の生活と住空間 ・安全・快適な環境への工夫 ・住まいと健康、安全 ・環境に配慮した住まい方 ・これからの住生活 第3章 高齢期を生きる ・生涯発達と高齢期 ・高齢期の心身の特徴と生活 ・日本の高齢社会の現状と福祉 ・高齢者の社会的役割と世代間交流 ・高齢者の支援と福祉社会
	第3章 高齢期を生きる 1 高齢者の生活をみつめよう 2 高齢期を取り巻く社会環境について理解しよう	
	3 学期の時数 20	
	第4章 共生社会を生きる 1 人の一生を支える福祉について理解しよう	第4章 共生社会を生きる ・家庭生活と福祉 ・子育てと高齢者への社会的支援

講 習	
評価方法	授業観察、定期考査、課題、提出物(含製作品)、提出期日等で総合的に評価する。

外国語

科目 : ドイツ語
 学年 : 4・5年
 履修 : 自由選択
 単位数 : 2
 週当り時数 :

学習目標

ドイツ語の初級文法知識を身につける。
 繰り返し発話することでドイツ語の発音を身につける。
 自分自身や身の回りのことについて伝えることができるようにする。

使用教材	Spitze!1 (朝日出版社)
------	------------------

月	学習単元	学習事項等
一学期	4 Lektion 1 挨拶 自己紹介する 国名・専攻	○動詞の現在人称変化 (3人称: er/sie/es/sie) ○人物を表す形容詞 ○名詞の性と定冠詞・不定冠詞 (1格・4格)
	5 14	○4格目的語をとる動詞
	6 Lektion 2 職業・国籍	○不規則動詞の現在人称変化 I ○評価を表す副詞
	7 Lektion 3 友達の紹介 1学期の時数 28 ドイツ語圏の文化事情	○人称代名詞 (1格・4格)
二学期	9 Lektion 3 数詞 言語名	○動詞の現在人称変化 (3人称: er/sie/es/sie) ○人物を表す形容詞
	10 Lektion 4 レストランでの会話 持ち物① 中間審査までの時数 16	○名詞の性と定冠詞・不定冠詞 (1格・4格) ○4格目的語をとる動詞 ○不規則動詞の現在人称変化 I
	11 Lektion 4 色 食べ物・飲み物	○評価を表す副詞 ○人称代名詞 (1格・4格)
	12 Lektion 5 住まい・家具 値段を聞く 2学期の時数 30 ドイツ語圏の文化事情	○名詞の複数形
三学期	1 Lektion 6 家族 持ち物②	○所有冠詞と否定冠詞 (1格・4格) ○不規則動詞の現在人称変化 II
	2 Lektion 7 趣味 余暇活動 頻度の表現 曜日	○一年間のまとめ
	3 3学期の時数 20 一年間のまとめ	

講習	
評価方法	授業態度 (とくに積極的な取り組みを考慮する) 課題提出 各学期末に行うまとめテスト

外国語

科目 : フランス語

学年 : 4・5年

履修 : 自由選択

単位数 : 2
週当り時数 :

学習目標

フランス語の基礎的な文法事項を理解し、簡単なフランス語の運用が出来るようになること。
フランス語を通して、日本語や英語の感覚を捉え直し、より高い言語運用能力を身につけること。

使用教材	「仏検公式ガイドブック 5級」(駿河台出版社)
------	-------------------------

月	学習単元	学習事項等
一学期	4	フランス語の基礎となる事項 アルファベ、発音の規則 (フランス語独特の綴字・発音に慣れる)
	5	挨拶、数字(1~10) 名詞の性数、冠詞 人称代名詞・主語 動詞(直説法現在)
	6	中間検査までの時数 14 être avoir 第一群活用動詞 第一群活用動詞のバリエーション aller venir
	7	1学期の時数 28 形容詞の性数一致、副詞 所有形容詞、指示形容詞 否定文、疑問文 近接未来、近接過去
二学期	9	フランス語検定5級合格を目指して 筆記 空欄補充 動詞の活用 乱文整序 疑問文返答 語彙 イラスト選択 会話文中での空欄補充
	10	中間検査までの時数 16 リスニング 疑問文返答 数字(1~20) イラスト選択
	11	自己紹介 好きなもの・ことを話す・尋ねる 簡単な会話の練習
	12	2学期の時数 30 数字(21~100)
三学期	1	旅行の持ちものの語彙 機内にて 入国審査にて、パリ市内に行くには ホテルにて 飲食店・ブティックにて パリの観光名所 フランス郊外の都市
	2	
	3	3学期の時数 20 フランス語の総復習と、フランスの文化・社会について

講習	実施の予定なし。
----	----------

評価方法	授業中に実施する復習のためのプリント、各学期末に実施する試験や試験相当の課題、長期休暇中の課題といったものの出来の他、授業中の態度や積極性も加味し、総合的に評価する。
------	---

外国語

科目 : 中国語
 学年 : 4・5年
 履修 : 自由選択
 単位数 : 2
 週当たり時数 :

学習目標

基礎的な中国語の「聞く、話す、読む、書く」能力を習得し、簡単な日常会話ができるレベルを目指す。
 中国語を通して中国の文化・歴史を理解する。

使用教材	高校版 中国語はじめました (駿河台出版社)
------	------------------------

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 ・ 発音編 (声調、母音、子音) ・ 教室用語	<p>前半は中国語の発音に慣れるために発音の重複練習を重視する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 表音符号「ピンイン」の習得、読めて書けるようにする。 ・ 日常でよく用いる決まり文句を覚える。 ・ 自分の名前を中国語の漢字で書け、発音できるようにする。 <p>後半は発音と並行して、日中漢字の相違と中国語の文型・文法を学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 形容詞述語文と“是”を用いる文の肯定文、否定文、疑問文を和訳できるようにする。 ・ 人称代名詞、親族呼称、疑問詞疑問文などを学ぶ。
	5 中間調査までの時数 14	
	6 ・ 第1課 “你好吗？” (お元気ですか) ・ 第2課 “我是日本人。” (私は日本人です)	
	7 1学期の時数 28	
二 学 期	9 ・ 第3課 “我喜欢中国菜。” (私は中国料理が好きです) ・ 第4課 “你有没有兄弟姐妹？” (あなたは兄弟がいますか)	<p>前半は発音練習の継続と中国語の構文、単語の数量を増やすことを中心とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 動詞述語文の肯定文、否定文、疑問文の和訳と作文。 ・ 所有の“有”の用法、数詞(0~99)、助数詞、前置詞の“在”などを学ぶ。 <p>後半は日付、曜日、年齢、学校名、趣味などの言い方を学び、既習の構文、単語と合わせて自己紹介文を書き、クラスで発表する。</p> <p>主に名詞述語文、連動文、完了・変化を表す“了”を学習する。</p>
	10 中間調査までの時数 16	
	11 ・ 第5課 “现在几点？” (今何時ですか) ・ 第6課 “我昨天买了一本中文词典。” (昨日中国語辞書を一冊買いました)	
	12 2学期の時数 30	
三 学 期	1 ・ 第9課 “您去过北京吗？” (あなたは北京へ行ったことがありますか)	<p>表現パターンを増やすことを目的として、経験を表す“过”などの用法を学習する。</p> <p>そして“繞口令”(早口言葉)、言葉遊びのひとつである“字謎”(なぞなぞ)、漢詩などを楽しむ。</p>
	2	
	3 3学期の時数 20	

講 習	
評価方法	小テスト、試験、課題提出、授業態度など

第六学年

国 語

科目 : 現代文B

学年 : 6 年

履修 : 共 通

単位数 : 3
週当り時数 :

学習目標

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。

使用教材	・精選現代文B 改訂版（筑摩書房）・常用国語便覧（浜島書店）・改訂版古典速読トレーニング基礎（数研出版） ・読解評論文キーワード改訂版頻出270語&テーマ理解&読解演習54題（筑摩書房）・改訂版入試頻出漢字+現代文重要語彙TOP2500（いいずな書店）・センター試験国語過去問題平成24年～令和2年現代文編/古典編（※10月以降）センター試験過去問を個人で購入しないこと
------	--

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 舞姫 「自然を守る」ということ 物語としての自己	第二部 小説② 主人公の生き方の変化について、小説「こころ」や評論「『である』ことと『する』こと」などと比較しながら、近代における知識人のあり方について考える。 第二部 評論① 近代論・環境論・文化論など幅広い評論文を読む。
	5 中間調査までの時数 21	
	6 日本文化私観 ことばへの問い Not I, not I...	第二部 評論② 言語論・アイデンティティ論・文化人類学など幅広い分野の評論文を読む。 第二部 随想 文章の論旨や、考察の展開の過程を的確に把握し、それをもとに自身の考えを深める力を養う。
	7 1学期の時数 42	
二 学 期	9 貨幣共同体 寛容は自らを守るために不寛容に対して不寛容になるべきか リスク社会とその希望	第二部 評論④ 抽象的な表現や比喩から、筆者の思想や主張を読み取り、人間や社会を読み解くための普遍的な概念を導く論法を学ぶ。 人と人の関係における根源的な倫理や、現代と近代とを分かち本質的な変化について触れた文章を読んで、筆者の問題意識を自分自身のものとして考察を深める。
	10 中間調査までの時数 24	
	11 センター試験国語過去問題集を使用し、センター試験の本試験を解答、解説していく。	現代文、古典、の本試験を全て授業内で解答、解説していく。
	12 2学期の時数 45	
三 学 期	1 大学入試問題演習	センター後の特別講習で実施する。
	2 後期日程試験個別講習	後期日程受験に向け、希望者に過去問読解講習を行う。 前期日程終了後に申し込むこと。
	3 3学期の時数 30	※学習単元に設定された授業時数は単位数から計算されたものである ので、実際には-1を目安に進度の見当をつけてください。

講 習	長期休業中の講習をレベル別に実施する。
評価方法	定期調査を中心に、小テスト、提出物などを勘案して総合的に判断する。

国 語

科目 : 古典B

学年 : 6 年

履修 : 選 択

単位数 : 4
週当り時数

学習目標

○古典に触れることにより、古代からの日本の文化に触れ、昔の人々の生活を想像することにより、日本固有の文化や伝統について考察を深める。
○文法・古語・文学史に関する基礎力を完成し、古文の読解力を高め、大学入試に対応できる力を培う。
○日本語の基礎と言い得る漢文を学ぶことにより、言語への興味・関心を伸長、ひいては高度な教養へとつなげる。
○教養としてのみならず、入試への応用も可能な力を培う。

使用教材	・「高等学校古典B〔改定版〕古文編・漢文編」（三省堂）・「必携古典文法」（明治書院）・「必携新明説漢文」（尚文出版）・「三訂版古文単語330」（いづな書店）・「常用国語便覧」（浜島書店）・「基礎が身につく古典 レベル3」（Z会編集部）・「センター試験国語過去問題平成24年～令和2年」（尚文出版※10月以降）
------	--

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 随筆 「枕草子」 日記 「蜻蛉日記」 「和泉式部日記」 「紫式部日記」 小説 「人面桃花」 小話 「孟母断機」	○一年間を俯瞰し、より具体的なイメージをつかみ、今現在自らの行うべきことを把握する。 ○基本的な文学史の確認を行う。 ○夏季休業前に自身の弱点を認識できるように努める。
	5 中間調査までの時数 28	古文 ○文を細かく分析し、文法事項等を確認しつつ、弱点を把握する。 ○難解な文章を読解する方法を身につける。
	6 物語 「源氏物語」 史伝 三国志の世界	漢文 ○短い文章から入り、句法を確認しながら内容を大掴みする力をつける。 ○長文を音読することにより、漢文の流れ、読み癖に慣れ、本文の中での句法を体得していく。
	7 1学期の時数 56 物語 「源氏物語」	
二 学 期	9 物語 「源氏物語」 史伝 「史記」	○5年に続き『源氏物語』を読むことにより、文法事項その他の定着、確認を行いつつ、難解な文章を読む力をつける。 ○弱点を確実に補強するべく、基本事項習得の徹底を図る。
	10 中間調査までの時数 32	○漢文においては、基本的な句法を繰り返すことにより定着を図る。
	11 物語 「源氏物語」 「大鏡」 史伝 「史記」 センター試験国語過去問題集	○二学期からは読解スピードを上げる。そのため、細かな文法事項はこの時点までに習得することを目標とし、予習の段階で確認しておく。 ○解説は要点のみで、一読で概略を把握する練習を行う。最後まで予習の重要性を認識しながら進む。
	12 60 センター試験国語過去問題集	
三 学 期	1 入試問題を中心とした演習 センター試験国語過去問題集 私立大学、国公立大学記述対応	入試問題演習
	2	
	3 3学期の時数 40 私立大学、国公立大学記述対応	

講 習	長期休業中の講習をレベル別を実施する。
評価方法	定期調査を中心に、小テスト、提出物などを勘案して総合的に判断する。

地 歴

科目 : 地理B
 学年 : 6年
 履修 : 選択
 単位数 : 2
 週当り時数 :

学習目標

系統地理と地誌全般にわたる学習を進め理解を深めることによって、地理的見方・考え方の力を身につける。いくつかの地域を地誌的にとらえ、地理的事象を総合的に理解する。大学入試問題を通じて、実践的な力を養う。共通テスト対策を進め、大学入試問題にも対応できる総合力を養う。

使用教材	帝国書院『新詳地理B』 帝国書院『新詳高等地図』 帝国書院『世界の諸地域complete2019』『地理統計2021年版』
------	---

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 資源と産業 (世界のエネルギー・鉱産資源) (資源・エネルギー問題) (世界の工業) (第3次産業) (世界を結ぶ交通・通信)	以下の事項について、大学入試を強く意識し学習する。 エネルギー資源の利用と分布・鉱産資源の分布 現代世界の資源・エネルギー問題 世界と日本の資源・エネルギー問題 工業の発達と立地・世界の工業地域 現代世界の工業の現状と課題 日本の工業 第3次産業の発展・世界の観光業 世界の交通網・情報と通信 現代世界の貿易の現状と課題・日本の貿易の現状と課題 世界の人口問題 発展途上国・先進国の人口問題 日本の人口問題
	5 中間調査までの時数 14	
	6 資源と産業 (現代世界の貿易と経済圏) 人口・村落・都市 (世界の人口) (人口問題)	
	7 1学期の時数 28	
二 学 期	9 人口・村落・都市 (村落と都市) (都市・居住問題) 生活文化・民族・宗教 世界地誌 (アジア) (アフリカ)	以下の事項について、大学入試を強く意識し学習する。 集落の成り立ち・村落の形態と機能 都市の機能と生活・日本の都市 世界と日本の都市・居住問題 生活文化の地域的差異と世界的な画一化 日本の生活分化 世界の民族・言語・宗教 世界の民族・領土問題と課題 東・東南・南・西・中央アジア地誌 アフリカ地誌 ヨーロッパ地誌 ロシア地誌 アングロアメリカ地誌 ラテンアメリカ地誌 オセアニア地誌
	10 中間調査までの時数 16	
	11 世界地誌 (ヨーロッパ) (ロシア) (南北アメリカ) (オセアニア) 問題演習	
	12 2学期の時数 30	
三 学 期	1 系統地理のまとめ 地誌のまとめ	大学入試の演習や過去問題に取り組む。
	2	
	3 3学期の時数 20	

講習	長期休業期間を利用して生徒のニーズに応じた講座を開設し、より実践力を高めるための講習を行う。
----	--

評価方法	地理に関する基本的な知識・技術が習得できたか、その上で地理的な見方・考え方が身に付いたかが評価の主な観点となる。具体的な方法としては、定期考査が評価の柱となる。その他に普段の授業の平常点、課題などが評価の対象となる。
------	--

地 歴

科目 : 世界史B

学年 : 6 年

履修 : 選 択

単位数 : 4
週当り時数 :

学習目標

近現代史を中心として世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら詳しく理解させ、進路実現を可能にする思考力・表現力を養う。

使用教材	教科書：『詳説世界史B』山川出版社 副教材：『タペストリー世界史』帝国出版 『詳説世界史B10分間テスト』山川出版社，『東書の世界史B入試対策問題集』東京書籍
------	---

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 1. 近世ヨーロッパ世界の形成 2. 近世ヨーロッパ世界の展開 3. 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	①ヨーロッパ世界の拡大、②ルネサンス、③宗教改革、④ヨーロッパ諸国の抗争と主権国家体制の形成、⑤重商主義と啓蒙専制主義、⑥ヨーロッパ諸国の海外進出、⑦17～18世紀のヨーロッパの文化と社会、⑧産業革命、⑨アメリカ独立革命、⑩フランス革命とナポレオン
	5 中間調査までの時数 28 4. 欧米における近代国民国家の発展 5. アジア諸地域の動揺 6. 帝国主義とアジアの民族運動	
	6 1 学期の時数 56 7. 帝国主義とアジアの民族運動	①ウィーン体制の成立、②ヨーロッパの再編と新統一国家の誕生、③南北アメリカの発展、④19世紀欧米の文化、⑤オスマン帝国支配の動揺と西アジア地域の変容、⑥南アジア・東南アジアの植民地化、⑦東アジアの激動、⑧帝国主義と列強の展開、⑨世界分割と列強対立、⑩アジア諸国の改革と民族運動
	7	
二 学 期	9 7. 二つの世界大戦 8. 冷戦と第三世界の独立	①第一次世界大戦とロシア革命、②ヴェルサイユ体制下の欧米諸国、③アジア・アフリカ地域の民族運動、④世界恐慌とファシズム諸国の侵略、⑤第二次世界大戦、⑥戦後世界秩序の形成とアジア諸地域の独立、⑦米ソ冷戦の激化と西欧・日本の経済復興、⑧第三世界の台頭と米・ソの歩み寄り、⑨石油危機と世界経済の再編
	10 中間調査までの時数 32 9. 現在の世界 【テーマ史・各国史演習】	
	11 2 学期の時数 60 【テーマ史・各国史演習】	①社会主義世界の変容とグローバリゼーションの進展、②途上国の民主化と独裁政権の動揺、③地域紛争の激化と深刻化する貧困、④現代文明の諸特徴 テーマ史・各国史演習
	12	
三 学 期	1 【テーマ史・各国史演習】	テーマ史・各国史演習
	2	
	3 3 学期の時数 40	

講 習	放課後と長期休業中に、授業のブラッシュアップや論述問題演習等を実施する。
-----	--------------------------------------

評価方法	定期考査、小テストや課題を総合的に評価する。
------	------------------------

地 歴

科目 : 世界史B演習

学年 : 6 年

履修 : 選 択

単位数 :
週当り時数 :

2

学習目標

世界史Bで受験する上で必要な学力を涵養し、深い洞察力を持つとともに、試験問題で知識・理解を問われることに慣れる。①4年次に実施した教科書p200まで(先史から中世末)の通史的理解を前提に、難関大レベルの問題演習を通じて深い理解を得る。②徹底したセンター対策により、いかなる出題でも80点以上の得点を可能にする。

使用教材	教科書：『詳説世界史B』（山川出版社） 副教材：『詳説世界史10分間テスト』（山川出版社） 『東書の世界史B入試問題集』（山川出版社）
------	---

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 1 オリエント世界と東地中海世界 2 地中海世界と西アジア 3 南アジア世界 4 東アジア世界	『東書の世界史B入試問題集』（山川出版社）を平均毎時4ページで進む超高速演習授業。予習は必須。①②・・・は1学期何回目の授業かを示す。【 】は同問題集の演習番号。4月：①効果測定テスト・【1】～【4】、②効果測定テスト解説・【5】～【7】③【8】～【12】、／5月：④【13】～【18】、⑤【19】～【23】、／6月：⑥【24】～【29】、⑦【30】～【35】、／夏期講習：⑧【36】～【42】、⑨【43】～【48】、⑩【49】～【55】、⑪【56】～【62】
	5 5 内陸ユーラシア世界 6 東南アジア世界 中間調査までの時数 14	
	6 7 古アメリカ世界章 8 イスラーム世界の形成 9 ヨーロッパ世界の形成 10 東アジア世界の変容とモンゴル帝国 11 海域世界の発展 12 ユーラシア諸帝国の繁栄 13 大交易時代	
	7 1学期の時数 28	
二 学 期	9 14 近世のヨーロッパ 15 欧米における工業化と国民国家の形成 16 産業資本主義の発展と帝国主義 17 アジア諸地域の変革運動 18 世界戦争の時代	①②・・・は2学期何回目の授業かを示す。【 】は同問題集の演習番号。9月：①【63】～【69】、②【70】～【75】、③【76】～【83】、／10月：④【84】～【90】、⑤【91】～【97】、⑥【98】～【106】。11月以降はセンター対策演習である。過去10年分以上の過去問を実際に解き、正答率60%以下の問題を解説、更に演習。⑦／11月：センター演習：⑧【2008～12過去問演習】、⑨【2013～17過去問演習】、⑩【2008～2012の低正答率問題の解法解説】、⑪【再試・追試問題5年分演習】／12月：センター演習⑫【再試・追試難問解説】⑬【効果測定テスト】／冬期講習は一般演習に戻る。⑭【107】～【114】、⑮【115】～【121】、⑯【122】～【127】、⑰【128】～【134】、
	10 19 国民国家体制と東西の対立 [11月以降はセンター演習] 中間調査までの時数 16	
	11	
	12 2学期の時数 30	
三 学 期	1 20 経済のグローバル化と新たな地域秩序	①②・・・は3学期何回目の授業かを示す。【 】は同問題集の演習番号。1月はセンター対策仕上げ①【直前解法解説1】、②【直前解法解説2】。センター試験後に通常演習に戻る。③【135】～【139】、④【140】～【148】。⑤【149】～【155】以下、在籍生の要望に応じて「横断史」と「特設」演習を行う。
	2	
	3 3学期の時数 20	

講 習	春期講習、夏期講習は全員が出席すること。
評価方法	定期考査と提出物を総合して評価する。なお成績と欠時は4単位の世界史と合算される。

地 歴

科目 : 日本史B

学習目標

学年 : 6 年

履修 : 選 択

単位数 : 4
週当たり時数

江戸時代中期以降を中心として、日本の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けながら詳しく理解させ、進路実現を可能にする思考力・表現力を養う。

使用教材	教科書：『詳説日本史B』山川出版社 副教材：『新詳日本史』浜島書店、『よくでる日本史B 一問一答』山川出版社 『詳録日本史史料集成』第一学習社
------	---

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 幕政の改革 幕府の衰退と近代への道 開国と幕末の動乱	<ul style="list-style-type: none"> 幕藩体制の仕組みを理解し、そのもとで展開した政策について理解する。また、幕藩体制を安定させるためにとられた政策などについてその内容と結果を理解する。町人文化の発展とその具体的内容を知り、社会の変化をとらえる。 近代日本の目標を理解し、個別の事象を総合的に理解する。また、近代の対外戦争の原因とその結果や影響を学ぶ。
	5 中間調査までの時数 28	
	6 明治維新と富国強兵 立憲国家の成立と日清戦争 日露戦争と国際関係	
	7 1学期の時数 56 近代産業の発展	
二 学 期	9 第一次世界大戦と日本 ワシントン体制 市民生活の変容と大衆文化 恐慌の時代・軍部の台頭 第二次世界大戦	<ul style="list-style-type: none"> 大正時代の自由主義、民主主義的風潮の原因とその限界について学ぶ。 協調外交からの変化と世界経済の状況を複合的に理解し、日本の置かれた状況の特徴を捉える。 第二次世界大戦後の日本社会の変化を捉え、国際関係の枠組みの中で日本が歩んできた道を理解する。 近代経済の時代ごとの局面を整理する。
	10 中間調査までの時数 32	
	11 占領と改革 冷戦の開始と講和・55年体制 経済復興から高度成長へ 経済大国への道 冷戦終結と日本社会の動揺	
	12 2学期の時数 60 テーマ史	
三 学 期	1 テーマ史	
	2	
	3 3学期の時数 40	

講 習	昼休みや放課後に概観、文化史の補講 長期休暇中にテーマ別（外交史・経済史 など）補講
-----	---

評価方法	定期調査、提出物等
------	-----------

地 歴

科目 : 日本史B演習

学年 : 6 年

履修 : 選 択

単位数 : 2
週当り時数 :

学習目標

進路実現を目的に、問題演習を通して各種問題に対応できる力を養成する。

使用教材	教科書：『詳説日本史B』（山川出版社） 副教材：『日本史問題集』（山川出版社）『日本史B一問一答』（山川出版社） 『詳録新日本史史料集成』（第一学習社）『新詳日本史』（浜島書店）
------	---

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 原始・古代	1. 先土器・縄文・弥生文化 2. 国家の成立 4. 氏姓制度と推古朝の政治 7. 律令制度 11. 摂関政治 12. 荘園制の展開
	5 中間検査までの時数 14 中世	15. 院政と武士の台頭 2. 承久の乱と執権政治 6. 鎌倉時代の産業と経済 7. 蒙古襲来と御家人社会の変質 9. 室町幕府の成立と推移 10. 日明貿易と周辺との交流 11. 郷村制の成立と都市の発達
	6 1学期の時数 28 中世	13. 中世の一揆 15. 戦国大名
	7	
二 学 期	9 近世	2. 織田・豊臣政権 5. 江戸幕府の成立 6. 初期の外交と鎖国 7. 農村と農民統制 10. 商品・貨幣経済の発達 14. 享保の改革
	10 中間検査までの時数 16 近・現代史	15. 田沼の政治と寛政の改革 17. 天保の改革と諸藩の改革 3. 近代産業の育成 5. 自由民権運動 6. 大日本帝国憲法 9. 日清・日露戦争 10. 資本主義の発展 11. 近代の労働問題
	11 2学期の時数 30 共通テスト直前対策	15. 大正期の政治 17. 大正デモクラシー
	12	
三 学 期	1 共通テスト直前対策 国公立二次・私大対策	共通テスト直前対策 国公立二次・私大対策
	2	
	3 3学期の時数 20	

講 習	夏期講習、冬期講習も問題演習を行う。
-----	--------------------

評価方法	日本史Bの定期考査と提出物を総合して評価する。
------	-------------------------

公 民

科目 : 政治・経済

学年 : 6 年

履修 : 共 通

単位数 : 2
週当り時数

学習目標

1) 広い視野に立って、民主政治の本質を理解することにより、将来の有為な有権者になるとともに、公正な政治的判断のできる公民的資質を養う。
2) 将来の消費者・生活者・労働者として必要な知識を身につけるとともに、自身の日常生活を論理的にとらえようとする能力と態度を育てる。

使用教材	実教出版 「高校政治・経済」 第一学習社 「最新政治・経済資料集」
------	--------------------------------------

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 第2編 第1章 経済社会の変容 第2章 現代経済のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> ・戦後日本経済の流れを理論的に理解する。 ・現代経済の諸問題をそれらの背景とともに政策の変化を理解する。 ・少子高齢化と社会保障の関係について考える。 ・国際経済の理論と現実を理解する。 ・政治分野と経済分野をふまえて現代社会の諸課題を考察する。
	5 中間調査までの時数 14	
	6 第3章 現代経済と福祉の向上 第4章 世界経済と日本	
	7 1学期の時数 28	
二 学 期	9 第1編 第1章 民主政治の基本原則 第2章 日本国憲法の基本的性格 第3章 日本の政治機構	<ul style="list-style-type: none"> ・市民革命を正当化した社会契約説の背景を理解し、人権や国家観の変化を捉える。 ・明治憲法と日本国憲法の基本的な違いを理解する。 ・基本的人権の基本的論理と代表的判例を理解する。 ・三権分立の仕組みについて理解する。 ・地方自治の仕組みと課題を理解する。 ・戦後政治の流れを理解し、現在の政党政治や行政機構の課題などを理解する。 ・平和主義の理想と安全保障の論理について理解する。 ・国際政治の考え方、国際機構、戦後国際関係史を理解する。
	10 中間調査までの時数 16	
	11 第4章 現代日本の政治 第5章 現代の国際政治 第3編 現代の諸課題	
	12 2学期の時数 30 共通テスト対策問題演習	
三 学 期	1 共通テスト対策問題演習	
	2	
	3 3学期の時数 20	

講 習	長期休業中あるいはオンラインにおいて適宜実施する。
評価方法	定期考査、提出物、出欠席、授業態度を総合的に評価する。

公 民

科目 : 倫理
 学年 : 6 年
 履修 : 自由選択
 単位数 : 2
 週当り時数 :

学習目標

必修授業で触れられない分野の学習、全分野の問題演習を行い、最終的には大学共通テストや国立大学の二次試験に対応できる学力を身につける。

使用教材	・高校倫理（実教出版）・詳解倫理資料 新訂版（実教出版）・倫理用語集（山川出版） ・ベストセレクション 大学共通テスト 2021 倫理重要問題集（実教出版）
------	---

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 第2編 現代と倫理 第2章 現代の諸課題と倫理 第1節 生命の倫理 から 第7節 国際平和と人類の福祉の課題 まで	※復習※ 第2編 現代と倫理 第2章 現代の諸課題と倫理 第1節 生命の倫理 第2節 環境の倫理 第3節 家族の課題 第4節 地域社会の課題 第5節 行動情報化社会の課題 第6節 文化と宗教の課題 第7節 国際平和と人類の福祉の課題
	5 中間調査までの時数 14	
	6 第1編 青年期の課題と人間の課題 第1章 青年期の課題と自己形成 から 第2章 人間としての自覚 まで	第1編 青年期の課題と人間の自覚 第1章 青年期の課題と自己形成 第1節 青年期の意義 第2節 青年期の課題 第2章 人間としての自覚 第1節 ギリシア思想 第2節 キリスト教 第3節 イスラーム 第4節 仏教 第5節 中国思想 第6節 芸術と人生
	7 1学期の時数 28	
二 学 期	9 第3章 日本人としての自覚 から 第2編 現代と倫理 第1章 現代に生きる人間の倫理 まで	※復習 第3章 日本人としての自覚 第1節 古代日本人の思想 第2節 日本の仏教思想 第3節 近世日本の思想 第4節 西洋思想の受容と展開
	10 中間調査までの時数 16	
	11	第2編 現代と倫理 第1章 現代に生きる人間の倫理 第1節 人間の尊厳 第2節 科学・技術と人間 第3節 民主社会と自由の実現 第4節 社会と個人 第5節 人間への新たな問い 第6節 社会参加と幸福
	12 2学期の時数 30	総合問題演習
三 学 期	1	総合問題演習
	2	
	3 3学期の時数 20	

講 習	長期休業・放課後共に、必要に応じて適宜実施する。
評価方法	考查の結果を中心とする。

数 学

科目 : 数学 I A 演習

学年 : 6 年

履修 : 選 択

単位数 : 2
週当り時数

学習目標

数学 I および数学 A の全範囲を学習する。基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確に活用する能力を伸ばすと共に、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。

使用教材	ベーシックスタイル 数学演習 I・A 受験編 (数研出版)
------	-------------------------------

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 第1章 数と式 第2章 2次関数	整式の展開および因数分解について復習し、理解を深める。実数の分類について理解し、無理数の計算について学習する。方程式、不等式について復習し、絶対値を含む方程式の解法も理解する。集合の考え方と命題の真偽について復習し、必要条件・十分条件の判定ができるようにする。
	5 中間検査までの時数 14	2次関数のグラフと2次方程式・不等式について復習し、関数の値の変化、最大値、最小値の求め方、2次不等式の解き方を確認する。
	6 第3章 図形と計量 第4章 データの分析	三角比に関するさまざまな公式について復習し、図形における線分の長さ、角の大きさ、面積、体積の計算ができるようにする。
	7 1学期の時数 28	データの分析に関するさまざまな統計量の求め方を復習し、箱ひげ図や散布図の見方がわかるようにする。
二 学 期	9 第5章 場合の数 第6章 図形の性質	樹形図、辞書式の順列など、基本的な考え方を身につけさせる。確率については、まず代表的な問題で一般的な手順を理解させる。その後、入試問題を含む演習を行う。
	10 中間検査までの時数 16	平面図形について復習をする。三角比と関連した問題についても取り扱う。
	11 第7章 整数の性質 I・Aのまとめ 共通テスト数 I A 対策演習	整数の性質について復習をする。約数・倍数、互除法、1次不定方程式、n進法を理解する。
	12 2学期の時数 30	共通テストレベルの問題を利用し、学習内容の総復習をする。共通テストと同じ問題構成で演習し、本番の試験で結果を残すための実践的な力を身につける。
三 学 期	1	
	2	
	3 3学期の時数 20	

講 習	長期休業中 共通テスト対策の問題演習と解説を行う。
評価方法	定期考査ならびに定期考査相当の規模の試験と、小テストや自宅学習課題等の平常点を総合して評価する。

数 学

科目 : 数学ⅡB演習

学年 : 6 年

履修 : 選 択

単位数 : 2
週当り時数 :

学習目標

数学ⅠAⅡBの全範囲を学習する。知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用する態度を養う。

使用教材	クリアー数学演習 数学Ⅰ・Ⅱ・A・B (数研出版) ニュースタンダード数学演習Ⅰ・A+Ⅱ・B (数研出版)
------	--

月	学 習 単 元		学 習 事 項 等	
一 学 期	4	【記述試験対策】 (クリアー)	【共通テスト対策】 (スタンダード)	1 式の計算 2 恒等式・割り算の問題 3 方程式・不等式の解法 4 関数とグラフ 5 最大・最小 6 2次方程式の理論 7 種々の方程式の問題 8 不等式の種々の問題 9 式の値, 二項定理 10 等式, 不等式の証明 11 集合と論証 12, 13 整数の性質 14 整数と方程式 15 場合の数, 確率 16 組合せ 17, 18 確率 19, 20 図形の性質 21 点と直線 22 曲線と直線 23 軌跡 24 領域 25 図形と式の種々の問題 26 三角比と三角形 27 図形と計量 28, 29 三角関数 30 指数・対数の計算 31 指数・対数の種々の問題 32 導関数, 接線 33 関数の増減・極値 34 最大・最小 (微分法) 35 方程式・不等式への応用 36 積分の計算 37 定積分で表された関数 38, 39 面積 40 ベクトル 41 内積 42 ベクトルと平面図形 43 ベクトルと空間図形 44 等差数列・等比数列 45 種々の数列 46 漸化式と数列 47 数学的帰納法 48 数列の応用問題 49 データの分析
		数学ⅠAⅡBの 演習・解説	数学ⅠAⅡBの 演習・解説	
	5	中間考査までの時数 14		
		数学ⅠAⅡBの 演習・解説	数学ⅠAⅡBの 演習・解説	
	6			
7	1学期の時数 28			
二 学 期	9	数学ⅠAⅡBの 演習・解説	数学ⅠAⅡBの 演習・解説	
		中間考査までの時数 16		
	10	数学ⅠAⅡBの 演習・解説	共通テスト対策の 実戦演習・解説	
		2学期の時数 30		
	11			
12	大学入試演習	共通テスト対策演習		
三 学 期	1			
	2			
	3学期の時数 20		大学入試演習	共通テスト対策演習
	3			

講 習	放課後講習や長期休業中の講習で、大学入試問題演習ならびに共通テスト対策演習を実施する。
評価方法	定期考査ならびに定期考査相当の規模の試験と、小テストや自宅学習課題等の平常点を総合して評価する。

数 学

科目 : 数学Ⅲ
 学年 : 6 年
 履修 : 選 択
 単位数 : 6
 週当り時数 :

学習目標

知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用する態度を養う。

使用教材	数学Ⅲ (数研出版), 4STEP 数学Ⅲ (数研出版), クリアー数学演習 数学Ⅲ (数研出版) クリアー数学演習 数学Ⅰ・Ⅱ・A・B (数研出版)
------	--

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	第7章 積分法 第8章 積分法的应用	(クリアー数ⅠAⅡB) Ⅰ 数と式 Ⅱ 関数と方程式・不等式 Ⅲ 式と証明
	中間調査までの時数	42
	第2章 式と曲線	Ⅳ 整数の性質 Ⅴ 場合の数, 確率 Ⅵ 図形の性質
	1 学期の時数	84
7	第1章 複素数平面	
二 学 期	(クリアー数ⅠAⅡB) (クリアー数Ⅲ) 総合演習	
	中間調査までの時数	48
	(クリアー数ⅠAⅡB) (クリアー数Ⅲ) 総合演習	
	2 学期の時数	90
12	大学入試演習	
三 学 期	大学入試演習	
	1	
	2	
3	3 学期の時数	60

講 習	放課後講習や長期休業中の講習で、大学入試問題演習を実施する。
評価方法	定期考査ならびに定期考査相当の規模の試験と、小テストや自宅学習課題等の平常点を総合して評価する。

理 科

科目 : 物 理
 学年 : 6 年
 履修 : 選 択
 単位数 : 6
 週当り時数 :

学習目標

物理の普遍性を学び、日常生活や社会との関連を図りながら、自然や自然現象への関心を高める。目的意識をもって観察、実験などを行い、物理基礎の内容をさらに発展させ探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。

使用教材	改訂版 物理 (数研出版) 2020 セミナー物理基礎・物理 (第一学習社) 2021 物理重要問題集 (数研出版)
------	--

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 1. 波動 光 2. 運動量保存則 力積と運動量 運動量保存則 重心 3. 円運動と単振動 円運動、慣性力 単振動、単振動の方程式	<p>力学については、まずは教科書の内容をしっかりと理解することを目標に進めていくことが肝心である。その上で、さらに深く、数学と関わりながら基本的な取り扱い方を学ぶ。さらに難関大学にも対応した応用力を同時に身につける。</p> <p>表面的な公式だけの理解にとどまることなく、普遍的な物理学の体系としてさらに奥深く追求していく力を養う。そのための数学的な基礎力も必要に応じて学んでいく。</p> <p>熱現象については熱力学の法則として十分な基礎力を培い、熱効率、断熱過程のポアソンの式などについても詳しく触れる。波動現象と共に力学だけではない物理の広範囲な体系を学び、多面的なつながりと作用を学ぶ。場合によっては微分、積分などの数学的な基礎も学びながら物理学の本質を追求する基礎的な知識、追求する力を養う。</p> <p>電気に関しては、電場という「場」の概念が新たに出てくる。これを、力学の「力」の概念を通して理解を深めていく。同様に、電位は「エネルギー」の概念と対応付けて学んでいく。電気現象を学ぶことで、力学の理解も同時に深めていくことができる。</p>
	5 中間調査までの時数 42	
	6 4. 万有引力 ケプラーの三法則、万有引力と位置エネルギー 5. 熱力学 理想気体の状態方程式、気体分子運動論 定積・定圧・等温・断熱変化、ポアソンの式 熱サイクル 熱効率 6. 電気 クーロン力 電場と電位 コンデンサー	
	7 1 学期の時数 84 6. 電場 電流、直流回路	
二 学 期	9 7. 磁場 磁場と磁化、磁束密度 電流のつくる磁場 電磁力、ローレンツ力 ファラデーの電磁誘導の法則 自己誘導と相互誘導	<p>物理学の2つ目の柱になる電磁気学の基礎を学ぶ。教科書的な知識にとどまることなく、電磁気の持っている対称性や保存法則を視覚的にも捕らえながらしっかりと学習する。</p> <p>電氣的な現象を測定、記録、解析する力も実際の機器を用いて養う。</p> <p>電磁気の様々な法則のつながりを学び、力学とも関連付けることで物理学の全体像を形作っていく。</p> <p>核理論や量子論を学ぶにはさらに多くの知識や、数学的な力が必要になる。しかし、ここでは基礎的な内容のみをしっかりと押さえ、理論の奥深さに触れて、受験に対応できるようにする。</p> <p>教科書の内容を終えたら、過去の入試問題に取り組み、総合力・実践力を養っていく。</p>
	10 中間調査までの時数 48 交流回路	
	11 8. 原子核、現代物理 電子の発見、光の粒子性 X線、粒子の波動性 原子の構造とエネルギー準位 核反応と核エネルギー 総合問題演習	
	12 2 学期の時数 90 総合問題演習	
三 学 期	1 共通テスト対策演習 総合問題演習	<p>共通テスト前は、共通テスト対策の問題演習を行う。</p> <p>共通テスト後は、国公立二次・私大対策の問題演習を行う。</p>
	2	
	3 3 学期の時数 60	

講 習	夏季休業中：熱力学講習、冬季：共通テスト対策と記述式試験対策の復習・問題演習の講習
評価方法	何があってもとことんやりきる姿勢があるかどうか。 セミナー、重問等の問題集をやりきる力があるか。 実験プリント、定期テスト以外に実力テストも実施する予定。

理 科

科目 : 化学

学年 : 6 年

履修 : 選択

単位数 : 4
週当り時数

学習目標

化学的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。
学習後は、問題演習等を通して大学受験に対応できる力を育成する。

使用教材	化学（実教出版），化学図説 サイエンスビュー（実教出版），セミナー 化学基礎・化学（第一学習社），化学重要問題集 化学基礎・化学（数研出版），センター試験実戦問題パックⅤ化学（駿台文庫），チェック&演習・化学（数研出版）
------	--

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 第2章 物質の状態と平衡 3節 反応の速さとしくみ から 4節 化学平衡 まで	第2章 物質の変化と平衡 3節 反応の速さとしくみ 4節 化学平衡 第4章 有機化合物
	5 中間考査までの時数 28	1節 有機化合物の特徴と分類 2節 脂肪族炭化水素
	6 第4章 有機化合物 1節 有機化合物の特徴と分類 から 5節 有機化合物と人間生活 まで	3節 酸素を含む脂肪族化合物 4節 芳香族化合物 5節 有機化合物と人間生活
	7 1学期の時数 56	
二 学 期	9 第5章 高分子化合物 1節 高分子化合物 から 4節 高分子化合物と人間生活 まで	第5章 高分子化合物 1節 高分子化合物 2節 天然高分子化合物 3節 合成高分子化合物 4節 高分子化合物と人間生活
	10 中間考査までの時数 32	総合演習 ・化学基礎，化学復習 ・共通テスト対策
	11 総合演習 ・共通テスト対策	
	12 2学期の時数 60	
三 学 期	1 総合演習 ・共通テスト対策 ・国公立二次試験問題演習	総合演習 ・共通テスト対策 ・国公立二次試験問題演習
	2	
	3 3学期の時数 40	

講 習	夏期講習（入試問題演習），冬期講習（共通テスト対策）
評価方法	定期考査の得点，実験レポート，ノートやワークシート，小テスト等で評価する。

理 科

科目 : 化学基礎

学年 : 6 年

履修 : 選 択

単位数 : 2
週当り時数 :

学習目標

科学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。4年で学習した化学基礎を復習しながら、問題演習を通して共通テストに対応できる学力を育成する。

使用教材	化学基礎 (実教出版) 化学図説 サイエンスビュー (実教出版) アクセスノート (実教出版) チェック&演習・化学基礎 (数研出版) センター試験実戦問題バックV化学基礎 (駿台文庫)
------	---

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	第1章物質の構成 1節 物質の種類と性質 ・物質の種類と性質 ・物質と元素 ・物質の三態と熱運動 2節 物質の構成粒子 ・原子の構造 ・電子配置と周期表	第1章 物質の構成 1節 物質の種類と性質 1 物質の種類と性質 2 物質と元素 3 物質の三態と熱運動 2節 物質の構成粒子 1 原子の構造 2 電子配置と周期表
	中間調査までの時数 14	第2章 物質と化学結合 1節 イオンとイオン結合 1 イオンとイオン結晶 2 イオンの生成とエネルギー 3 電子親和力 4 イオンの価数とイオン式
	第2章 物質と化学結合 1節 イオンとイオン結合 2節 分子と共有結合 ・共有結合でできた物質 3節 金属と金属結合 ・金属結合でできた物質	2節 分子と共有結合 1 分子と共有結合 2 構造式と分子構造 3 分子の形 4 配位結合 5 共有結合でできた物質
	1学期の時数 28	3節 金属と金属結合 1 金属と金属結合 2 金属の結晶 3 身の回りの金属 4 金属の特徴 5 金属光沢 6 合金 7 金属の延性・展性
二 学 期	第3章物質の変化 1節 物質と化学反応式 ・原子量・分子量と式量 ・物質質量 ・溶液の濃度 2節 酸と塩基 ・酸と塩基 ・水素イオン濃度とpH	第3章 物質の変化 1節 物質と化学反応式 1 原子量・分子量・と式量 2 溶液の濃度 3 化学反応式と量的な関係 2節 酸と塩基 1 酸と塩基の性質 2 水素イオン濃度とpH 3 金属と金属結合 4 中和反応 5 塩 6 中和反応と滴定曲線
	中間調査までの時数 16	3節 酸化還元反応 1 酸化と還元 2 酸化剤・還元剤 3 酸化還元のおこりやすさ 4 身の周りの酸化還元反応
	第3章 物質の変化 2節 酸と塩基 ・中和反応 ・塩 ・中和滴定と滴定曲線 3節 酸化還元反応 ・酸化と還元 ・酸化剤・還元剤 ・酸化還元のおこりやすさ ・身の周りの酸化還元反応	3節 酸化還元反応 1 酸化と還元 2 酸化剤・還元剤 3 酸化還元のおこりやすさ 4 身の周りの酸化還元反応
	2学期の時数 30	
三 学 期	・共通テストに向けた総合問題演習	・共通テストを想定した、実践問題演習を行う。 ・化学基礎の教科書の総復習を徹底的に行う。
	3学期の時数 20	

講 習	夏期講習
評価方法	定期考査の得点, 実験レポート, ノートやワークシート, 小テスト等で評価する。

理 科

科目 : 生 物

学年 : 6 年

履修 : 選 択

単位数 : 6
週当り時数

学習目標

生物の共通性を学び、日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象への関心を高める。目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。

使用教材	生物（数研出版） 新生物図表（浜島書店） リードα生物基礎＋生物（数研出版） 共通テスト実戦問題バックV生物（駿台文庫）
------	---

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 第1章 細胞と分子 から 第2章 代謝 代謝とエネルギー まで	第1章 細胞と分子 生体の構成—個体・細胞・分子 タンパク質の構造と性質 酵素のはたらき 細胞の構造とはたらき 細胞の活動とタンパク質
	5 中間調査までの時数 42	第2章 代謝 代謝とエネルギー 呼吸と発酵 光合成 窒素同化
	6 第2章 代謝 呼吸と発酵 から 第3章 遺伝情報の発現 第4章 生殖と発生 まで	第3章 遺伝情報の発現 DNAの構造と複製 遺伝情報の発現 遺伝子の発現調節 バイオテクノロジー
	7 1学期の時数 84	第4章 生殖と発生 遺伝子と染色体 減数分裂と遺伝情報の分配 遺伝子の多様な組み合わせ 動物の配偶子形成と受精 初期発生の過程 細胞の分化と形態形成 植物の発生
二 学 期	9 第5章 動物の反応と行動 から 第6章 植物の環境応答 第7章 生物群集と生態系 まで	第5章 動物の反応と行動 ニューロンとその興奮 刺激の受容 情報の統合 刺激への反応 動物の行動
	10 中間調査までの時数 48	第6章 植物の環境応答 植物の反応 成長の調節 花芽形成と発芽の調節
	11 第8章 生命の起源と進化 から 第9章 生物の系統 まで	第7章 生物群集と生態系 個体群 個体群内の個体間の関係 異種個体群間の関係 生物群集 生態系における物質生産 生態系と生物多様性
	12 2学期の時数 90	第8章 生命の起源と進化 生命の起源 生物の変遷 進化のしくみ 第9章 生物の系統 生物の分類と系統 原核生物 原生生物 植物 動物 菌類
三 学 期	1	共通テスト演習
	2	総合問題演習
	3 3学期の時数 60	

講 習	夏期講習において、国公立二次試験で生物を受験する生徒対象の記述式試験対策の問題演習を希望制で行う。
評価方法	定期考査を80%、小テストや提出物等の平常点を20%の割合で総合して評価する。定期考査は60分で行う。30点以上、または平均点が60点未満の場合は平均点の半分以上を最低限の目標とする。小テストは各回100問程度で4回を予定している。

理 科

科目 : 生物基礎演習

学年 : 6 年

履修 : 選択

単位数
週当たり時数

2

学習目標

4学年で学んだ生物基礎の内容について、復習や問題演習を通じて、知識を定着させ活用できる力を身に付ける。生物の共通性ならびに日常生活や社会との関連をふまえた上で、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養い、生物や生物現象への関心を高める。

使用教材	生物基礎（数研出版） ニューステージ新生物図表（浜島書店） リードα生物基礎＋生物（数研出版） 大学入試共通テスト実戦問題パックV生物基礎（駿台文庫） チェック&演習生物基礎（数研出版）
------	---

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 第1章 生物の特徴 第2章 遺伝子とそのはたらき	第1章 生物の特徴 第1節 生物の多様性と共通性 第2節 エネルギーと代謝 第3節 光合成と呼吸
	5 中間調査までの時数 14 第2章 遺伝子とそのはたらき 第3章 生物の体内環境	第2章 遺伝子とそのはたらき 第1節 遺伝情報とDNA 第2節 遺伝情報の発現 第3節 遺伝情報の分配
	6	第3章 生物の体内環境 第1節 体液という体内環境 第2節 腎臓と肝臓
	7 1学期の時数 28	第3節 神経とホルモンによる調節 第4節 免疫
	二 学 期	9 第4章 植生の多様性と分布 第5章 生態系とそ保全
10 中間調査までの時数 16 総合問題演習 大学入試共通テスト演習		第5章 生態系とそ保全 第1節 生態系 第2節 物質循環とエネルギーの流れ 第3節 生態系のバランス 第4節 人間活動と生態系の保全
11		総合問題演習 大学入試共通テスト演習
12 2学期の時数 30		
三 学 期	1 総合問題演習 大学入試共通テスト演習	総合問題演習 大学入試共通テスト演習
	2	
	3 3学期の時数 20	

講 習	夏期講習において、共通テストで生物基礎を受験する生徒対象の共通テスト向け分野別問題演習を希望制で行う。
評価方法	提出物と定期考査の結果を総合して評価する。定期考査は、30点以上を最低限の目標とする。

保健体育

科目 : 体育
 学年 : 6 年
 履修 : 共 通
 単位数 : 3
 週当たり時数 :

学習目標

○運動の合理的・計画的な実践を通して、知識を深めることおよび技能を高めることで、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができる能力の育成
 ○自己の状況に応じて、体力の向上を図ることができる能力の育成
 ○公正・協力・責任・参画などに対する意欲の育成
 ○健康・安全を確保して生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力の育成

使用教材	ステップアップ高校スポーツ (大修館書店) 現代保健体育 改訂版 (大修館書店)
------	---

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 体づくり運動 体育理論および新体力テスト 種目選択Ⅰ ・ゴール型 ・ネット型 ・ベースボール型	<p>新体力テストを実施し、自己の課題を発見するとともに解決方法を考え、生活の中で実践する。また、生涯スポーツを見据え、自らの種目を選択する。その種目の学習において、作戦および状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めることで、ゲームを展開できるようにする。</p> <p>①ゴール型：状況に応じたボール操作を習得するとともに、空間的優位および人数的優位を作るような連携した動きによって、攻防を展開できるようにする。 ②ネット型：状況に応じたボール操作を習得するとともに、連携した動きによって空間を埋めたり空間を狙うなどの攻防を展開できるようにする。 ③ベースボール型：状況に応じたバット操作と安定したボール操作を習得するとともに、状況に応じた走塁や守備などによって攻防を展開できるようにする。</p>
	5 中間調査までの時数 21	
	6 種目選択Ⅱ ・ゴール型 ・ネット型 ・ベースボール型	
	7 1 学期の時数 42	
二 学 期	9 種目選択Ⅱ ・ゴール型 ・ネット型 ・ベースボール型	<p>主体的に取り組むとともに、フェアプレーを大切にしようとする事、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、健康・安全を確保することができるようにする。また、技術や戦術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解し、チームや自己の課題に応じた練習内容を工夫できるようにする。</p> <p>選択種目 (例) ・バレーボール ・サッカー ・バスケットボール ・ソフトボール ・テニス ・バドミントン ・アルティメット</p>
	10 中間調査までの時数 24	
	11 種目選択Ⅲ ・ゴール型 ・ネット型 ・ベースボール型	
	12 2 学期の時数 45	
三 学 期	1 体育理論 体づくり運動	<p>自らの健康の保持増進および調和のとれた体力のための運動計画を立て、取り組むことができるようにする。また、運動やスポーツの効果的な学習方法を習得する。これらのことを活用し、生涯にわたる豊かなスポーツライフの設計方法を自ら選択できるようにする。</p>
	2	
	3 3 学期の時数 30	

講 習	特になし
-----	------

評価方法	運動や健康・安全への関心及び意欲、態度【授業態度(忘れ物、服装、取り組む姿勢)、出欠状況、提出物 等】 運動や健康・安全についての思考・判断 (グループ学習、ノートやワークシートの内容、授業中の言動観察等) 運動の技能 (各単元におけるスキルテスト、技能の記録等) 運動や健康についての知識・理解【レポート内容など】
------	---

外国語

科目 : コミュニケーション英語Ⅲ

学年 : 6 年

履修 : 共 通

単位数 : 4
週当り時数 :

学習目標

- (1) 国際社会において相手の主張を捉え、自らの考えを英語を用いて的確に伝えることができる素地を完成させる。
 (2) 卒業時にCEFR-J B2-1, 英検準1級, TOEFLiBT 72程度の英語4技能を身につける。
 (3) 大学入学共通テスト目標点[筆記80以上, リスニング80以上]
 (4) 目標獲得語彙数5000語

使用教材	①MAINSTREAM ENGLISH COMMUNICATION Strategic Reading Focus AdvancedⅢ(増進堂)②MAINSTREAM ENGLISH COMMUNICATIONⅢ WORKBOOK ③Cutting Edge2020 BLUE(エミル出版) ④Make Your Ascent to Better English Reading (数研出版) ⑤共通テストドリル英語リーディング(Z会) ⑥共通テストドリル英語リスニング(Z会)
------	---

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 【Mainstream】 Skills 1~5 Chapter 3-5 【Cutting Edge2020 BLUE】 Chapter 9-12 *週一で共通テストのリーディングとリスニングの演習	Section 1において、様々なテーマの本文を速読、精読等を通じ、長文の読み方のスキルを習得する。 Chapter 3 Mona Lisa - The Way of Fame (文化) Chapter 4 Less than 0.08% (自然) Chapter 5 Life and Tax (社会) Chapter 6 A Lucky Plane Earth (科学)
	5 中間考査までの時数 28	Chapter 7 Expanding World Population (社会) Chapter 9 Theories about Dinosaur Extinction (自然)
	6 【Mainstream】 Chapter 6-10, Specialized Reading 【Cutting Edge2020 BLUE】 Chapter 13-16 *週一で共通テストのリーディングとリスニングの演習	Chapter 10 What Does the Tokyo Skytree Tell Us? (文化)
	7 1学期の時数 56 大学入試問題演習等	
二 学 期	9 【Mainstream】 Chapter 13-16 【Make Your Ascent】 Lesson1-12(夏季休業課題を含む)	Chapter 13 How Have Butterflies Survived? (自然) Chapter 14 Why Was Glass Not Made in China? (産業) Chapter 15 E-readers VS. Paper Books (科学) Chapter 16 Costa Rica (自然) Chapter 17 Fairtrade to Lift People out of Poverty Chapter 18 Vision, Work, iPS (科学)
	10 中間考査までの時数 32	
	11 【Mainstream】 Chapter 17-18 【Make Your Ascent】 13-18 ・国公立2次英文読解 ・難関私大入試長文演習	
	12 2学期の時数 60 共通テスト直前問題演習	
三 学 期	1 共通テスト直前演習	共通テスト予想問題集(リスニング・筆記)に時間をはかって取りくむ。
	2 大学入試演習	大学入試問題の過去問に、時間をはかって取り組む。
	3 3学期の時数 40	

講 習	長期休業中に、共通テスト対策講座、長文講座(難関国公立・早慶上智・私大)、英作文講座、文法講座、リスニング講座等開講予定。
評価方法	1. 考査素点80% 2. 平常点(授業態度、予習状況、小テスト、授業貢献度等)20%

外国語

科目 : 英語表現Ⅱ

学年 : 6年

履修 : 共通

単位数 : 2

週当り時数

学習目標

【発展クラス】 難関国公立2次に対応できる和文英訳・自由英作文が解けるだけの運用力・思考力、および共通テスト・難関私大の文法・語法問題に対応できる文法知識を養う。

【標準クラス】 平易な文を正確に発することができるだけの英文構成力、さらに共通テスト・私大入試の文法問題に対応できる文法力の養成。その後、国公立2次や私大の英作文問題を解けるだけのライティング力を身につける

使用教材	①Perspective English Expression II (第一学習者) ②入試必携英作文 Write to the Point (数研出版) ③CRITICAL POINT2 (エミル出版) ④Clues to Reading (数研出版)
------	---

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 【Perspective】 原因/結果、列挙/例示、比較/対象 【Write to the Point (和文英訳)】 Chapter 1-4 【Critical Point2】 First Stage chapter 4-7 【Clues to Reading】 Chapter 1-4 中間調査までの時数 14	【Perspective】 ALTとのチームティーチングで、英作文をその場で添削。パラグラフ・ライティングで原因/結果、列挙/例示、比較/対象、要約/言い換え/付加/強調の表現を学ぶ。 【Critical Point2】 First Stage chapter 1-12 文法項目別にセンター試験、私大頻出の文法項目をマスターする。 【Write to the Point】 「主語の決定」「目的の表現」「理由の表現」「時制」「動詞の語法」「関係詞」「時間の表現」「数字の表現」 ALTとのチームティーチングで和文英訳テキストの演習問題をライブ解説する。生徒は事前に問題を解き、授業では黒板に書いて、ALTからその場で添削を受ける。 【Clues to Reading】 「基本構造を見ぬく」「注意すべきthat」「注意すべきit」「関係代名詞は代名詞」「意味上の主語」「文末の分詞構文」
	5 【Perspective】 要約/言い換え/付加/強調 【Write to the Point (和文英訳)】 Chapter 5-8 【Critical Point2】 First Stage chapter 8-12 【Clues to Reading】 Chapter 5-8 1学期の時数 28	
	6 共通テスト演習	
	7 共通テスト演習	
二 学 期	9 【Write to the Point (和文英訳)】 Chapter 9-14 【Critical Point2】 Second Stage chapter 13-16 【Clues to Reading】 Chapter 9-12 中間調査までの時数 16	【Critical Point2】 Second Stage chapter 13-20 大学入試問題ランダム演習テキストの応用問題を解き、難関私大や国公立2次にも対応する文法力を身につける。 【Write to the Point】 「仮定」「条件」「比較」「譲歩」「重要表現」
	10 【Write to the Point (和文英訳)】 Chapter 15-18 【Critical Point2】 Second Stage chapter 17-20 【Clues to Reading】 Chapter 13-15 2学期の時数 30	入試頻出のテーマに沿って、和文英訳やエッセイライティングを行う。書いた英文はALTから添削を受ける。 【Clues to Reading】 「比較対象を見ぬく」「名詞構造を見ぬく」「倒置を見ぬく」「省略を見ぬく」「その他重要表現」
	11 共通テスト演習	
	12 共通テスト演習	
三 学 期	1 共通テスト演習 大学入試演習	(1) 共通テスト演習前特別講座 (2) 難関大英作文講座
	2	
	3 3学期の時数 20	

講 習	(1) 共通テスト演習 (筆記・リスニング) (2) 和文英訳講座 (3) 自由英作文講座 (4) 難関大対策講座
評価方法	考査素点80%、平常点20% (授業態度、予習状況、提出課題、小テスト、授業貢献度等)

外国語

科目 : Academic English

学習目標

学年 : 6 年

履修 : 選 択

単位数 : 2
週当り時数

This course aims to prepare students for the SAT, TOEFL, and other application requirements for universities overseas, but also for college-level studies in English. Students will read texts from a variety of genres, cultures, and time periods, and develop their ability to think critically and express opinions about what they read.

使用教材	<i>The Official SAT Study Guide</i> (CollegeBoard); <i>Official TOEFL iBT Tests</i> (ETS); <i>Othello</i> (William Shakespeare); <i>My Year of Meats</i> (Ruth Ozeki), articles as examples of literary criticism and investigative journalism
------	--

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
一 学 期	4 Reading: <i>Othello</i> by William Shakespeare Writing assignment: rewriting a passage of the play in modern English	Developing reading strategies for unfamiliar styles of English, continuing to practice comparing reading passages from different genres, practicing analyzing reading passages in detail
	5 中間調査までの時数 14	
	6 Reading: articles on <i>Othello</i> from the British Library, articles on slavery and race from The 1619 Project by <i>The New York Times</i> Essay assignment: comparison essay on race in <i>Othello</i> vs. modern ideas of race	
	1学期の時数 28	
	7 Analytical essay on the issue of moral responsibility in the play	
二 学 期	9 Reading: <i>My Year of Meats</i> by Ruth Ozeki Essay assignments: analytical essay on the relationships between the characters, essay on career goals as practice for the personal statement in college applications	Considering how to make writing more powerful and effective by studying examples of investigative journalism, practicing implementing these strategies in personal writing and research presentations
	10 中間調査までの時数 28	
	11 Reading: excerpts from <i>The Jungle</i> by Upton Sinclair and <i>Silent Spring</i> by Rachel Carson Essay Assignment: research essay on the effectiveness of investigative journalism in changing public opinion and policy	
	12 2 学期の時数 30 Presentation of the research in the essay	
三 学 期	1	
	2 3学期の時数 20	
	3	

講 習	Summer research project: choosing a documentary or other example of investigative journalism, and preparing to present a summary of the contents and explanation of the work's influence
評価方法	Essay assignments: 50% Other writing assignments (worksheets, practice tests, presentation scripts): 30% Speaking and class participation (discussions, debates, and presentations): 20%